

2007年度

神戸女学院大学 専任教員
教育・研究業績報告集

神戸女学院大学

FD センター

2007 年度教育・研究業績報告集の発刊にあたって

昨年度発行した 2006 年度版の教育・研究業績報告集に引き続き、2007 年度の報告集を発行いたします。2006 年度版は大学認証評価にかかわる大学基礎データの一部として位置づけられており、公表する項目については大学基準協会の定めるところに準拠していました。2007 年度版は本学が独自に公開する業績報告集であり、公表する項目等については本学 FD センターで検討したのですが、昨年度版とそう大きく異なったものではありません。

ここには、本学の専任教員の教育、研究、社会活動の内容が集約されています。どうか一人ひとりの教員のそれぞれの活動内容をご覧いただき、本学が小さいながらも多様な教育研究活動の場として機能していることを確認していただければ幸いです。このような業績公開を通じて、本学の教育研究活動がより社会に開かれたものになり、またいっそう活発になることを願ってやみません。

2009 年 2 月

FD センター・ディレクター
遠藤 知二

目 次

文学部	英文学科	教授	原 田 園 子	-----1
			松 縄 順 子	-----2
			溝 口 薫	-----4
			長 尾 ひろみ	-----5
			Cynthia J.N.SETON	-----7
			田 島 和 彦	-----8
			立 石 浩 一	-----9
			鵜 野 ひろ子	-----11
			山 田 由美子	-----13
			吉 田 純 子	-----15
		准教授	泉 川 泰 博	-----17
			栗 栖 和 孝	-----18
			田 邊 希久子	-----20
			Yolanda Alfaro TSUDA	-----22
			和 氣 節 子	-----24
		専任講師	Margaret KIM	-----26
			Ryan D. KLINT	-----27
			David G. McCULLOUGH	-----28
	総合文化学科	教授	古 庄 高	-----29
			浜 下 昌 宏	-----30
			飯 謙	-----31
			飯 田 祐 子	-----32
			石 川 康 宏	-----34
			岩 田 泰 夫	-----36
			小 松 秀 雄	-----38
			真栄平 房 昭	-----39
			松 田 央	-----40
			三 杉 圭 子	-----41
			孟 真 理	-----42
			村 上 直 之	-----43
			難波江 和 英	-----44
			内 田 樹	-----45

			上 西 妙 子	-----	46
			上 野 輝 将	-----	47
		准教授	金 田 知 子	-----	48
			藏 中 さやか	-----	50
			宮 田 道 昭	-----	52
			高 橋 雅 人	-----	53
			田 中 真 一	-----	54
			渡 部 充	-----	55
			横 田 恵 子	-----	56
			米 田 眞 澄	-----	57
音楽学部	音楽学科	教授	Boris BEKHTEREV	-----	58
			石 黒 晶	-----	60
			中 村 健	-----	62
			西 明 美	-----	65
			斉 藤 言 子	-----	66
			澤 内 崇	-----	68
			島 崎 徹	-----	69
			田 中 修 二	-----	70
			津 上 智 実	-----	72
			山 上 明 美	-----	74
		准教授	佐 々 由佳里	-----	76
			辻 井 淳	-----	78
		専任講師	村 越 直 子	-----	80
			岡 田 将	-----	82
人間科学部	心理行動学科	教授	出 口 弘	-----	83
			小 林 哲 郎	-----	84
			國 吉 知 子	-----	85
			水 田 一 郎	-----	88
			森 永 康 子	-----	90
			山 祐 嗣	-----	91
			山 口 素 子	-----	93
		准教授	石 谷 真 一	-----	95
			三 浦 欽 也	-----	97
			田 島 孝 一	-----	99

環境・バイオサイエンス学科	教授	遠藤知二	-----101	
		川合真一郎	-----103	
		西田昌司	-----105	
		野寄玲児	-----107	
		塩見尚史	-----108	
		寺嶋正明	-----110	
		山本義和	-----112	
		准教授	金沢謙太郎	-----114
			高岡素子	-----116
体育研究室	教授	井上紀子	-----118	
		谷祝子	-----119	

凡 例

- ▷ 掲載対象は2008年4月1日現在の在職教員とした。ただし、新任教員は除く。
- ▷ 配列は、学部学科ごとに教授、准教授、専任講師の順序とし、それぞれアルファベット順とした。
- ▷ 記載事項

氏名、専門分野、研究課題。

1. 教育活動

担当授業科目／教育内容・方法の工夫／授業評価への対応／作成した教科書、教材、参考書／教育方法・教育実践に関する発表、講演等／その他教育活動上特記すべき事項

2. 研究活動

著書・CD／学術論文／学会発表／演奏会*／作曲・編曲*／その他研究発表、演奏／その他の著作・訳書等／研究助成金の受領状況

3. 社会活動

学会役員等／公開講座、市民講座等での講演／公開レッスンでの指導*／コンクール等の審査*／学外機関委員等／受賞・栄誉／その他社会活動上特記すべき事項

注) *音楽学部と体育研究室のみ記載

専門分野	英語教育, 英語教育史
研究課題	神戸女学院における英語教育史, 早期英語教育

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Language Studies), Child Language, Junior Seminar, Comprehensive English II, 初期神戸女学院, Seminar, Writing & Discussion I (Language Studies), 英語科教育法 I, 英語科教育法 II, Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<p>●E106において、学生の予習を促すために、次回の内容に関する設問を10題程度プリントにして毎回配布。</p> <p>●E252(1)において、BBC作成ビデオ理解をたすけるために、概略と重要事項を予めプリント(英語)し、その解説をしてから上映。見終わった後には、毎回感想、質問を書かせ、それについて回答・コメントを書き返却。共有すべき事柄については、授業中に解説をした。</p> <p>●GE250において、1課が終わる毎に単語テストを実施。学生からはこれによって語彙力が伸びたとの評価を得た。</p> <p>●Cu101(2)において、担当は3回であったが、毎回講義後には感想・質問・コメントを書かせ、次回に返却。共有すべき事柄については、授業始に紹介・解説をした。</p> <p>●E357において、学期末ペーパー作成へ向けて、学期半ばよりトピック、アウトライン、原稿下書きについて、それぞれ添削、個別返却をし、最終論文の質と英語を高める工夫をした。</p>
授業評価への対応	●全ての担当科目について、評価結果をコピー配布し、前年度の内容と比較しながら解説。改善点については、努力結果を示したり、あるいは努力の足りない点については、今後の課題とした。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	●2006～現在, 大学英語教育学会 理事
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	<p>●2007.4～現在(3期目), 文部科学省学校法人運営調査委員会委員</p> <p>●2007.10～現在, 西宮市教育委員長</p> <p>●2006.4～現在(2期目), 広島市立大学協議会委員</p>
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	通訳理論, 異文化コミュニケーション, 国際関係
研究課題	日-英の通訳理論, 国際会議に於ける会議通訳と外交, 多国間の異文化コミュニケーション

教育活動

担当授業科目(大学)	Interpreting: Theory and Technique(III-1), Cross-Cultural Communication, Simultaneous Interpreting, Simultaneous Interpreting
担当授業科目(大学院)	同時通訳演習Ⅱ, 同時通訳演習Ⅲ
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●通訳トレーニングで用いる方法(コンテンツシャドイング、ラッキング、パラフレージング等)を用い、英語のリスニング能力の向上、内容の正確な把握、分析力を養成する。敏速な言語変換で内容を自分の英語で再表現し、集中力を高める。 ●会議通訳の現場を体験し、異文化のcommunicationの手助けをすると共に、現場の緊張感、臨機応変な対応、事前の内容理解の重要性、専門用語の習得の必要性を学ぶ。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●学生の評価を尊重し、十分理解出来ない授業内容は講義形式を改善工夫に努める。学生には授業の到達目標を十分理解してもらう。 ●OJTは終了後学生がOJT記録を提出する。会議の講演、自分の通訳は全て録音されているため、終了後聞き直し、自分の誤訳、問題点をたず。連続したOJTの場合は復習のクラスを設けたり、個別に評価を与え、問題点を一対一で討議する。
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●日本のかかわる国際問題をBBC、CNNニュースから受信し、一つのテーマを連続して追い、DVD、CDに編集する。学生は共通ファイルからいつでもアクセスが出来、復習、宿題の課題をこなすことができる。 ●BBC、CNNの"Topic of the Week"を編集して、DVDに入れる。学生はメモリースティックに入れ、自宅に持ち帰り、自由に復習、宿題の課題をこなす事ができる。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	<ul style="list-style-type: none"> ●The University of Queensland, Brisbane, Australia, 2007年9月 "The Educational Method of Conference Interpreting at Kobe College, Japan" ●神戸女学院大学における通訳プログラムの概要とその通訳テクニックを活用した授業内容、及び大学院通訳・翻訳コースの概要、実践と、日本の通訳教育の最近の実態を講演した。 ●long distance video conference を活用してスイス・ジュネーブ大学大学院と「日本の現状」について講義を日本語で行い、英語に通訳してジュネーブ側は仏、伊、スペイン語にリレー直訳をする。
その他教育活動上特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ●4年生の同時通訳法のクラスでは校内のOJTだけでなく、西宮市主催のJAICA研修生と小学生との「環境問題交流会」や西宮市職員との「環境ワークショップ」の通訳を実践している。異文化の架け橋としての役割を果たすだけでなく、学生自ら異文化に接し、国際理解を深め緊張感や、社会的マナーを身につける機会となっている。

研究活動

著書・CD	●[単著] ニュールンベルン裁判と同時通訳, エンタイトル出版社, 2007.4.20
学術論文	
学会発表	●通訳教育とOJT, パネリスト, 日本通訳学会例会教育部門, 大阪大学, 中之島会館
その他の研究発表、演奏	●Cross-Cultural Communication and Interpreting, THEIST, 2008.3
その他の著作・訳書等	●「通訳トレーニング法を活用した英語教育」2007年度報告書, 文部科学省 現代GP報告書, 2007.3
研究助成金の受領状況	<ul style="list-style-type: none"> ●文部科学省、現代的教育ニーズ支援取り組みプログラム, 代表者, 通訳トレーニング法を活用した英語教育, 1500万円 ●神戸女学院大学研究所, 代表者, 出版助成金、「ニュールンベルン裁判と同時通訳」, 78万円

社会活動

学会役員等	2004.4～現在, 日本通訳学会関西支部・幹事
公開講座、市民講座等での講演	●2007.5, 英語の多面性 I「Key words を捉えてBBCを聞こう」(計2回), ひょうご講座, 三宮学習プラザ ●2007.8.20～21, 「East Meets West」講演会司会、パネルディスカッション、司会, 神戸女学院現代GP 公開講座, 神戸女学院講堂 ●1996.10～現在, イギリス研究会主催 (第3土曜日), 西宮大学交流センター
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	英文学
研究課題	ヴィクトリア朝小説, 20世紀イギリス小説, 近代社会、文化、小説

教育活動

担当授業科目(大学)	Basic College Grammar & Writing, Special Lecture in Literary Studies, British Literature and History, Junior Seminar, Seminar, Extensive Reading(英文多読法), Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●College Grammar 前期: 単元ごとの小テストの実施 ●Extensive Reading後期: テキストとは別の語彙、文法事項の補遺 ●British History and Literature通年: 講義のほか、テキストの内容のまとめについてのノートの提出を定期的に課し、点検指導する。前期は全員二回、後期は任意で一回。
授業評価への対応	全科目実施。特段の対応はなし。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	●DisraeliのSybilについて, ヴィクトリア朝研究会, 大手前大学, 2007.7.21
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	通訳学
研究課題	通訳教授法, メルボルン事件と通訳問題, 裁判員制度に伴う法廷通訳研究

教育活動

担当授業科目(大学)	Interpreting:Theory and Technique I, Interpreting:Theory and Technique II, Junior Seminar, Seminar, 対話-音楽から広がる知の世界, 人権論, Career Profiles, Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	通訳理論・教授法
教育内容・方法の工夫	●E215ではKC-ESというコンピューター媒体学習システムにより、自宅から送ってくる課題に対して評価、コメントを80名の学生に行ってきた。: 自宅から学生がアクセスできるEC-ESで、課題に対するシャドウイングや同時通訳などを評価、コメントを個別に送った。それにより学生は訂正や発展的な課題に対して応答し、学習能力をあげる効果を見ることができた。
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	●2007.3、E215で使用する日本語教材を独自で作成した。: E215では通訳の基礎を教えるに当たり、学生の母語である日本語の理解、記憶力の向上を目指し、将来通訳に必要な英語と日本語の文法的、構造的差を理解するために、日本語のパラグラフを収録した日本語教材を作成、教室で利用している。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	●兵庫県中高大英語教育部会総会(2007.11.22): 通訳トレーニング法を用いた英語教育に関して兵庫県の中高の教員を対象に講演を行った。(約250名)
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	●Possibility of Miscarriage of Justice in Melbourne Incident, Critical Link 4, Sydney, 2007.4.11-15
その他の研究発表、演奏	●2007.4.25, 「神の創造物-自然環境の破壊」, 中・高等部礼拝
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所総合研究助成, [代表者] プロの同時通訳者と通訳トレーニングを受ける前の大学生の第二言語処理時(通訳時)の脳活性の差異を研究, 150万円

社会活動

学会役員等	●2006.9～現在, 日本パブリックサービス通訳翻訳学会・理事
公開講座、市民講座等での講演	●2007.6.12, 「通訳とは」, 広島女学院大学同窓会, 蘇州園 ●2007.5.28, 「司法改革の対応する通訳」, 大阪弁護士会通訳人懇談会, 大阪弁護士会館 ●2007.6, 「司法通訳」, 兵庫講座, 兵庫県 ●2007.6.23, 「法廷から見る外国人の人権」, 全通研学校(東北会場), 盛岡市民センター ●2007.8.1, 「通訳トレーニング法を用いた英語教育」, 神戸市中高教員再教育, 神戸市総合教育センター ●2007.8.16, 「小学校における英語教育法」, 神戸市教員再教育(小学校英語), 神戸市総合教育センター ●2007.9.3, 「司法通訳の現状」, 西宮市大学講座, 西宮市大学交流センター ●2007.9.19, 「メルボルン事件と通訳問題」, 芦屋カレッジ, 芦屋市民会館

公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.9.29,「法廷からみる外国人の人権」, 広島女学院中高礼拝, 広島女学院中・高講堂 ●2007.10.19, 1.26 ,2.23,「メルボルン事件における司法通訳の問題」(計3回), 手話通訳士現任研修, 全国手話通訳センター(京都) ●2007.11.22,「英語教育」, 兵庫県中高大英語教育部会総会, 神戸女学院大学講堂 ●2007.11.24,「司法通訳の現状と課題」, 京都産業大学司法外国語プログラム, 京都駅前パルル
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	English as a Foreign Language and Intercultural Communication
研究課題	Intercultural communication, Teach my methods in content/language learning+teaching, Culture in mystery novels

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Global Studies), English Pronunciation a, Reading, Writing & Discussion: B, Lecture and Discussion I : Global Studies, Junior Seminar, Seminar, Writing & Discussion I (Global Studies), Oral Reading A, Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	言語学
研究課題	英語理論言語学, 自然言語処理

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Language Studies), Introduction to English Linguistics, The Structure of The English Language I, Contrastive Linguistics : Japanese and E, Junior Seminar, Seminar, Writing & Discussion I (Language Studies), Extensive Reading(英文多読法), Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●使用するテキストは必要な限り解釈が難しいところは全て図式化したプリントを作成した。つねに学生に興味をもたせるよう努力している。 ●コンピューターも授業中に使用し、開設している。4年次ゼミ生に対しては、学生が自由に意見を書き込めるホームページ(ブログ)を用意している。
授業評価への対応	●学生の授業評価の意見には、積極的に取り入れている。
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する教科書には出てこない内容は自分の過去の論文や他の論文などをまとめてプリントとして使用している。 ●4年次ゼミ生が最新の言語理論をコンピューター上で動かすため(各自が理論的展開を確認するため)プリントなどで教材を作成している。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●Computational CHL: A Computational Implementation of Minimalist Syntax, 神戸女学院大学論集第54巻第2号, pp.1-15, 2008.1
学会発表	
その他の研究発表、演奏	●2007.11.27, Linguistics as a Typical Interdisciplinary Field, Theist Project
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	言語学
研究課題	言語理論の哲学的評価, 言語学的知識の教育的有用性, メディアと言葉の関連性

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Language Studies), Introduction to English Linguistics, Japanese Culture Workshop in English, Articulatory and Acoustic Phonetics, Seminar, Junior Seminar, Writing & Discussion I (Language Studies), Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	Special Studies in English Linguistics, 言語学特論
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●2007年度後期実施全科目について(博士課程を除く)moodleを使用し、宿題等の受け渡し、返却に使用、有機的に授業運営が回るよう工夫した ●担当全科目学生に、携帯、電子メールアドレス等、いつでも連絡出来るように体制を整えた ●個人ウェブサイト上に過去のゼミ生の卒論、授業のハンドアウト等を掲載(もちろん許諾の上)、後輩の参考にした。
授業評価への対応	●いつも結果を学生に報告し、それについて短い時間だがディスカッションを持つようにしている。(実施全科目)
作成した教科書・教材・参考書	●毎年、全ゼミ生の卒論を冊子にまとめ、後輩の為の資料としている(毎年3月発行)
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●常に学生との連絡のチャンネルを複数用意し、即座に応答出来るようにしている。

研究活動

著書・CD	●[共著] 水口志乃扶・立石浩一, 音声コミュニケーション資料集, 神戸大学国際文化学研究所, 2008.3.31
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●[共著] ◎水口志乃扶・立石浩一, 英語CALL音声教材の能力別効果: 大学での授業での実践報告, 『英語母音産出における音響的特徴と調音運動機序の習得に関する研究』平成17年度～19年度科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書(研究代表者 神戸大学大学院国際文化学研究所 水口志乃扶: 課題番号17520263), 神戸大学国際文化学研究所, pp.42-49, 2008.3.31 ●[共著] IT機器及びネットを使用しての授業運営の経験的評価, 『英語母音産出における音響的特徴と調音運動機序の習得に関する研究』平成17年度～19年度科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書(研究代表者 神戸大学大学院国際文化学研究所水口志乃扶: 課題番号17520263), 神戸大学国際文化学研究所, pp.50-71, 2008.3.31 ●[共著] ◎水口志乃扶・立石浩一・山田玲子, IPA学習用CALL教材作成のための基礎資料, 『英語母音産出における音響的特徴と調音運動機序の習得に関する研究』平成17年度～19年度科学研究費補助金(基盤研究C)研究成果報告書(研究代表者 神戸大学大学院国際文化学研究所水口志乃扶: 課題番号17520263), 神戸大学国際文化学研究所, pp.79-86, 2008.3.31
学会発表	●外国語系女子大専門科目としての折紙, 日本折紙学会第13回折紙探偵団コンベンション, 東洋大学, 2007.8.18
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	●科学研究費補助金 基盤研究(C), [分担者] 英語母音産出における音響的特徴と調音運動機序の習得に関する研究, 170万円

社会活動

学会役員等	
-------	--

公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	<ul style="list-style-type: none"> ●2003.8.22～現在, 日本折紙学会評議員 ●2005.4.1～現在, 日本音韻論学会理事 ●2006.4.1～2009.3.31, 日本英文学会大学代表委員 ●2007.4.1～現在, 日本英語学会評議員 ●2007.10.1～2010.9.30, 日本言語学会広報委員
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	第8回日本折紙学会後援折紙探偵団関西コンベンション企画/運営, 神戸女学院大学, 2007.5.3～5.4

専門分野	アメリカ文学
研究課題	エミリー・ディキンソンの詩における宗教と科学の葛藤, エズラ・パウンドとウィリアム・バトラー・イェイツとの影響関係, エミリー・ディキンソンと東洋

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Literary Studies), Thematic Studies Of Literature : A, American Literature and History, Seminar, Writing & Discussion I (Literary Studies), Junior Seminar, Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	American Poetry, Special Studies in American Literature(Ⅲ)
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●「アメリカの文学と歴史」のシラバスを改訂: 1年間でできるだけ多くの文学作品について教え、学生が直に作品を読むよう、努力している。古い文学は簡単にまとめ、なるべく20世紀の文学まで教えられるよう、シラバスを少し改訂した。 ●Reading & Discussion (Literature): 2008.2~3に、2008年度からの1年生の英文学入門の授業(E107)用に、英文学科の英文学担当の教員4名で、独自のテキストを作成した。 ●Thematic Studies of Literature: 毎回、内容を変えているが、今年度はオーストラリア文学を題材にした。
授業評価への対応	●どの授業でも、特に苦情はなかった。
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●翻訳『エミリー・ディキンソン事典』(雄松堂、2007.5.18): Jane Eberwein ed. An Emily Dickinson Encyclopedia を単独で翻訳した。学部生(「アメリカの文学と歴史」「ジュニア・セミナー」)、大学院生(「アメリカ文学演習」「アメリカ文学特別講義」)他、に役立つことと思う。 ●2008.2~3に、2008年度からの1年生の英文学入門の授業(E107)用に、英文学科の英文学担当の教員4名で、独自のテキストを作成した。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	●Emily Dickinson's Encounter with the East, the 6th International Conference of the Emily Dickinson International Society, the Palace Side Hotel, Kyoto, 2007.8.2~5
その他の研究発表、演奏	●エミリー・ディキンソンと東洋との出会い, 研究所総会, 2007.12.7
その他の著作・訳書等	●[単独訳]『エミリー・ディキンソン事典』, 雄松堂, 416頁 2007.5.18
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所 研究成果配布のための補助, [代表者(単独)] 翻訳書 エミリー・ディキンソン事典

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2006.4~現在, 日本エミリー・ディキンソン学会会長 ●1998.4~現在, 日本エズラ・パウンド協会理事 ●2004.4~現在, 日本アメリカ文学会関西支部評議員 ●2007.4~現在, 日本英米詩歌学会理事
-------	---

公開講座、市民講座等での講演	●2007.8.2～5、京都のザ・パレス・サイド・ホテルにおいて開催された(東洋で初めての)第6回エミリ・ディキンソン国際会議の地元開催責任者として企画・運営した。
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	英文学, 西洋文学, 比較文化
研究課題	英国の消費文化と経済

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Literary Studies), Thematic Studies of Literature : A, Shakespeare and his Age, Junior Seminar, Seminar, Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	Special Studies in English Literature
教育内容・方法の工夫	<p>●E672 従来型の大学院教育における効率性と計画性の欠如を克服するために、院生の博士論文完成を第一目標とした授業に取り組んでいる。:演習と論文作成のテュートリアルを同時に行い、基礎学力を向上させながら、同時に博士論文の一環として学会発表、学会誌への投稿論文を奨励しつつ作成の指導を行うことにより、論文の効率的完成と質の向上、各院生の業績の増加を目指している。</p> <p>●E372 従来型の講義科目における学生の無気力を克服するため、学生参加の機会を増やし、達成感による学習意欲の向上を目指している。:教師が一方向的に話すのではなく、学生の研究活動を中心に授業を組み立て、その都度補佐とフィードバックするという双方向性を目指した。学生の発表に際しては、事前指導を厳しく行い、発表内容の完成度を高めるように努力している。</p> <p>●E397, E497 セミナー・ペーパーや卒論作成における学生の負担感と重圧感を失くし、効率的な作成計画を導入し、一定の成果を上げている。:構想、論の構築、執筆、完成に至る過程における週毎の明確な目標を設定し、アイデア・シート、プロジェクト・シート(段階別)、推敲用シートなどを用いながら、週毎に段階的な達成感を与えつつ、学生の負担感を減少させ、出席要件を満たす学生全員が期日までに一定の水準のものを仕上げられる工夫を行った。</p>
授業評価への対応	●アンケートで改善すべき点があった場合には、その問題に関する学生全体の意見を再確認し、次期の授業で改善する努力をした。
作成した教科書・教材・参考書	●2008年度向けE107 (Reading and Discussion) 用教材の共同作成: 授業の水準を向上させるため、市販のanthologyにおける多様性の欠如や内容の不適切性を補う教材作成を目標とした。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●[書評] 櫻井正一郎 『サー・ウォルター・ローリーー植民と黄金』人文書院2006年, 英文学研究第84巻, 日本英文学会, 2007.11.20
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	<p>●エッセイ:「キトリ対ジュリエットー生かす愛と殺す愛」, 新国立劇場バレエ公演『ドン・キホーテ』プログラム, 新国立劇場, pp.22-26, 2007.6.28</p> <p>●プレビュー:「オペラ《ファルスタッフ》ー失われた時を求めて」, AAC-Aichi Art Center No.56, 愛知文化センター, p.6, 2008.3</p>
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所研究助成, [代表者] 英国の消費文化と経済, 27万円

社会活動

学会役員等	<p>●2006.4～2008.3, 日本シェイクスピア協会 Editorial Board</p> <p>●2006.4～2008.3, 日本英文学会関西支部理事</p>
-------	--

公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

備考

留学(10/07～9/08)

専門分野	アメリカ文学
研究課題	アメリカ思春期文学の文化論的研究, アジア系アメリカ思春期文学の研究

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Literary Studies), Effective Writing(Essays, Reports), Gender and Literature, Seminar, Junior Seminar, Writing & Discussion I (Literary Studies), Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<p>●E367ab 2007年前・後期 ノート取り、大クラスでもインタラクティブな授業展開、映像による補助、英文論文、成績評価の多様性: 学生のノート作りのために、毎回、ハンドアウト資料を配付した。読むべきテキストページを指定し、講義内容に関して学生に質問をした。また、一部に映像を使って、作品のイメージの理解を促した。先行英語論文を読ませて、英文で要約させた。授業評価を、原書読書の報告、授業中の発表、期末の試験と多様化して行った。</p> <p>●E397b Junior Seminar 2007年度後期、理論の理解と文学作品解釈の実践、ペアー・ワークによる口頭発表、映像による補助: 文学理論書を用いながら、教員の解説付きでペアー・ワークにより、文学作品の各章の紹介・分析を口頭発表させた。1 Semesterに1冊の原書を読み切り、文学作品を読む楽しみを味わうという目標を設定した。また、映像テキストも作品解釈に導入した。</p> <p>●E262 Effective Writing 2007年度前・後期、アカデミック・ライティングの基本的作文技術の習得、オンライン英語学習の奨励と評価、英文レポート執筆準備: 英文論文を書くのに必要なライティング・スキルごとにレポートを課し、エッセイを書かせた。また、Criterionによるオンライン英作文の課題を毎週設定して、アクセスさせて、評価の対象とした。期末英文レポートに先立ち、口頭発表を行った。</p>
授業評価への対応	<p>●E107a Reading and Discussion, E107b Writing and Discussion, E262(1)(2) Effective Writing, E397b Junior Seminar, E376 Gender and Literature、記述項目の報告、全体的評価の学生へのフィードバック: 授業評価の結果を学生に報告し、特に、記述された評価については、学生に紹介した。また、この結果を、次年度の授業にフィードバックして、シラバス改訂を行うこととした。</p>
作成した教科書・教材・参考書	●『宇宙をかきみだす-思春期文学を読みとく』(人文書院)、2007年: アメリカ文学のゼミクラスである、Juniorセミナー、Seniorセミナーで参考文献として使った。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	●[共著] ©Clare Bradford・Yoshida Junko 他22名, Expectations and Experiences: Children, Childhood & Children's Literature, Pied Piper Publishing, 2007.8
学術論文	●Abjection of Horror in Cynthia Kadohata's The Floating World , Tinker Bell 53, 日本イギリス児童文学学会, Yoshida Junko, 2008.3
学会発表	<p>●Abjection of Horror in Cynthia Kadohata's Floating World, Children's Literature Association, Christopher Newport University, Virginia, 2007.6.14</p> <p>●The Power of Re-constructing Cultural Memory in Cynthia Kadohata's Weedflower and Linda Sue Park's When My Name Was Keoko , International Research Society for Children's Literature, 京都国際会館, 2007.8.27</p>
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	●2006.6～2009.6, Children's Literature Association, International Board member ●2007.11～2009.11, 日本イギリス児童文学会・理事
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	●2008.1～present, Children's Literature in Education, Editorial Board member
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	●講演, "The Body, Pollution, and Danger in Miyazaki Hayao's Princes Mononoke" (釜山国立大学、大韓民国), 2008.3.10

専門分野	国際関係理論, アメリカ外交, 東アジア安全保障, 定性的手法研究
研究課題	同盟理論研究, アメリカの東アジア外交, 東アジア安全保障研究

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Global Studies), Reading, Writing & Discussion : H, Lecture and Discussion IV:Global Studies, Issues in International Relations, Junior Seminar, Seminar, Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	●英語でコンテンツと英語自体の両方を教えるという担当授業の性格上、同じ担当科目でも学生の英語レベルや興味に応じて常に新たな教材の開発や修正が必要であり、いちいちあげられない。
授業評価への対応	●E205: 教科書のリーディングに重きを置いて行う授業であるが、内容が難しいという声があったため、一部内容を変更し、またビデオなどをより多く利用するようにした。 ●E383: 内容が難しいという声があったため、英語で講義をした後授業の最後10分間程度、内容を日本語で概説し、また日本語でも質問を受けるようにした。
作成した教科書・教材・参考書	●英語でコンテンツと英語自体の両方を教えるという担当授業の性格上、同じ担当科目でも学生の英語レベルや興味に応じて常に新たな教材の開発や修正が必要であり、いちいちあげられない。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	●[共著] ◎久保文明・中山俊宏・大津留(北川)千恵子・梅本哲也・村田晃司・高畑昭男・吉原欽一・加瀬みき・川上高司, アメリカ外交の思想潮流, 日本国際問題研究所, 2007.10.25
学術論文	●日ソ国交回復交渉と日米関係-外相重光葵と日本の自主外交, ロシア史研究, ロシア史学会, 2007.5
学会発表	●分析概念としての帝国と、帝国としてのアメリカ, アメリカ政治研究会, 東京大学, 2007.12.1
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	●[共訳] ◎荒木義彦・井手弘子・柿崎正樹・佐伯康子・酒井英一・高杉忠明, 複雑性と国際政治, ブレーン出版, 2008.3
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	●2007.10～2008.2, 北東アジアの国際関係, 西宮市生涯学習大学宮水学園, 西宮市教育会館 ●2007.9～2008.1, 東アジアの国際関係, 西宮大学交流センター, 西宮大学交流センター
学外機関委員会等	●2007.4～現在, 東京財団現代アメリカ政治研究会・研究委員
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	理論言語学(音韻論・形態論)
研究課題	

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Language Studies), Basic College Grammar & Writing, Introduction To English Linguistics, The Structure Of The English Language II, Topics in English Linguistics(I), Seminar, Writing & Discussion I (Language Studies), Junior Seminar, Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●The Structure of the English Language, Senior Seminar 一年を通して: 基本的な内容を教えるだけではなく、自分の研究を含めて最近の知見を時々授業で話し、授業内容の先にある展開を学生に伝えるようにした。 ●全ての担当科目 一年を通して: 学生が自分で考え、それを発表する機会を多く取ることにより、学生が授業に参加しているという意識を高めるように心掛けた。 ●全ての担当科目 一年を通して: 学生に理解できているかを時々確認し、履修者全員の理解度を確認しながら授業を進めた。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての担当科目 一年を通して: 板書を丁寧に行うように心掛けた。 ●全ての担当科目 一年を通して: 簡単な部分は速く進み、難しい部分は速度を落とし、めりはりのある授業を心掛けた。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●Asymmetric voicing and relativized markedness, Proceedings of the Formal Approaches to Japanese Linguistics Conference, Department of Linguistics, MIT, 2007.1 ●Weak derived environment effects, Proceedings of the North East Linguistic Society, Graduate Student Association of Linguistics, University of Massachusetts, Amherst, 2007.1 ●Review of Voicing in Japanese, Phonology, Cambridge University Press, 2007.12
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●Lexical indexation in Sino-Japanese exceptionality, The 4th Seoul International Conference on Phonology and Morphology, Hanyang University, Seoul, 2007.6.18~19 ●司会, 音韻論フォーラム, 札幌学院大学, 2007.8.27~29
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	神戸女学院大学研究所国際学会出張補助, [単独] 栗栖和孝, Lexical indexation in Sino-Japanese exceptionality, 39865円

社会活動

学会役員等	●2007.4~現在, 日本音韻論学会・理事
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	

その他社会活動上特記
すべき事項

--

専門分野	翻訳理論, 翻訳教育
研究課題	順送り・逆送りの訳の言語学的・歴史的考察, フレーズ表現と翻訳, 翻訳に対する読者の心的態度

教育活動

担当授業科目(大学)	Translation for Interpreters, Seminar, Junior Seminar, Senior Project/Thesis, Comprehensive English II BE
担当授業科目(大学院)	翻訳演習 I
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●E217ab 単語常識テストの実施、コール教室とMoodleの利用: 通訳トレーニングの準備を兼ね、最低限知っておくべき日本語の専門用語を、英語の訳語として身につけることを目指し、半期5回ほどのテストを行った。インタークラスを利用し、翻訳トレーニングにおけるネットの活用法を指導。Moodleを利用して教材等の配布を行った。 ●E497, 498 Senior Seminar, Senior Project/Thesis, 翻訳許可取得の指導: 手紙、メールを使い、卒業プロジェクトに必要な翻訳許可の申請を、各学生に主体的に行わせた。具体的にはレターの書き方、失礼にならないコツ、粘り強く交渉すること、許可が出た場合、必ず礼状を出すことなどのアドバイスをを行った。 ●E522ab グループ翻訳の推進: 昨今の翻訳市場では、大量の翻訳を処理するため、グループ作業が求められる場合が多くなっている。またグループ作業は教育的効果も高いとされている。単に学生の自主性に任せるのではなく、質の高い気づきが得られるよう、事前の準備とフォローアップを心がけた。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●E217ab: 具体的な要望がまったくなかった。 ●E497, 498 Senior Seminar, Senior Project/Thesis: 欠席が多くアンケートが実施できなかった ●E522ab: アンケート不実施。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	<ul style="list-style-type: none"> ●研究所講演会「翻訳とイディオム」2007.6.1、講堂, 翻訳において意外に重要なポイントになるフレーズ表現を、イディオム、コロケーション、ことわざ、フォーミュラなどの分類ごとに例を交えて解説。同時にグーグルを活用したフレーズ表現の検索方法を紹介。 ●日本通訳学会関西支部例会「大学で順送りの訳・逆送りの訳をどう教えるか」2007.12.1、千里クラブ、大学での翻訳の授業において新聞・雑誌記事などの翻訳練習を行う際、関係詞や接続詞を使った複文をどう訳すのか。通訳やスラッシュ・リーディングの訓練を受けた学生には順送りを中心にする人がいる一方、学校英語・受験英語からの習慣で逆送りを中心に行っている人もいる。本調査では実際の翻訳例を使って読者における順送り・逆送りの重要度を計測した。
その他教育活動上特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ●E522ab 2008.8: アメリカ、Monterey Institute of International Studies訪問、見学。日英・英日翻訳コースの指導者から指導法の現状を聞いた。 ●E522ab 2007.9: オーストラリア、クイーンズランド大学MAJIT(日本語通訳翻訳修士課程)訪問、視察。当地での大学院レベルの翻訳授業を見学。 ●E522ab 2007.10: 東京・国際基督教大学教養学部の通訳・翻訳授業を見学。指導者から話を聞いた。

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	●「大学で順送りの訳・逆送りの訳をどう教えるか」、日本通訳学会関西支部第16回例会, 千里クラブ, 2007.12.1
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	●[単訳] ザ・リーダーシップ・チームの力を最大限に引き出す秘密, ダイアモンド社, 2008.2.15
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	女性学, 移民学, 人間安全保障, グローバリゼーション
研究課題	Gender, Migration, Borders, Globalization

教育活動

担当授業科目(大学)	女性学(実践編), Reading & Discussion I (Global Studies), Reading, Writing & Discussion: C, Lecture and Discussion II: Global Studies, Advanced Writing(A), Seminar, Junior Seminar, Writing & Discussion I (Global Studies), Special Lecture in Global Studies, Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ● Introduced Harvard Case Study method for 3rd and 4th year; In-class thesis supervision with computers; fieldwork outside of classroom, etc. (2007年から現在) ● Produced original teaching materials (2007年から現在) ● Took students to international conferences, special lecture and tour of Ministry of Justice facilities (関西空港入国管理局)、堺刑務所、大阪 (2007年から現在)
授業評価への対応	● Discussion in class
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ● Global Communication Sourcepack, 2008.2 (2003年から毎年) ● Fieldwork Methods (2004年から現在) ● Materials for E-205, E-315, E-370, Senior Seminar (2004年から現在)
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ● Continuation of Harvard Case Study Method in classes ● Continuation of individual oral exams for 1st, 2nd and 3rd year students

研究活動

著書・CD	<ul style="list-style-type: none"> ● [共著] 暮らしの医学用語辞典, インタナショナル・プレス, 2007.8.1 ● [共著] Sourcepack for Global Communication, 神戸女学院英文学科, 2008.2
学術論文	
学会発表	● "Reflections on the Past to Understand the Present of and Future of Japan's Bilateral Relations", Women and Gender Studies, Miriam College, Philippines, 2007.8.30
その他の研究発表、演奏	● "Who will take care of you when you can't take care of yourself anymore? Japan's Economic Partnership agreement and the acceptance of foreign healthcare workers", THEIST, 2007.10.16
その他の著作・訳書等	<ul style="list-style-type: none"> ● From my Window in Rome, 『神戸女学院女性学インスティテュートニュースレター』20号, 神戸女学院女性学インスティテュート, 2007.9 ● 信じて生きる, Veritas 36 (2007年12月13日), 神戸女学院図書館, 2007.12 ● The Need to Reform the KCELS Concept, KCELS Newsletter 2008年3月, 神戸女学院英文学科, 2008.3 ● [単著] The Night of the Blue Moon, 30pp. International Christian University. Tokyo, 2007.8 ● [単著] On HIV-Aids (Positive) and HIV-Aids (Negative), 10pp. 東京HIV-Aids センター; Center for Health and Rights of Migrants, 2008.3
研究助成金の受領状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 「もう一つの近代化を目指した人」, [分担者] 10万円 ● 神戸女学院大学出版助成金, [分担者] 80万円

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ● 1998, Association for Asian Studies (国際アジア研究会会員) ● 1998, 女性と開発学会, ハーバード・MITグループ員 ● 2003, Association for Asian Studies in Japan (日本アジア研究会会員) ● 1998, International Oral History Association (国際オラル・ヒストリ学会会員) ● 2008, Asiatic Society of Japan (アジア協会会員)
-------	---

公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	<ul style="list-style-type: none"> ●2002.4～現在, 日本フィリピン青年協会・理事 ●2002.4～現在, カトリック東京国際教育プログラム・ディレクター ●2004.4～現在, 日本人身防止連絡会検討委員会・メンバー ●2002.4～現在, Mikuni Women's Center・アドバイザー ●キリスト教学主義同盟会議(仙台)
受賞・栄誉	Best Teacher Award, 2007
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	イギリスロマン派文学
研究課題	S.T.Coleridgeとプラトニズム, ドイツ観念論哲学との関係, 英文学と神話、聖書, イギリスロマン派文学と環境文学, エコロジー

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Literary Studies), Thematic Studies of Literature: A, The Bible and Literature, Seminar, English Workshop, Mythology and Literature, Writing & Discussion I (Literary Studies), Junior Seminar, Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●黒板を写さない学生が多くなってきたため、記入式プリントを作成し、プリントに授業中に加筆させ、まとめて提出させる方法をいくつかの専門の授業で行った。 ●Senior Seminar: 3年次後期授業終了後に新ゼミ生を集め春休み期間の課題を出し、同時に休み期間にはメールによって作業に関する質問に応じるなど、4年ゼミ開始を本格的に早めた。また、課題締切などは学生の事情に応じて個別対応を行った。 ●英文学科2、3年生ALC利用促進: 英文学科のALC管理者、教務委員としてALCが利用されていないことの改善策として、6月～11月にかけてALC学習課題を英文学科2、3年生に課し、12月のIP-TOEIC受験準備ができるように企画、実施にかかわった。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●Thematic Literatureや、Reading & Discussion (literary section): 英文課題レポートを添削して返却しても、筆記体英語が読みにくい、と指摘が多かったため、返却時ごとに再度、清書して出されるように時間をとった。そのため訂正がわかりにくい学生からの質問量も増えた。 ●クラス全般: 全体的に授業後半になると早口になりやすいと指摘があったので、ならないように注意する。が、スピードが速いという学生と遅いという学生がおり、苦慮する。課題でカバーするようにした。
作成した教科書・教材・参考書	●2008.3 E107テキスト代用プリント: 英文学科文学セクションの教員で分担し、E107において2008年通年使用の教材(学内利用目的のみの共通テキスト)を作成した際、当時セクション代表者であったために一連の作業の取りまとめ役を行った。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●共通英語教育委員会委員長であるため、AV Libraryからの依頼を受け、ライブラリーで貸出する、英語検定試験受験準備のための参考書を2度にわたり多数購入し、新旧の入れ替えに携わった。

研究活動

著書・CD	●[共著] 『イギリス哲学・思想事典』, 研究社, 日本イギリス哲学会編, pp.177-179, 339-341, 679他, 2007.1
学術論文	
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●S.T.コーレルリッジの「霊的感覚」としての良心, 第4回大会 イギリス理想主義研究会, 沖縄国際大学, 2007.9.15 ●P.B.シェリー『詩の弁護』における“wondrous sympathy”, 18世紀英文学研究会, 同志社大学, 2007.10.6 ●司会, 第134回 関西コーレルリッジ研究会例会, 同志社女子大学, 2007.6.30
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	●2007.4～2009.3, 関西コーレルリッジ研究会・庶務
-------	---------------------------------

公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	English as a Second Language
研究課題	student motivation, contract learning, presentation skills

教育活動

担当授業科目(大学)	Reading & Discussion I (Global Studies), English Pronunciation A, Effective Speaking (Drama, Speech-Making), Advanced Writing(A), Communication in English, English Workshop, Oral Reading A, Writing & Discussion I (Global Studies)
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	●I try different ways to motivate my students and encourage them to take risks and participate actively in class. I also try to adjust my teaching styles so students of all levels can understand what is being taught. I want the students to not feel intimidated in class so I try to make a comfortable learning environment for them.
授業評価への対応	●I try to explain things in a way understandable to the students. I write things on the board, explain verbally and have them clarify what the task is.
作成した教科書・教材・参考書	●I supplement the textbook with materials I've developed to suite the needs of the students. I use roleplays, interactive activities, presentations and community building as a means to assist on the focus of what is being taught.
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	●I gave a presentation at the CamTESOL conference on English Language Learning in Phnom Penh, Cambodia on presentation skills in February 23, 2008. I also gave a presentation at AsiaTEFL International Conference in Kuala Lumpur, Malaysia, on contract learning, June 8, 2007.
その他教育活動上特記すべき事項	●My classes are mainly students-centered. I encourage the students to be responsible learners and NOT to depend on the teacher.

研究活動

著書・CD	
学術論文	●A Promise to Thyself, Kobe College Studies, Vol.54, No.1, Kobe College, 2007.6 ●You can lead a Horse to the Fountain of Knowledge, but...Can you make him drink?, Asia TEFL International Conference, Asia TEFL Conference, 2007.6
学会発表	
その他の研究発表、演奏	Chapel Hour Christmas Performance
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	●2007.5.11, Kobe-Takatsuka High ●2007.12.19, Inagawa High ●2007.10.30, Nishinomiya-Imazu High
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	The Interaction of Phonetics and Phonology
研究課題	

教育活動

担当授業科目(大学)	English Pronunciation A, Reading, Writing & Discussion: G, Effective Writing (Business/Internet W.), World Englishes, Advanced Writing(A), Communication In English, Oral Reading A
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	Language Education
研究課題	Comparative Television Studies, New Media, Leadership Education

教育活動

担当授業科目(大学)	Lecture and Discussion III:Global Studies, Reading,Writing & Discussion : A, Reading & Discussion I (Global Studies), Seminar, Special Lecture in Global Studies, Advanced Writing(A), Junior Seminar、Senior Project/Thesis
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●Media Studies: Developed a Comparative Media studies unit as part of the Junior Seminar class. ●Introduced a video production unit to the Junior Seminar class: Students produced shot and edited a ten minute video documentary. ●Leadership Studies: Delivered a programme of leadership skills education to third year students.
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	<ul style="list-style-type: none"> ●Collaborative Group Discussion in Kobe College Studies, 2007 ●Academic Settings No154 No2
学術論文	
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●Discussion in Language Learning, Japan Association of Language, JALT Annual Conference- ●Teachers(JALT), Tokyo, 07.11.2~23
その他の研究発表、演奏	<ul style="list-style-type: none"> ●Application of Formative Assessment Methodology to Developing, Kobe College English Dept., 7.10 ●English Language Skills, Research Group
その他の著作・訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員会等	
受賞・栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	教育学, 人間形成論
研究課題	アドラー心理学による人間形成論, 現代における学校教育, クリシュナムルティの思想と教育

教育活動

担当授業科目(大学)	基礎ゼミ, 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), 総合演習, 教育原理, 社会科・地理歴史科教育法, 人間形成論, 文献ゼミ, 卒業論文, 国際文化論Ⅱ, 比較文化学合同研究A
担当授業科目(大学院)	国際文化論Ⅱ, 比較文化学合同研究A
教育内容・方法の工夫	●教育原理(前期)、授業方法:グループディスカッションを多く取り入れた。また自作のプリントを多用した。
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●アドラー心理学における幼児期のライフスタイル形成, 神戸女学院大学論集第54巻第1号, pp.59-72, 2007.6.20 ●アドラー心理学と学校教育, 神戸女学院大学論集第54巻第2号, pp139-152, 2008.1.20
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	●2000.4～現在, 関西教育学会理事
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	美学・芸術学
研究課題	18世紀イギリスおよびヨーロッパ美学史, 近代日本美学史, 画像による人文学の可能性

教育活動

担当授業科目(大学)	文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 美学(I), 卒業論文, 比較思想
担当授業科目(大学院)	比較思想
教育内容・方法の工夫	●Ph353ab「美学(I)」:年間を通じて配布資料を従来より増やす。OHPやビデオを使って美術作品解説を慣例化する。
授業評価への対応	●Ph353ab「美学(I)」:板書への不満があったので、見えやすい字を書くように自覚的に注意する。
作成した教科書・教材・参考書	●Ph353ab「美学(I)」:例年のように講義内容の概略を教科書代わりに作成。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	<ul style="list-style-type: none"> ●[単著] 主体の学としての美学-近代日本美学史研究-, 晃洋書房, 2007.5.20 ●[共著] ◎Robert Wilkinson New Essays in Contemporary Aesthetics, Cambridge Scholars Publishing, pp.146-153, 2007.8 ●[共著] ◎渡部芳紀, 宮沢賢治事典, 勉誠出版, pp.396-398, 2007.8.10 ●[共著] ◎柘植尚則, イギリス哲学・思想事典, 研究社, pp.278-281;485-487, 2007.11.22 ●[共著] ◎山形政昭, ヴォーリズ建築の100年, 創元社, pp.144-146, 2008.2.10
学術論文	●Les non-et anti-démocraties de la postmodernité, Diogenes220, pp.30-35, 2007.11
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●コメンテーター, UNESCO on Cultural Diversity, UNESCO本部(パリ), 2007.4.26-27 ●No Landscape without its History, #17 International Congress of Aesthetics, METU(Ankara, Turkey), 2007.7.12 ●Non/Anti-Democracies in Post-Modernit, UNESCO on Reinvention of Democracy, 国立図書館, Rio de Janeiro(Brazil), 2007.11.14 ●シンポジウム「ITグローバリズムの時代における<技>の再考」コーディネーター, 第14回日韓美学研究会, 神戸女学院大学, 2008.2.11
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2000.4~2007.3, 日本イギリス哲学会・理事 ●2006.4~現在, 日本18世紀学会・監事
公開講座、市民講座等での講演	●2008.3.2, 窓からの眺め-神戸女学院キャンパスに見るヴォーリズの美学, 滋賀県立近代美術館
学外機関委員等	●2007.4~現在, 日本学術振興会・特別研究員等審査会専門委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	キリスト教学, 旧約聖書学
研究課題	旧約聖書詩編の編纂史, ヘレニズム期ユダヤ教の教派, ユダヤにおける古代オリエントおよびギリシアからの思想的影響

教育活動

担当授業科目(大学)	基礎ゼミ, 女性学(実践編), 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), キリスト教概説, キリスト教学(旧約学), 宗教史特講, 初期神戸女学院, 聖書学(II), 文献ゼミ, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	キリスト教学
教育内容・方法の工夫	●R100 Cu101 パワーポイント・スライドの更新。 ●R378 パワーポイントによるスライド資料の作成:古代世界のイメージ把握を助けるため遺跡等の映像を提示した。
授業評価への対応	●全講義:記述された事柄を公表し、口頭で返答した。
作成した教科書・教材・参考書	●R100:毎回、次回講義のための予稿(2500~2600字)を配布した。 ●全講義:毎時間、ハンドアウトを作成、配布した。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	●[共著] 項目執筆『聖書学用語事典』樋口進他編, 日本基督教団出版局, 2008.3.10
学術論文	●ダビデ詩編巻末の歌-詩編145編の主題と構造, 神戸女学院大学論集第54巻第2号, pp.17-33, 2008.1
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	●2004.9~2009.9, 日本キリスト教学会理事・学会誌編集委員 ●2007.10~2009.10, 日本旧約学会
公開講座、市民講座等での講演	●2007.7.7, 詩編と編集の問題, 神戸松蔭キリスト教講座, 神戸松蔭女子学院大学 ●2007.9.11, ヨブ記におけるさいわい観, 神戸YWCA アフタヌーンティ, 神戸YWCA ●2007.12.1, 神学の徒が聴く『クリスマス・オラトリオ』, 詩と音楽の楽しみ, 大阪音楽大学美学研究会 ●2008.2.5, 2.19, 3.4, ヤハウリストと呼ばれた賢者(計3回), めぐみ会キリスト教セミナー, 神戸女学院めぐみ会館
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	●2003.5~現在, 学校法人頌栄保育学院評議員

専門分野	日本近代文学, ジェンダー研究
研究課題	語りにおける身体性, ジェンダーと日本近代の文化規範, 夏目漱石研究

教育活動

担当授業科目(大学)	基礎ゼミ, 日本文化・文学入門, 女性学(実践編), 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 日本文学概論, 日本近現代文学研究, 女性学(実践編), 文献ゼミ, 卒業論文, 日本文学演習, 比較文化学合同研究A
担当授業科目(大学院)	日本文学演習, 比較文化学合同研究A
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●Cu123a 日本文化・文学入門, 2007.4~7, オンライン・テストの実施。質問用紙の配布回収: 授業の予習を確認するために、オンラインのテストを設けた。また、フィードバックのために、各回、質問用紙を配布回収した。 ●Cu100a 基礎ゼミ, 2007.4~5, 導入的な授業の設置。自己評価の実施: 高校とは異なる大学での調査や報告のあり方についてマニュアルを作成し、それに基づいて丁寧な指導を行った。また、学生が自身の発表について自己評価をする用紙を作成し、教員による一方的な評価だけではなく、自身で反省的に評価する機会を設けた。 ●Cu391b 専攻ゼミ(I) 2007.10~2008.1, 卒論指導のための工夫: より充実した卒業論文となるよう、3年後期より、非常に具体的な卒論指導に入ることにしている。参考文献目録の作り方からはじめ、具体的で細かい指導を、各学生に対して行った。
授業評価への対応	●Cu123a 日本文化・文学入門, フィードバック: 評価の内容を報告した。2007.7
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●『文学で考える〈日本〉とは何か』(双文社出版、2007.4): Cu123a 日本文化・文学入門 ●プリント「引用の仕方」「参考文献の示し方」「資料の集め方」「発表の仕方」, 2007.4: Cu100a 基礎ゼミ
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	<ul style="list-style-type: none"> ●[共編著] ◎飯田祐子・◎日高佳紀・◎日比嘉高・天野知幸・生方智子・杉山欣也・土屋忍・内藤千珠子・西川貴子・西村将洋・疋田雅昭・米村みゆき, 文学で考える〈日本〉とは何か, 双文社出版, PP.50-64, 138, 2007.4.10 ●[共著] ◎山内詳史・石川巧・柏木隆雄・坂根俊英・菅聡子・二瓶浩明・斎藤理生・飯田祐子・遠藤伸治・安藤宏・山口俊雄・奥野政元・中村三春・近藤周吾, 太宰治研究 15, 和泉書院, 担当箇所: [単著] 二重の「女装」-「饗応夫人論」, pp.95-106, 2007.6.19
学術論文	●[書評] 中村三春著『修辭的モダニズム テキスト様式』, 日本文学 第56巻第6号, pp.64-65, 2007.6.1
学会発表	●読者としての漱石 Soseki as a reader, Association for Japanese Literary Studies, Princeton University, 2007.11.3
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	●[解説] 内側と外側、そのまた外側, 松浦理英子『裏ヴァージョン』, pp.240-247, 2007.11.10
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.4~現在, 日本近代文学会編集委員 ●2007.4~現在, 日本近代文学会関西支部運営委員 ●2004.4~現在, 日本文学協会委員 ●2004.4~現在, 日本近代文学会評議員
-------	--

公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	経済理論・経済政策
研究課題	「構造改革」と総括される政府の経済政策の検討, 現代日本経済のジェンダー視角からの検討, 東アジアの経済共同に対する「慰安婦」歴史問題の影響の検討

教育活動

担当授業科目(大学)	比較経済論, キャリアを考える, 女性学(実践編), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 経済学(国際経済を含む), 知への好奇心II(戦争と平和), 現代社会と経済学, 基礎ゼミ, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●専攻ゼミ(II)では、学びの成果を著書にまとめる目標をもち、これを達成した。 ●専攻ゼミ(I)では、教室での学びを各種資料館の見学や元「慰安婦」の証言聞き取りなど学外での学びと結びつけている。 ●専攻ゼミ(I)では、多くの映像を学習の素材として活用しているが、科目「経済学」「比較経済論」「女性学」「現代社会と経済学」などでも関連する映像を活用した。
授業評価への対応	●いずれの科目にあっても、学生による評価の概要は黒板などに数値を示して紹介し、コメントを行っている。2007年度については、特に大きな改善を要する問題はなかった。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	●学生との「慰安婦」問題での学びの実践については、学外での講演会多数(社会貢献の欄に詳述)。
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	<ul style="list-style-type: none"> ●[単著] いまこそ、憲法どおりの日本をつくろう!, 日本機関紙出版センター, 2007.6.1 ●[共編著] 石川康宏ゼミナール「慰安婦」と心はひとつ 女子大生はたたかう, かもがわ出版, 2007.6.15 ●[共編著] 石川康宏ゼミナール「慰安婦」と出会った女子大生たち(韓国語版), 東文選, 2008.1.20
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●「新憲法草案」と東アジアの中の日本, 経済科学通信 第131号, 基礎経済科学研究所, 2007.4.30 ●学生と学ぶ「慰安婦」・平和問題, 歴史科学 第189号, 大阪歴史科学協議会, 2007.9
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	<ul style="list-style-type: none"> ●学習論文:「労働者の要求に『家族の幸せ』を」, 学習の友第645号, pp68-71, 2007.5.1 ●インタビュー:「過去のあやまちへの反省がなければ この国の未来は拓けない」, 社会保障 第413号, pp21-23, 2007.7.10 ●講演録:「日本国憲法施行60年今も輝きつづける憲法」, 季刊・人権問題第348号, pp1-21, 2007.7.31 ●学習論文:「ゆきづまりに向けて突き進む安倍『オール靖国』内閣」, 福祉のひろば 第456号, pp28-31, 2007.10.1 ●学習論文:「安倍首相が描く『美しい日本』と女性」, 私たちは歩みつづける, pp44-48, 2007.8 ●学習論文:「福田内閣とはどういう内閣なのか」, 高校のひろば 第66巻冬号, pp60-65, 2007.12.10 ●学習論文:「草の根の運動が政治を変える力に」, 婦民通信 第1255号, 1面, 2007.12.20

その他の著作、訳書等	●学習論文:「学びをはげまし、育つ姿にはげまされる」, 婦人通信 第595号, pp5-8, 2008.1
研究助成金の受領状況	
社会活動	
学会役員等	●2007.9～2008.3, 関西唯物論研究会・委員
公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2008.3.29, 「慰安婦」問題の解決に向けて(計2回), 講演と映画のつどい, 兵庫県民小劇場 ●2008.3.23, 格差社会よ、さようなら。憲法社会よ、こんにちは。誰がつくった? 「貧困」かえよう! 「格差社会」, 兵庫県民会館 ●2008.3.9, 激動の世界と日本, 経済情勢学習会, 横浜市従会館 ●2008.3.9, いまこそ「憲法どおりの日本」を, 神奈川私学教職員組合連合春闘講座, 神奈川県立青少年センター ●2008.3.5, 学生と学ぶ「慰安婦」・憲法問題, 名古屋市職員労働組合講座, 労働会館 ●他、年間100回程度
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	社会福祉学
研究課題	セルフヘルプ運動とその支援, ソーシャルワーカーの機能, ソーシャルワーク実践とその方法

教育活動

担当授業科目(大学)	文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 人間福祉学入門, 精神保健福祉援助技術総論, 社会福祉援助技術現場実習指導, 精神保健福祉援助実習, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●まず、教室を動きまわり、学生の近くに行き学生を参加させる。教員は動作で具体的に示したり、図を描きなどで具体的に示す。具体例をあげる。学生に行動して示してもらう。ロールプレイを行う。学生が知識を使えるようにする。自分の知識にできるようにしている。 ●卒業生に来てもらい、現場の体験を話してもらう。また、障害者の人々などにきてもらい、自分の体験を話してもらう。学生が実際に障害者の生活とその成果を理解し、学ぶ動機付けを高める。 ●人間福祉学入門、ゼミ、精神保健福祉援助技術総論では、講義ノートおよび「論文とその書き方」を作成し、学生に配布し、講義で活用している。また、レジメを作成し配付している。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●話し方の工夫、特に、板書の書き方に関する対応。何度も板書する。 ●学生の理解度を高めるための工夫をしている。大切なことを何度も伝える。多くを教えずに焦点をしぼるなど。 ●図を描くなどで視覚に訴え、イメージを作れるように工夫している。
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度では、「新しい時代における援助と、ソーシャルワーカー」という講義用のテキストを作成した。 ●「精神保健福祉論」中央法規出版の改訂を行った。 ●実習における日誌および計画書の書き方を作成し、報告した。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	<ul style="list-style-type: none"> ●日本精神保健福祉士養成校協会の全国大会で教員に対する模擬授業を実施した。 ●日本精神保健福祉士養成校協会の関西部会でカリキュラムのあり方に関する講演を行った。 ●実習における日誌、授業のための道具に関する報告書を作成し、報告した。
その他教育活動上特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ●教員の教育方法に関する研修会に参加している。たとえば、家族心理教育の方法など。これは、精神保健福祉援助技術総論授業のためである。 ●また、障害者と直接接触れる機会を作り、精神障害者に対する理解を得られようとしている。

研究活動

著書・CD	●[監修] シナリオで学ぶ基本技術と技術指導の実際, 星屑倶楽部, 2008.2
学術論文	
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●SSTプログラムを実現するための戦略, 第12回SST学術集会, 海峡メッセ, 2007.11.30~12.1 ●教員が教員になっていくための道-私の実践-, 日本日本精神保健福祉士養成校協会第四回全国大会, 高知県立大学, 2007.6.30~7.1 ●精神保健福祉士の養成教育を求めて, 日本精神保健福祉士養成校協会関西大会, 人間福祉大学, 2008.3.28
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	●実習日誌と実習事例の作成の手引き, 精神保健福祉実習報告書2007年度版, 神戸女学院大学文学部総合文化学科, pp.77-89, 2008.3
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所, [代表者] 精神保健福祉士養成教育の方法, 27万円

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2002.4~現在, 日本精神科救急学会評議員 ●2004.7~2007.7, 日本精神保健福祉士養成校協会理事
-------	--

公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.4.14, 話すことと聴くこと, 医療法人医真会, 宋クリニック ●2007.6.16, 面接の技法, 姫路市社会福祉協議会 ●2007.6.21, セルフヘルプグループとその支援, 大阪府断酒連合会 ●2007.7.21, SST(社会生活技能訓練), 宋クリニック ●2007.7.28, セルフヘルプの力, 京都精神保健福祉士協会, 京都労働文化会館 ●2007.8.2, SST(社会生活技能訓練), 社会福祉法人夢野, 夢の生活訓練施設 ●2007.8.5, セルフヘルプグループとその支援, 島根県精神保健福祉センター ●2007.8.18, グループの運営, 姫路社会福祉協議会 ●2007.8.21, 面接の技法, 社会福祉法人夢野, 夢の生活訓練施設 ●2007.11.2, 退院支援, 社会復帰促進協会, 大阪府精神保健福祉センター ●2007.11.22, 面接の技法, 神戸身体障害者施設連盟, 神戸市社会福祉協議会 ●2008.3.22, ピアヘルパー, 医療法人 小曾根会, 地域活動支援センター ●2008.3.4, 相談員の役割, 兵庫県, 神戸市社会福祉協議会
学外機関委員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2002.4～現在, やなぎの里評議員 ●2002.4～現在, 浅香山記念会監事 ●2002.4～現在, 朋志美会評議員 ●2002.4～現在, 神戸市市民調査委員会特別委員 ●2004.4～現在, 患者の権利オンブズマン委員 ●2004.4～現在, 神戸市市精神保健福祉専門委員 ●2004.4～現在, 神戸市障害者推進協議会副会長 ●2008.3～現在, 社会福祉法人選定委員会委員長 ●2004.4～現在, 兵庫県社会復帰施設連盟顧問 ●2007.4～現在, 兵庫県消費生活擁護推進専門委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ●施設や医療機関の専門職員に対する現任訓練を持続的に実施 ●精神保健福祉士関連の団体の相談役を担う

備考

留学(10/07～09/08)

専門分野	社会学
研究課題	現代の地域社会の諸問題, アクターネットワーク論の再検討, デジタル社会の社会学的再考

教育活動

担当授業科目(大学)	文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 社会学概論, 地域社会学, 知への好奇心II(戦争と平和), 基礎ゼミ, 卒業論文, 社会学演習 I
担当授業科目(大学院)	社会学演習 I
教育内容・方法の工夫	●社会学概論(前期と後期)、地域社会学(前期): 基本用語や重要な専門用語は板書すると共に、必要な場合には一覧表を作成し配布した。また、図表や事例の資料も配布した。 ●卒業論文(特に後期): 添削などをくり返しながら内容や文章表現をチェックした。
授業評価への対応	●社会学概論(前期と後期)、地域社会学(前期): 板書の字を読みやすくする、私語には注意する、難しい内容については時間をかけて具体的に説明する、等々の対応に心がけた。
作成した教科書・教材・参考書	●社会学概論(前期と後期)、地域社会学(前期)、専攻ゼミ(I)(前期と後期): 授業内容に関する「手作りの教材」をそのつど作成している。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●アクターネットワーク理論と実践コミュニティ理論の再考, 神戸女学院大学論集第54巻第2号, 2008.1.20.
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所研究助成, [代表者] モノ(物)に関する社会学的研究の再考, 27万円

社会活動

学会役員等	●2005.10~2007.9, 日本都市社会学会年報・編集委員
公開講座、市民講座等での講演	●2007.6~7, 東アジアと日本を考える(計5回), 西宮市大学単位共通講座, 西宮市大学交流センター
学外機関委員等	●1995.4~現在, 新修彦根市史編纂・現代史部会執筆委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	●京都のまちの社会学研究会, 『京都のまちの社会学』出版のための研究会, 2007.4~現在, (2ヶ月に1回の研究会)

専門分野	日本史
研究課題	東アジア海域世界の交流史, 海運・流通ネットワーク史, 近世日本の境界領域論

教育活動

担当授業科目(大学)	文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 日本史(II), 史料で探る日本の歴史, 基礎ゼミ, 卒業論文, 日本史特殊講義, 比較文化学合同研究A
担当授業科目(大学院)	日本史特殊講義, 比較文化学合同研究A
教育内容・方法の工夫	●専攻ゼミにおける資料分析トレーニングの実施 ●大学院ゼミにおける学科活動(史跡調査フィールドワーク)
授業評価への対応	●質問に対応した資料プリント配布による応答を工夫した
作成した教科書・教材・参考書	●海域アジア史研究入門(岩波書店刊 2008年)
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	●[共著] ◎桃木至朗ほか32名, 海域アジア史研究入門, 岩波書店, pp.191-199, 2008.3.26 ●[共著] ◎高阪薫ほか6名, 甲南大学研究業績No.96, 甲南大学研究所, pp.58-63, 2008.3.31 ●科研費研究成果報告書(基盤研究C)琉球を中心とした東アジアにおける物流構造, 真栄平研究室
学術論文	●清国を訪れた琉球使節の見聞録, 第8回琉球・中国交渉史に関するシンポジウム論文集, 2007 ●江戸時代の紀行文にみる琉球, 歴史地理教育第723号, 2007.12.1
学会発表	●海の香料貿易, 日本学研究所「鯨科研」, 立教大学, 2007.7.15
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	●書評: 原田禹雄訳注、李鼎元著『使琉球記』榕樹書林, 図書新聞, 2007.7.7 ●エッセイ: 海の王国・琉球の航海, 日本友好新聞, 2007.4.5~5.25 ●学習論文: 「史料にみる歴史-那覇の港のにぎわい」, 帝国書院「中学校社会科のしおり」11月号, 2007.11.1 ●書評: 『尖閣研究 高良学術調査団資料集』, 琉球新報, 2008.1.15
研究助成金の受領状況	●神戸女学院研究所研究助成, <代表者>, 「海洋資源」としての竜涎香(ambergris), 30万円

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	●2007.5.16,23, 日本と東アジアについて考える, 西宮市大学共通単位講座, 西宮市大学交流センター ●2007.7.14, 日本が見る中国、中国が見る日本(内田樹vs真栄平房昭), 朝日カルチャー講座, 朝日新聞ビル5階大阪教室 ●2007.12.1, 沖縄-戦争の記憶と向き合う, 憲法9条の会, ハートピア京都
学外機関委員等	●2005年~現在, 国立歴史民俗博物館第3展示室リニューアル検討委員会・委員 ●2005年~現在, 沖縄県歴代宝案編集委員会・委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	●国際日本文化研究センター・共同研究員

専門分野	キリスト教神学, 宗教哲学
研究課題	キリスト教と日本の宗教との比較, キリスト教の霊性, ヨハネによる福音書のキリスト論

教育活動

担当授業科目(大学)	基礎ゼミ, 女性学(実践編), 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), キリスト教概説, キリスト教学(旧約学), 宗教史特講, 初期神戸女学院, 聖書学(II), 文献ゼミ, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	比較宗教学
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●キリスト教概説の授業: クリスマスの絵画に関するスライドおよびその解説のプリントを作成した。 ●宗教的人間論: 日本の宗教史の解説のため各地の神社仏閣を訪れ、写真を撮り、資料を収集した。 ●専攻ゼミ(I),(II): 宗教的な生き方を問う文献を調査し、吟味した。毎月必ず課題を提出させた。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●専攻ゼミ, 基礎ゼミ, 文献ゼミ: 学生の感想と質問に授業で答えた。それによって学生が授業にさらに積極的に参加するように指導した。 ●宗教的人間論: 学生の記述がほとんどなかったため、主な結果のみを発表した。
作成した教科書・教材・参考書	●『世の光キリスト』を2007年12月に作成:キリスト教学の授業のためヨハネ福音書のキリスト論を解説した。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ●学生寮の礼拝:前期・後期各々2回ずつ担当 ●フレッシュマンキャンプの礼拝:3回担当 ●チャペルアワーニュース:授業期間中、チャペルアワーニュースの原稿を毎月1回担当した。

研究活動

著書・CD	
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●キリスト教の霊性(その2), 神戸女学院大学論集第54巻第1号, 2007.6.20 ●ロゴス・キリスト論, 神戸女学院大学論集第54巻第2号, 2008.1.20 ●キリストの形, 日本カトリック神学会会誌第18号, 2007.8.31
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	●1998.4～現在, 日本キリスト教学校教育同盟夏期研修会実行委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	現代アメリカ小説
研究課題	多文化社会におけるマイノリティの諸相

教育活動

担当授業科目(大学)	アメリカ研究, 基礎ゼミ, 女性学(理論編), 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), Comprehensive English Ⅱ, 文献ゼミ, 卒業論文, 国際文化論Ⅰ
担当授業科目(大学院)	国際文化論Ⅰ
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●アメリカ研究、前後期、双方向コミュニケーションの促進:履修者には毎週講義についてのコメントを提出してもらい、翌週の授業の冒頭で復習を兼ねて質疑に答え、興味深いコメントを紹介した。 ●専攻ゼミ(Ⅰ)(Ⅱ)、前後期、ゼミ生同士の相互学習の促進:ゼミ内のメーリングリストに担当者への提出物を添付してもらい、お互いに読みあうことで互いから学ぶ機会を提供した。
授業評価への対応	●総合英語(Ⅱ)、後期、履修者の希望への歩み寄り:前期の授業評価アンケートで、授業の難易度が高いという声が多く出たので、後期は難易度を低くし、より多くの履修者の理解度を高めるよう配慮した。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●マーガレット・アトウッド『侍女の物語』における文宅的審美性, 女性学評論第22号, pp.1-20, 2008.03
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2006.4～現在, 日本アメリカ文学会関西支部運営委員 ●2007.4～現在, 日本アメリカ文学会関西支部編集委員
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	ドイツ文学
研究課題	ヘルマン・ブロッホ, klassisch-Moderneの長編小説, 田園都市の思想と運動

教育活動

担当授業科目(大学)	知への好奇心Ⅱ(戦争と平和), ドイツ語(Ⅰ)文法, ドイツ文学, ヨーロッパの言語と文化, 専攻ゼミ(Ⅰ), 基礎ゼミ
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	●配布教材と視聴覚資料の活用。またコメントシートやミニレポートの活用、クイズ、小テスト、宿題の添削など、きめ細かな双方向授業を心がけている。
授業評価への対応	●結果を授業中に報告。
作成した教科書・教材・参考書	●講義『ヨーロッパの言語と文化』『ドイツ文学』『知への好奇心』配付資料、ドイツ語文法授業の副教材
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	●Authentizität und Originalität des Dargestellten (分科会司会), 日本独文学会第50回ドイツ文化ゼミナール, 蓼科アートランドホテル, 2008.3.25
その他の研究発表、演奏	●2007.11.21, 芸術家村から住宅団地へ-世紀転換期からヴァイマル期ドイツの田園都市構想について, 専門部会研究発表会 ●2007.11.30, 祝祭と宗教の町ミュンヘン, 科別集会 ●2007.12.19, ドイツのクリスマス, チャペルアワー
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所総合研究助成, [分担者] エロースの型と系譜に関する人文主義的研究

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

備考

留学(9/06~09/07)

専門分野	
研究課題	

教育活動

担当授業科目(大学)	基礎ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), メディアリテラシー入門, 文献ゼミ, 社会学演習 II, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	英米文学, 批評理論, 文化学
研究課題	生きるための思想, 文学作品の文化学的構造分析

教育活動

担当授業科目(大学)	比較文化特殊研究(Ⅳ), 文献ゼミ, 外国語セミナー(英語Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), ワークショップⅣ(クリエイティブライティング), 基礎ゼミ, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<p>●1回生～4回生のゼミ等の基幹科目(前後期科目を含んで通年)・レポート添削指導:1回生から4回生のゼミ等の基幹科目については、(ほぼ毎回)学生から提出されたすべてのレポートについて、簡単なコメント、および評価(ABC評価)のレベルを超えて、「てにをは」(日本語表現)から、どこが優れていたのか、どこが問題だったのか、それをクリアする方法等(論の展開・発想への評価・思考の工夫等)を明記し、レポートの添削指導を徹底した。</p> <p>●クリエイティブライティング(前後期の通年科目)・エッセイの執筆と編集の指導、および冊子の作成:新聞の文化欄に一年間(毎週1回・1000字)連載していた文化エッセイ「現代のキーワード」を教材として、学生たちにもプロのライターとしての意識をもって、エッセイの執筆・編集活動に取り組んでもらった。学生たちの原稿は、学期終了後、印刷所で1冊の冊子にまとめてもらって、その成果として保存している。</p>
授業評価への対応	●ほとんどすべての科目(通年): ほとんどすべての科目について、授業評価の問題点と改善点について確認し、必要に応じて、学生への説明・質問への応答を行った。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●総合文化学科の基礎ゼミ(前期)全クラス: 2006年度に単独で作成した基礎ゼミ(全クラス共通)の「レポートの書き方(入門編)」を一部改訂し、年度始めの最初の授業で全クラスに配布。

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	<p>●書評「下流志向」, 学報, p.14, 2007.12.19</p> <p>●書評「疲れすぎて眠れぬ夜のために」, 学報, p.18, 2008.3.19</p> <p>●エッセイ連載「現代のキーワード」, 公明新聞, 毎週金曜日の文化欄(合計52週分), 2007.4.1～2008.3.31(1年間)</p>
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	フランス現代思想, 映画論, 武道論
研究課題	ユダヤ教思想, 武道的身体論, 映画の構造分析

教育活動

担当授業科目(大学)	文献ゼミ, 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), フランス語(Ⅰ)文法, 対話-音楽から広がる知の世界, メディアと知, 基礎ゼミ, 卒業論文, 比較文化・文学
担当授業科目(大学院)	比較文化・文学
教育内容・方法の工夫	●専攻ゼミ(Ⅱ):ゼミを録音して、テープ起こして、活字化する企画を実施。朝日新聞社から刊行予定。
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	<ul style="list-style-type: none"> ●[単著] 街場の中国論, ミシマ社, 2007.6.3 ●[単著] 私の身体は頭がいい, 文藝春秋, 2007.9.10 ●[単著] 村上春樹にご用心, アルテス・パブリッシング, 2007.9.28 ●[共著] ◎斎藤孝・身体の知恵・大和書房, pp.14-39, 2007.4.5 ●[共著] ◎守伸二郎・光岡英稔・韓氏意拳, スキージャーナル社, pp.103-117, 2007.4.28 ●[共著] ◎谷祝子, 自己を語る身体表現, 冬弓舎, pp.109-110, 2007.5.20 ●[共著] ◎養老孟司, 逆立ち日本論, 新潮社, 2007.5.25 ●[共著] ◎平尾剛, 合気道とラグビーを貫くもの, 朝日新聞社, 2007.9.30
学術論文	●善意の格差論のもたらす害について, 神奈川大学評論, pp.30-39, 2007.11.30
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	第6回小林秀雄賞
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	フランス文学
研究課題	文学, 文体論

教育活動

担当授業科目(大学)	専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 基礎ゼミ, フランス文化論, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	●基礎ゼミのレポートは、後半以降、すべて添削。ただし、授業評価は高くない。
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	日本近現代史
研究課題	社会運動史, 思想史-ナショナリズム論, 女性史, 地域史

教育活動

担当授業科目(大学)	基礎ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 歴史学入門, 現代日本論, 現代日本論, 文献ゼミ, 卒業論文, 日本文化論, 比較文化学合同研究A, 比較文化学特殊研究
担当授業科目(大学院)	日本文化論, 比較文化学合同研究A, 比較文化学特殊研究
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●「歴史学入門」や「現代日本論」:ほぼ毎回、講義・テキストに対する質問・感想メモを提出させ、次回講義でコメントをした。 ●学期末レポートは最終講義の日に、コメント付きで返却し、若干の質疑応答、総括的な講評を行った。
授業評価への対応	●「歴史学入門」(前期)はテキストが学生にとってが難しすぎたようで、多くの学生から不満があった。学生の提出メモのコメントで出来るだけ回答するようにした。
作成した教科書・教材・参考書	●ワイオミング大学の訪問学生に行った特別講義のレジュメを使って、歴史学入門で3回の講義をした。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●上野輝将, 『歴史学は現在にどう向き合うか』を聞いて, 『歴史評論』687号歴史科学協議会編修, pp83-63, 2007.7
学会発表	●上野輝将, 近江絹糸人権争議の研究-『社会の深み』から-, 第45回部落問題研究者全国集会, 立命館大学衣笠キャンパス, 2007.10.28
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	社会福祉学
研究課題	アフリカの精神保健福祉, イギリスのソーシャルワーク

教育活動

担当授業科目(大学)	基礎ゼミ, 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), 精神保健福祉論, 社会福祉援助技術現場実習指導, 精神保健福祉援助基礎実習, 精神保健福祉援助実習, 文献ゼミ, 卒業論文, 社会福祉学特殊講義(Ⅰ)
担当授業科目(大学院)	社会福祉学特殊講義(Ⅰ)
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●精神保健福祉論 2002.4～, 学生把握のための様式作成: 学生をできるだけ個別に把握できるように、学生自身の似顔絵入りの「自己紹介カード」を作成し利用している。 ●社会福祉援助技術現場実習指導 2007.5～6, 学外スピーカーの招聘: 学生が利用者や現場で働く精神保健福祉士に対する理解を深めることができるように当事者や精神保健福祉士を招聘して話を聞いた。 ●精神保健福祉論 2002.4～, 学生の理解度の把握: 授業の毎回の出席カードには質問やコメントを書くように学生に伝え、次回の授業の初めに税員の前でひとつひとつの質問に答え、またコメントを全体で共有するようにしている。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●精神保健福祉論(2007.7, 2008.1), 基礎ゼミ(2007.7), 文献ゼミ(2008.1), 学生への評価のフィードバック: 授業評価については、結果を学生に口頭でフィードバックを行っている。 ●精神保健福祉論, 授業評価結果に基づく授業改善: 授業評価の結果に基づき、評価が低い項目については改善努力をした。具体的には、学生に授業外での学習の機会を提供するなど工夫した。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●2007.9.29, 精神保健福祉士養成課程OG会・研修会: 社会福祉現場で仕事をする卒業生の卒後研修を実施した。

研究活動

著書・CD	●[共著] ◎北川清一・◎久保美紀・志村健一・志村祐子・村田典子・稗田里香・田村綾子・金田知子他, 社会福祉の支援活動横-ソーシャルワーク入門, ミネルヴァ書房, pp.121-136, pp.155-171, 2008.3.1
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	<ul style="list-style-type: none"> ●書評『British Journal of Social Work, Vol.36. No.7』, ソーシャルワーク研究129号, 相川書房, pp.60-63, 2007.4.30 ●書評『British Journal of Social Work, Vol.37. No.2』, ソーシャルワーク研究130号, 相川書房, pp.71-73, 2007.7.31 ●書評『British Journal of Social Work, Vol.37. No.4』, ソーシャルワーク研究131号, 相川書房, pp.85-87, 2007.10.31 ●書評『British Journal of Social Work, Vol.37. No.6』, ソーシャルワーク研究132号, 相川書房, pp.76-79, 2008.1.31
研究助成金の受領状況	●日本学術振興会研究費補助金基盤研究(B), [分担者] シエラレオネ共和国都市部の精神保健状況に関する複合科学的な研究, 2007年度～2010年度

社会活動

学会役員等	
-------	--

<p>公開講座、市民講座等での講演</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.10.27, アフリカの精神障害者と家族-精神障害とともに生きる女性の語りより, 神戸女学院大学女性学インスティテュート学外講演会, 西宮市大学交流センター ●2008.1.28, OTPの実際-みなとネット21の活動を通して-, 平成19年度大阪府健康福祉部精神保健福祉担当職員(南ブロック研修), 和泉保健所 ●2008.2.4, OTPの実際-みなとネット21の活動を通して-, 平成19年度大阪府健康福祉部精神保健福祉担当職員(京阪ブロック研修), 寝屋川保健所 ●2008.2.7, OTPのエッセンスを学ぶ-チームで共有できる介入ツール, 大阪府退院促進支援事業研修会, 寝屋川サナトリウム ●2008.3.10, 相談活動の心構えと留意点, 精神障害者相談員養成研修会, 豊岡総合庁舎内福利厚生センター ●2008.3.12, 相談活動の心構えと留意点, 精神障害者相談員養成研修会, 洲本健康福祉事務所
<p>学外機関委員等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2000.7～現在, 『ソーシャルワーク研究』編集協力員 ●2008.1～現在, 芦屋メンタルサポートセンター・メール相談員
<p>受賞、栄誉</p>	
<p>その他社会活動上特記すべき事項</p>	

専門分野	日本古典文学
研究課題	中古中世和歌文学における題詠のあり方, 中古中世和歌文学と漢籍との関連性, 歌題集成書の成立と展開

教育活動

担当授業科目(大学)	文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 日本語(I)漢字, 日本文学講読(I), 日本文化・文学入門, 基礎ゼミ, 卒業論文, 日本文学特殊講義
担当授業科目(大学院)	日本文学特殊講義
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●文献ゼミ07年度前期 発表方法に関する指導:受講者全員が、スキャナーを用いて画像を取り込んだ資料を作成することとし、絵巻物の絵画表現への理解を促すとともに、OA機器の扱いに習熟するための機会とした。資料作成の指導にあたっては文学部リサーチルームの協力を得た。 ●日本文化文学入門 07年度後期 講義資料配布について:講義資料については、前の週に配布を完了し、受講生の予習を促した。
授業評価への対応	●日本文化文学入門 07年度後期 板書について: 前年度、文字が小さく見えづらいという指摘があったため、留意した。
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●『挑戦日本語口語教程』(邦題:日本語会話への挑戦)2007.9:中国語話者が日本語会話を学ぶためのテキスト。全体の構成、日本語会話の内容について担当。中国本国での出版物のため、自身では使用していない。 ●『大学生のための日本語表現実践ノート』: 第5刷発刊にあたり、新たに「コラム」「マメ知識」欄を加筆し、全体に訂正をおこなった。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●「専攻ゼミ(II)」臨時ゼミ9月14、15日実施: 事前学習をしたうえで、京都大原に赴いた。宿泊先では、卒業論文中間発表会のリハーサルをおこなった。

研究活動

著書・CD	●[共著] ◎趙平・新井菜摘子・李玲・熊玉娟・浦田千晶・挑戦日本語 口語教程(邦題:日本語会話への挑戦), 中国科学技術大学出版社(中国), 全174ページ、CD付き、分担部分抽出不能, 2007.9.
学術論文	
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●定家「韻字四季歌」の和歌表現-「文集百首」との関係を視野に入れて-, 平成19年度第53回和歌文学学会大会, 松江コンベンションビューロー, 2007.10.27~29 ●[司会] 中古文学会関西部会第17回例会, 大阪大学, 2007.9.8 ●[司会] 和歌文学会第95回関西例会, 神戸松蔭女子学院大学, 2007.12.1
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所研究助成, [代表者] 和歌と漢詩文の交響, 27万円

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2006.11~現在, 和歌文学会委員 ●2001.4~現在, 中古文学会関西部会運営委員
公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.6.7, 『源氏物語』をめぐって(一)桐壺巻の表現-和歌と漢詩文の引用-, 財団法人兵庫県高齢者生きがい創造協会いなみ野学園 ●2007.6.16, 重層する表現世界-『源氏物語』桐壺巻の場合-, 神戸女学院 春季公開講座「日本語を愉しむ-表現の可能性-」第5回, 神戸女学院講堂 ●2007.6.21, 『源氏物語』をめぐって(二)親から子へ-めぐる想い-, 財団法人兵庫県高齢者生きがい創造協会いなみ野学園
学外機関委員等	

受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	●神戸女学院教育文化振興めぐみ会理事

専門分野	中国近代史
研究課題	

教育活動

担当授業科目(大学)	基礎ゼミ, 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), アジア史研究, 知への好奇心Ⅱ(戦争と平和), 日本アジア関係史, 地理歴史科教育法, 文献ゼミ, 卒業論文, 文化基礎論Ⅱ, 比較文化学合同研究A
担当授業科目(大学院)	文化基礎論Ⅱ, 比較文化学合同研究A
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	倫理学
研究課題	古代ギリシア倫理思想, ヨーロッパ中世倫理思想, 現代応用倫理学

教育活動

担当授業科目(大学)	基礎ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 哲学入門, 哲学, 倫理学, 文献ゼミ, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●哲学、毎回: 講義の最後に学生からコメント用紙を提出してもらい、そのコメント用紙にコメントを返した。 ●倫理学、毎回: 講義の最後に学生からコメント用紙を提出してもらい、そのコメント用紙にコメントを返した。 ●哲学入門、毎回: 講義の最後に学生からコメント用紙を提出してもらい、そのコメント用紙にコメントを返した。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●講義科目(哲学、倫理学、哲学入門)については講義最終日:授業評価アンケートを公表し、学生からの質問やコメントに答える。 ●ゼミ科目(基礎ゼミ、文献ゼミ、専攻ゼミ(I)、専攻ゼミ(II))についてはゼミ最終日:授業評価アンケートを公表し、学生からの質問やコメントに答える。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●プラトン『饗宴』におけるアイデア論, 平成17~19年度科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書, 2008.3
学会発表	●プロティノスにおける美と倫理-ソクラテスの反省を手がかりとして, 第14回新プラトン主義協会大会, 神戸市外国語大学, 2007.9.16
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所総合研助成, エロースの型と系譜に関する人文主義的研究

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	言語学, 音声学, 日本語学, 日本語教育学
研究課題	日本語の韻律構造の解明, 基礎研究で得られた知見の日本語音声教育への応用方法, 方言音声、および、イタリア語音声と日本語東京方言音声との対照研究

教育活動

担当授業科目(大学)	基礎ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 日本語教授法(II)(日本語教育内容論), 日本語(II)読本, 日本語学研究(II), 文献ゼミ, 卒業論文, 日本語学
担当授業科目(大学院)	日本語学
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●日本語の音節量とソノリティー階層: 外来語・複合語アクセントからの証拠, レキシコンフォーラム第3号, pp.33-66, 2007.7.2 ●日本語のモーラ、音節、フットと単語長: 野球声援のリズム結合と外来語アクセント, 神戸言語学論叢第5号, pp.207-216, 2007.12.1 ●音韻・形態構造とアクセント: 語種と語形成に着目して, 音韻研究第11号, pp.131-140, 2008.3.18 ●窪菌晴夫・◎田中真一・清水泰行・儀利古幹雄, アクセント研究の諸相, KLS第27号, pp.279-182, 2007.5.1 ●大阪方言における漢語式保存と音韻・形態構造, 漢語言語学, pp.53-55, 2008.3.1
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪方言における漢語式保存と音韻・形態構造, 第1回日本語研究国際学会, パリ大学デイドロ校, 予稿集: pp.53-55, 2008.3.14~15 ●日本語におけるリズム・アクセントの「ゆれ」と音韻・形態構造, 第10回音韻論フォーラム(音韻論学会), 札幌学院大学, 招待講演, 2007.8.27~29 ●イタリア語の重子音と促音形成: 種類と生起位置に着目して, 第134回日本言語学会, 麗澤大学, 予稿集: pp.252-257, 2007.6.16~17
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●日本学術振興会研究費補助金若手研究(B)(2), [代表者] 名古屋方言におけるプロソディーと世代差に関する対照言語学的研究, 180万円, 2007年度~2009年度

社会活動

学会役員等	●2006.4~2008.8, 日本音韻論学会・事務局(書記)
公開講座、市民講座等での講演	●2007.5.19, 外来語受け入れに見る日本語の姿: 自分が相手に合わせるか、相手を自分に合わせるか, 神戸女学院春季公開講座, 神戸女学院大学
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	イギリス文学
研究課題	ユートピア文学, イギリス・ロマン派

教育活動

担当授業科目(大学)	イギリス研究, 英米文化・文学入門, 文献ゼミ, 外国語セミナー(英語Ⅱ), 専攻ゼミ(Ⅰ), 専攻ゼミ(Ⅱ), 対話-音楽から広がる知の世界, 基礎ゼミ, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●「イギリス研究」の授業では教科書に代わるものとして、毎回A4、6ページの講義プリントを作成し配布した。プリントは要所、要所を空欄とし、学生が講義を聞きながら穴埋めをするようにした。OHP、DVDなど多様な視覚的資料を用いて、学生の理解の一助とした。 ●「英米文化・文学入門」の授業では、毎回A4、4～5ページの講義プリントを作成して配布した。後期の授業では英語の歌を教材として取り上げ、CD、DVDなどAV教材を多用し、学生の関心を高める工夫をした。 ●「対話」の授業では、8ページのプリントを用意し、CD、DVDなどを用いて、学生に積極的に関心をもってもらうように工夫した。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての科目で授業評価アンケートを実施し、評価結果については学生に報告した。休講したため業者による集計ができなかった1科目については個人的に集計し、学生に報告を行った。学生からの自由記述による評価、要望については、多数にのぼるクラスについてはプリントにして配布し、少数のクラスについては口頭で紹介し、こちらの意見などを伝えている。
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●「イギリス研究」では毎回A4、6ページの講義プリントを作成した。 ●「英米文化・文学入門」では毎回A4、4～5ページの講義プリントを作成した。 ●「対話」では、8ページの講義プリントを作成した。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	●[書評] 稲垣恭子著『女学校と女学生』, 女性学評論 第22号, pp.99-105, 2008.3.31
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	ソーシャルワーク, 社会開発, 社会調査
研究課題	人権と社会正義に基づくソーシャルワーク実践の日豪比較研究, 滞日アジア女性の医療と子育て支援, 若者の性感染症予防プログラムの開発と有効性の検証

教育活動

担当授業科目(大学)	キャリアを考える, 基礎ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 社会調査計画法, 社会調査実習, 社会調査入門, 文献ゼミ, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	社会学特殊講義II・V
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●専攻ゼミ(I): 「女性の生き方」をテーマにドキュメンタリービデオの自主製作を試み、学生の表現能力の多角的向上とジェンダー問題に関する感受性の向上を目指した。 ●社会調査実習: 学生の身近な社会問題として「子育て」をテーマに取り上げ、実践的な調査経験を目指した。実際に行政や学童保育の現場の協力を得て実査を体験した。 ●基礎ゼミ・文献ゼミ: どちらも参加型ワークショップスタイルでの運営を心がけ、学生の表現能力の向上を目指した。
授業評価への対応	●学生による評価は特に問題がないため、対応することはない。
作成した教科書・教材・参考書	●大北全俊, 編 メディカ出版Gサプ「事例で学ぶケアの倫理」, (2007, メディカ出版), pp80-85, 「HIV感染症のケア」を執筆
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	<ul style="list-style-type: none"> ●[共著(ただし編者)] ◎横田恵子・舟木紳介・ボブ・ピース・加茂陽, 解放のソーシャルワーク, 世界思想社, 2007.7.20 ●[共著] ◎大北全俊, その他, 事例で学ぶケアの倫理, メディカ出版, 2007.10.1
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	●「薬害エイズ問題」調査の6年間: 批判的省察の試み, 被害当事者・家族のライフストーリーの社会学的研究, 科学研究費補助金(基盤研究B・No.17330109)報告書, pp239-246, 2008.3.30
研究助成金の受領状況	<ul style="list-style-type: none"> ●日本学術振興会研究補助金基盤研究(B), 代表者, エスニック・マイノリティによる多文化ソーシャルワーク実践の日豪比較研究, 377万円 ●サー・ニール・カーリー出版助成, [代表者] 書籍「解放のソーシャルワーク」(世界思想社), 豪日交流協会・オーストラリア大使館, 5000オーストラリア・ドル ●神戸女学院大学研究所研究助成, [代表者(単独)] 高校におけるピア・エデュケーションによる社会学習と社会実践の総合の試み, 26万円

社会活動

学会役員等	●2007.4～現在, the Social Work Education 誌, アジア・オセアニア地区編集委員
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	●2006.10～現在, 厚生労働省(エイズ予防財団委託)エイズ戦略研究運営委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	●NPO法人 Center for Health and Rights of Migrants 理事

専門分野	国際人権法
研究課題	国際人権法における男女平等の確保, 国際人権法における女性と子どもの人身売買の防止

教育活動

担当授業科目(大学)	女性学(実践編), 文献ゼミ, 専攻ゼミ(I), 専攻ゼミ(II), 自然と人間, 家族と法, 現代社会と法, 国際法, 法律学, 法律学(国際法を含む), 女性と司法, 人権論, 基礎ゼミ, 卒業論文
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●法律学: 毎回の授業における法律用語の説明、基本判例の解説: 関連資料の配布による平易な説明に務めた。 ●家族と法: 定期的な学習理解度の確認: 授業テーマの区切りごとに確認テストを実施し、解説を行い、学生の理解度を深めることに務めた。 ●現代社会と法: 法学に関する基本的知識の修得、定期的な学習理解度の確認: 入門編であることを考慮し、法学に関する基本的用語、概念を丁寧に解説し、定期的な確認テストの実施と解説によって、学生の理解を深めることに務めた。
授業評価への対応	●すべての担当科目において学生によるコメントカードの記述を実施: コメントカードに基づいて、分かりにくい内容については次回の授業でもう一度解説をおこなった。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●専攻ゼミ(II)夏期休暇中 卒論指導: ゼミ生が14名であったことから夏期休暇中も個別に卒論指導を行った。ゼミ生の卒業論文が優秀論文の一つに選ばれ、岡田山論集への掲載が決まった。

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	●[共訳] 近江美穂・大石由紀・加藤登紀子・田中恭子・堀口悦子・渡部美穂, 女性差別撤廃条約選択議定書活用ガイド, 国際女性の地位協会, pp.2-15, 2007.9.20
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所総合研究助成金, [代表者] 市民生に寄与する人権認識形成に貢献する学校教育についての理論的研究及び試験的社会調査, 135万円

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	Piano Music
研究課題	Russian Music, Music by N.K.Medtner, Music by P.I. Tchaikowsky and A. N. Scriabin

教育活動

担当授業科目(大学)	M151ピアノMAJOR(Ⅰ), M151ピアノMAJOR(Ⅱ), M151ピアノMAJOR(Ⅲ), M151ピアノMAJOR(Ⅳ), 器楽実技1, 器楽実技2
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<p>●As usually, I thought about the individual development of my students, about the pieces which they need to play and which they better avoid playing at the exams, about the enlargement of their horizons and of the rise of their cultural level. Ofcourse, I taught them a lot of piano technique, but developed technique without the developed mind and capacity of expressing does not have a big value. I tried to teach them how to read the score, to understand it better to think about how to express the music and, the main thing, I taught them never to play badly, respect music and the composer who wrote it.</p> <p>●I studied the pieces which they were playing, I read many books about the composers and music, about teaching, listened to many different recordings and recommended my students to listen to them, gave them CDs.</p> <p>●I often go to the theater, to the concerts, to the exhibitions, visit museums and often I share my impressions with my students. But the main thing is that I do not permit them to play badly. They should respect music. (and love it.)</p>
授業評価への対応	<p>●I am not teaching groups, so my students do not need to write me anonymously.</p> <p>●We are always talking very frankly.</p>
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	<p>●The teacher is responsible of the way his students is playing. The piece should correspond to the students not only technical, but musical capacities and both the teacher and the student should work very hard. The bad performance is the destroying of art, the act of vandalism.</p> <p>●I had 3 graduates last year, they studied very well and all of them played at the concert of the best graduates at Izumi hall in Osaka on april 24th 2008. Of course, there things are not happening every year. It was just a lucky chance!</p>

研究活動

著書・CD	●[単著] CD “Scriabin piano Sonatas NN1,6,7,10”, Camerata Tokyo, 2008.2
学術論文	
学会発表	
演奏会	<p>●Program of Mozart’s, Chopin’s and Soriabin’s music, Boris Bekhterev Piano Recital, Hyogo Center of Performing Arts,Nishinomiya, 2007.9.14</p> <p>●Piano Music and Music for Flute and Piano.Beethoven Sonata op.109 etc., The Last Lesson Together with by Naotaka Nishida, KC KODO, 2008.2.22</p>
作曲、編曲	●Arrangements for flute and piano : Tchaikosky 3 pieces from “Seasons” op.378 Medtner Canzona matinata op 39N4, Tchaikovsky “Troika” “Last Lesson” , KC KODO, 2008.2.22
その他の研究発表、演奏	●2008.2.22, Piano and flute music (Mozart, Beethorven, Chopin), “The Last Lesson” with prf. Nishida Naotaka. KODO
その他の著作、訳書等	

研究助成金の受領状況	●KC Research Institute, [単独] The subsidy for recording a CD "Scriabin Piano Sonatas, NN 1,6,7,10", 493000円
------------	--

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	●2008.1.20, Private Lessons, organized by Kawai (5students)
公開レッスンでの指導	
コンクール等の審査	<ul style="list-style-type: none"> ●The 19th Takarazuka Vega Music Competition , Vegahall, 2007.6.1～3,24 ●The OSAKA International Competition , Hyogo Center of Performing Arts, Nishinomiya, 2007. 8.18 ●The 13th Kobe International Students Competition, Kobe The Hall of The Technical Promotion Center, 2008.1.5～6 ●The 4th Nagoya International Music Competition, Nagoya Artopia Hall, 2008.3.19～24
学外機関委員等	●2006.4～2007.3, 関西音楽大学協会委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	作曲
研究課題	

教育活動

担当授業科目(大学)	対話-音楽から広がる知の世界, 和声学(I), 和声学(II), 対位法(I), 作曲 MAJOR(I), 作曲MINOR(I), 楽器論, 和声学(I), 和声学(II), 対位法(II)
担当授業科目(大学院)	作品分析B, 作曲実技II
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●作曲Second Major I 通年 指導全般: 本課程を履修希望し許可され受講する学生があり、本制度が発足後、作曲専攻において最初に実際の教育がはじまった。この学生が新しい課程を無事有意義に修了できるよう、担当教員として指導にあたった。 ●対位法I 前期を通して 学生の意欲: 鍵盤専攻3年次必修科目として、基礎的な作曲技法の講義&実習を、興味を失わずに受講させる方法を模索する。
授業評価への対応	●和声学(I),(II) 前後期 学生の意欲: 必修科目の講義と実習のバランス、宿題の与え方など。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●コンピュータ音楽ほか 2007.9.10, 米国コロラド大学ボルダー校視察, 同大学のコンピュータ音楽関係授業ほかを見学し、またパフォーマンス・アーツ関連施設の視察を行った。

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
演奏会	<ul style="list-style-type: none"> ●混声合唱のための〈佐良浜のハイミヤ〉, 第44回京都合唱祭, 京都会館第2ホール, 2007.5.27 ●歌曲〈ななよ泣くなよ〉, チャペルコンサート, 大津市 琵琶湖ホテル, 2007.6.13 ●"Prelude""Sleep My Dear""Iyonruika", Cantabile Singers Kick-off Party, at the house of T.E. Barron (a famous SF writer) in Boulder, Colorado (U.S.), 2007.8.28 ●"Baby, don't you cry!"" I yonruika", Colorado Spotlight's Charley Samson presents a preview of the CU Boulder Faculty Recital Series, Colorado Public Radio (U.S.), 2007.9.10 ●"Code for Flowers" for Piano solo, Faculty Recital Across the Pacific -Music from Japan and the U.S., Grusin Music Hall, University of Colorado at Boulder (U.S.), 2007.9.11 ●"Hushaby Songs", The entire piece for the 100th Year Anniversary of Japanese Americans in Colorado, Denver Buddhist Church (U.S.), 2007.10.13 ●女声合唱のための〈ねんねこうた〉, 07神戸女学院大学音楽学部定期演奏会, 兵庫県立芸術文化センター大ホール, 2007.12.4 ●《音の虹が降りてくる? U・A・E・I》, 神戸女学院大学音楽学部ミュージック・クリエイション専攻開設記念公演, 兵庫県立芸術文化センター小ホール, 2007.12.19 ●〈秋のいのこ餅〉, 和歌山ユース合唱団 1st Concert, 和歌山市 メディア・アート・ホール, 2008.2.10 ●《コード・フォア・フラワーズ》, 第9回クリエイティブコンサート, 茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール, 2008.2.24 ●童声合唱のための〈なんねんぼ〉, 表千家同門会和歌山県支部青年部発会式, ホテルグランビア和歌山, 2008.3.23

作曲、編曲	<ul style="list-style-type: none"> ●混声合唱のための〈ナッチロリン〉作曲 初演, 第44回京都会合唱祭, 京都会館第2ホール, 2007.5.27 ●女声合唱のための〈秋のいのこ餅〉作曲 初演, 宝塚ベガ国際室内合唱コンクール, 宝塚ベガホール, 2007.7.28 ●“Hushaby Songs” World Premiere, Faculty Recital Across the Pacific -Music from Japan and the U.S., Grusin Music Hall, University of Colorado at Boulder(U.S.), 2007.9.11 ●《音の虹が降りてくる? U・A・E・I》作曲 初演, 神戸女学院大学音楽学部ミュージック・クリエイション専攻開設記念公演, 兵庫県立芸術文化センター小ホール, 2007.12.19 ●女声合唱のための《わらべうたのカタログ》作曲 初演, 女声合唱団エオリアン創立25周年記念演奏会, 大阪市 いずみホール, 2008.3.29
その他の研究発表、演奏	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.7.7, 〈つきのひかり〉, アウトリーチ『子どものための七夕コンサート』 ●2007.7.29, 〈ややこら眠れ〉〈ていんさぐぬ花〉《Code for Flowers》〈秋のいのこ餅〉, オープンキャンパス『音楽学科のミニ・コンサート』 ●2007.9.11, 《ハッシュバイ・ソングス》, 専門研究会『音楽は海を越えて～日本とアメリカの音楽交流 コンサート』
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
公開レッスンでの指導	
コンクール等の審査	<ul style="list-style-type: none"> ●第30回全日本おかあさんコーラス大会関西支部和歌山大会審査員, 紀の川市粉河ふるさとセンター, 2007.6.3 ●平成19年度和歌山市児童生徒文化奨励賞審査員, 和歌山市役所, 2008.1.7
学外機関委員等	●2006.4～現在, 学校法人みどり学園理事
受賞、栄誉	【第34回ガイド・ダレッツォ国際作曲コンペティション2007(34° CONCORSO INTERNAZIONALE DI COMPOSIZIONE“GUIDO D’AREZZO”2007)入選】《A Song of a Weaving Shed》-From the Ballad of Miyako Island, for mixed choir with three instruments
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	指揮・作曲
研究課題	指揮, 作曲, 19世紀の洋楽導入

教育活動

担当授業科目(大学)	指揮法, 合唱(Ⅲ), スコア・リーディング, 舞台表現法, 合唱(Ⅳ)
担当授業科目(大学院)	創造芸術特論Ⅱ, オペラ特別実習Ⅰ, オペラ特別実習Ⅱ, オーケストラ特別実習Ⅰ/Ⅱ
教育内容・方法の工夫	●教材資料の入念な準備。市販譜面、レンタル譜をそのまま流用せず、演奏規模、予算、目的、実力、練習回数などを考慮して改訂、もしくは必要があれば本格的な編曲:合唱(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)(Ⅳ)・オーケストラ(Ⅰ)-(Ⅳ)・管打合奏オーケストラ(Ⅰ)-(Ⅳ)・オーケストラ特別実習ⅠⅡ・・・実施(時期)は日常的に・・・
授業評価への対応	●指揮法(後期): アンケートやアンケートの評価についての考え方を伝え、学生からの要望には意図的に応えない場合が多くあること述べる。実施年月日は定められた日。 ●指揮法(前期): アンケートやアンケートの評価についての考え方を伝える。アンケート実施と定められた日の次週以降に実施。 ●特に後期実技科目(オーケストラ・管打合奏・合唱などは、演奏会時期と重なり、実施はまったく不可能。
作成した教科書・教材・参考書	●教材制作(譜面改訂): オーケストラ(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)(Ⅳ)、管打合奏(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)(Ⅳ)、オーケストラ特別実習ⅠⅡ(院科目):多くのオーケストラの楽曲の譜面を、演奏規模、予算、目的、実力、練習回数などを考慮して改訂。 ●教材制作(編曲):合唱(Ⅲ)(Ⅳ)、オーケストラ(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)(Ⅳ)、管打合奏(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)(Ⅳ)、オーケストラ特別実習ⅠⅡ(院科目):教材・行事に適切と思われる楽曲の作編曲。2007年度は定期演奏会のアンコール曲、クリスマスの数曲を編曲。 ●音楽によるアウトリーチ(実習): コンサートのための編曲(2007年度は2曲)
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●グノー: オペラ「ファウスト」の2台4手ピアノ(一部2台8手)演奏譜の作成(オリジナル譜):大阪音楽大学大学院オペラ研究室試演会では、オーケストラ部は毎回ピアノ2台4手で演奏しており、通常その分担は演奏者に任せられているが、2005年度からは、全面的に演奏譜を作成(編曲)している。履修者がより立体的な音環境の中で舞台経験を積むことができることによる著しい教育効果と、満足すべき演奏効果が得られた。 ●ヴェルディ:オペラ「ドン・カルロ」、チレア:オペラ「アドリアーナ・ルクヴルール」、トーマ:オペラ「ハムレット」、マスネー:オペラ「マノン」(いずれも抜粋)の2台4手ピアノ演奏譜の作成(オリジナル譜):大阪音楽大学大学院オペラ修士演奏会では、オーケストラ部は毎回ピアノ2台4手で演奏しており、通常その分担は演奏者に任せられているが、本年度は、すべての演奏部分を全面的に演奏譜を作成(編曲)した。より立体的な音環境の中で修士演奏に臨むことが可能となり、満足すべき演奏効果が得られた。

研究活動

著書・CD	<ul style="list-style-type: none"> ●[共著] <編曲> 沖田孝司:“伝えよう笑顔と心”, ドラフトオキタ有限会社, ©沖田孝司・中村健, 2007.5.5 ●[共著] <編曲> 沖田孝司:“We Love the EARTH from HIROSHIMA”, ドラフトオキタ有限会社, ©沖田孝司・中村健, 2007.8.5 ●[単著] シューマン:ユージェントアルバムより「楽しき農夫」”Piano Trio”(リトル・ピアニスト&リトル・ヴァイオリニストのための室内楽シリーズ), 庵原豊治(イハラ楽器)(株)エー・ティー・エヌ, 中村健 (編曲:2006.8), 2007.8.15 ●[単著] シューマン:ユージェントアルバムより「メロディー」”Piano Trio”(リトル・ピアニスト&リトル・ヴァイオリニストのための室内楽シリーズ), 庵原豊治(イハラ楽器), (株)エー・ティー・エヌ, 中村健 (編曲:2006.8), 2007.8.15 ●[単著] マックドウェル:「のばらに寄す」”Piano Trio”(リトル・ピアニスト&リトル・ヴァイオリニストのための室内楽シリーズ), 庵原豊治(イハラ楽器), (株)エー・ティー・エヌ, 中村健 (編曲:2006.8), 2007.8.15 ●[単著] ブルグミュラー:「バラード」”Piano Trio”(リトル・ピアニスト&リトル・ヴァイオリニストのための室内楽シリーズ), 庵原豊治(イハラ楽器), (株)エー・ティー・エヌ, 中村健 (編曲:2006.8), 2007.8.15 ●[単著] ブルグミュラー:「貴婦人の乗馬」”Piano Trio”(リトル・ピアニスト&リトル・ヴァイオリニストのための室内楽シリーズ), 庵原豊治(イハラ楽器), (株)エー・ティー・エヌ, 中村健 (編曲:2006.8), 2007.8.15 ●[単著] ブルグミュラー:「アラベスク」”Piano Trio”(リトル・ピアニスト&リトル・ヴァイオリニストのための室内楽シリーズ), 庵原豊治(イハラ楽器), (株)エー・ティー・エヌ, 中村健 (編曲:2006.8), 2007.8.15 ●[単著] クレメンティー:ソナチネ op.36-1より第一楽章”Piano Trio”(リトル・ピアニスト&リトル・ヴァイオリニストのための室内楽シリーズ), 庵原豊治(イハラ楽器), (株)エー・ティー・エヌ, 中村健 (編曲:2006.8), 2007.8.15 ●[単著] ゴセック:ガヴォット”Piano Trio”(リトル・ピアニスト&リトル・ヴァイオリニストのための室内楽シリーズ), 庵原豊治(イハラ楽器), (株)エー・ティー・エヌ, 中村健 (編曲:2006.8), 2007.8.15 ●[単著] ベートーヴェン:「ト長のメヌエット」”Piano Trio”(リトル・ピアニスト&リトル・ヴァイオリニストのための室内楽シリーズ), 庵原豊治(イハラ楽器), (株)エー・ティー・エヌ, 2007.8.15, 単著, 中村健 (編曲:2006.8)
学術論文	
学会発表	
演奏会	<ul style="list-style-type: none"> ●グノー:オペラ「ファウスト」抜粋, (指揮), 2007年度大阪音楽大学大学院オペラ研究室試演会主催:大阪音楽大学大学院オペラ研究室, ザ・カレッジ・オペラハウス, 2007.7.12 ●ピアノ連弾共演:中村徹ドヴォルジャーク:スラブ舞曲チャイコフスキー:くるみ割り人形より「花のワルツ」中村徹:連弾のための「チャルダッシュ」(初演)ピアノ連弾共演:中村徹講演:「自閉症スペクトラムのあるピアニスト・てつくと家族の歩み」, (演奏と講演), 第40回 全国情緒障害教育研究協議会第34回 兵庫県情緒障害教育研究大会主催:全国情緒障害教育研究会、兵庫県情緒障害教育研究会, アルカイクホール, 2007.8.1 ●プッチーニ:オペラ「蝶々夫人」抜粋共演:グローバル・ピース・コンサートin OSAKAオーケストラ 他, (指揮), グローバル・ピース・コンサート in OSAKA主催:グローバル・ピース・コンサート in OSAKA実行委員会, いずみホール, 2007.8.9 ●ブラームス:「ネニエ」大澤壽人: ヴァイオリン・コンチェルティーノラヴェル:舞踊音楽「マ・メール・ロア」, (指揮), 神戸女学院大学音楽学部定期演奏会主催:神戸女学院音楽学部, 兵庫県立芸術文化センター大ホール, 2007.12.4 ●ヴェルディー:オペラ「ドン・カルロ」抜粋チレア:オペラ「アドリアーナ・ルクヴルール」抜粋 トーマ:オペラ「ハムレット」抜粋マスネー:オペラ「マノン」抜粋, (指揮), 2006年度大阪音楽大学大学院オペラ研究室 修士演奏会主催:大阪音楽大学大学院オペラ研究室, ザ・カレッジ・オペラハウス, 2007.12.13 ●岡谷香:「Quattro Notes」(初演), (指揮), ミュージック・クリエイション専攻開設記念公演主催:神戸女学院音楽学部, 兵庫県立芸術文化センター小ホール, 2007.12.19

作曲、編曲	<ul style="list-style-type: none"> ●沖田孝司:“伝えよう笑顔と心”の編曲, (出版), ドラフトオキタ有限会社, 2007.5.5 ●沖田孝司:“We Love the EARTH from HIROSHIMA”の編曲, (出版), ドラフトオキタ有限会社, 2007.8.5 ●小林秀雄:「落葉松」のピアノトリオ版, , ピアノトリオの楽しみVol.2, 箕面市立メイプルホール, 2007.8.17 ●シュペルガー:コントラバス ソナタ・ホ長調のリメイク, 文屋充徳コントラバスリサイタル, 兵庫県立芸術文化センター小ホール, 2007.11.13 ●ブラームス:「眠りの精」の編曲(女声合唱+オーケストラ), 神戸女学院大学音楽学部定期演奏会, 兵庫県立芸術文化センター大ホール, 2007.12.4 ●モーツァルト:「オルガンソナタK-266」,「ベツレヘムまではいかほど」(Traditional Carol)の編曲, 子どものためのクリスマスコンサート, 神戸女学院講堂, 2007.12.15 ●讃美歌21268番「朝日が昇りて」のオーケストレーション, 神戸女学院大学クリスマス礼拝 神戸女学院クリスマス礼拝, 神戸女学院講堂, 2007.12.21
その他の研究発表、演奏	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.6.26, 廣瀬量平:フルートオーケストラのための「ブルー・トレイン」ドヴォルジャーク:オペラ「ルサルカ」より「月に寄せる歌」モーツァルト:オペラ「フィガロの結婚」より「序曲」, 「楽しい思い出はどこへ」グノー:オペラ「ファウスト」より「バレ音楽」他, (指揮), 神戸女学院大学音楽学部第14回サマーコンサート主催:神戸女学院音楽学部, 神戸女学院大学音楽館ホール ●2007.12.21, フランク 「天使の糧」 他共演:晴雅彦他, (指揮), 神戸女学院大学クリスマス礼拝主催:神戸女学院大学, 神戸女学院講堂 ●2007.12.21, 中村健4声フルートのための「いざうたえ いざいわえ」他共演:晴雅彦他, (指揮), 神戸女学院クリスマス礼拝主催:神戸女学院, 神戸女学院講堂 ●2008.2.14, モーツァルト:オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」抜粋, (指揮・チェンバロ), 神戸女学院大学大学院音楽研究科「オペラ特別実習」・同音楽学科「舞台表現法」発表会, 神戸女学院講堂
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.8.1, 講演:「自閉症スペクトラムのあるピアニスト・てつくんと家族の歩み」主催:全国情緒障害教育研究会、兵庫県情緒障害教育研究会, アルカイクホール代ホール, 第40回 全国情緒障害教育研究協議会 第34回 兵庫県情緒障害教育研究大会 ●2007.7.19, 「出島から入ってきた西洋音楽」***1826年3月13日伊丹北高のすぐ近くをピアノが……***, 兵庫県立伊丹北高等学校, 兵庫県立伊丹北高等学校
公開レッスンでの指導	
コンクール等の審査	<ul style="list-style-type: none"> ●第30回全日本お母さんコーラス関西支部兵庫大会, 明石市立市民会館アワーズホール, 2007.6.9 ●NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会 高等学校の部, 明石市立市民会館アワーズホール, 2007.8.11 ●第36回神戸市立高等学校「芸術祭」, 東灘区民センターうはらホール, 2007.11.15 ●第21回福井県ヴォーカルアンサンブルコンテスト, 福井県立音楽堂 ハーモニーホール大ホール, 2008.2.2~3
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	声楽
研究課題	イタリアバロックの歌い方

教育活動

担当授業科目(大学)	
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
演奏会	
作曲、編曲	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
公開レッスンでの指導	
コンクール等の審査	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

備考

留学(04/07～03/08)

専門分野	声楽
研究課題	オペラ, 歌曲, 宗教曲

教育活動

担当授業科目(大学)	対話-音楽から広がる知の世界, 声楽MAJOR(I), 声楽MAJOR(II), 声楽MAJOR(III), 声楽MAJOR(IV), 音楽科教育法II
担当授業科目(大学院)	声楽実技 I, 声楽実技 II
教育内容・方法の工夫	●声楽Majorレッスンを聴講可とした。: お互いのレッスンを聴講することにより、刺激しあいながら、歌うことを多くの方向から捕らえる。 ●教科教育法 教案の開示: 作成した教案をクラス全員に配ることにより、内容の詳細を互いに参考にする。
授業評価への対応	●副科声楽 平常点の導入: 実技試験の採点にプラスマイナス5点以内で平常点を加える。
作成した教科書・教材・参考書	●イタリア語の発音法: 声楽Majorにて使用 ●ドイツ語の発音法: 声楽Majorにて使用
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
演奏会	<ul style="list-style-type: none"> ●賛美歌, さんびかをうたおう, 神戸女学院講堂, 2007.4.20 ●「夢の中へ」「喝采」「恋人よ」「さよならをするために」「夜来香」他, 思い出のあの歌, いずみホール, 2007.5.22 ●ドニゼッティ: オペラ「愛の妙薬」(公演監督), 関西二期会オペラ公演, アルカイクホール, 2007.6.10~11 ●ベッリーニ: 「清らかな女神よ(ノルマ)」、「モーツアルトレクイエム」, 木川田誠メモリアルコンサート, アルカイクホール, 2007.7.14 ●トスティ: 「私を愛して」「私に静けさを」「私は死にたい」他, トスティの名曲を集めて, ザ・カレッジ・オペラハウス, 2007.7.19 ●プッチーニ: 「私の名はミミ」「愛らしい乙女よ」(ボエーム)小林秀雄「落葉松」他, 名曲コンサート, ルナホール, 2007.9.1 ●ドニゼッティ: 「夜のとばり静かに」(ランメルムールのルチア)小林秀雄「落葉松」他, すずらんホールコンサート, すずらんホール, 2007.9.30 ●平井康三郎「みだれ髪」, 日本歌曲の流れ, いずみホール, 2007.10.11 ●佐藤真「大地讃頌」, 桜塚高校創立70周年記念式典, 豊中市民会館, 2007.11.18 ●石黒晶「音の虹が降りてくる」, MUSIC CREATION, 兵庫県立芸術文化センター, 2007.12.19 ●「魔法の靴」, 神戸からの発信~県民オペラ, 兵庫県立芸術文化センター, 2008.1.19~20 ●小林秀雄「落葉松」いずみたく「みあげてごらん夜の星を」他, 管内コーラス大会, 浪速少年院, 2007.11.6
作曲、編曲	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.4.20, 賛美歌をうたおう, 神戸女学院公開講座, 神戸女学院講堂 ●2007.12.14, キャロルをうたおう, 神戸女学院公開講座, 神戸女学院講堂
公開レッスンでの指導	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.9.20, 関西二期会オペラスタジオ公開レッスン, 相愛学園 ●2007.9.27, 関西二期会オペラスタジオ公開レッスン, 相愛学園
コンクール等の審査	<ul style="list-style-type: none"> ●日本演奏家コンクール, アイフォニックホール, 2007.4.28 ●和歌山新人演奏会選考, 和歌山県民文化ホー, 2007.7.15 ●大阪国際コンクール, 茨木クリエートセンター, 2007.8.26 ●NHK全国音楽コンクール(中学生の部), NHKホール, 2007.9.8 ●NHK全国音楽コンクール(小学校、高校の部), NHK ホール, 2007.9.9 ●香川ジュニア音楽コンクール, 高松テルサ, 2007.9.23 ●管内少年コーラス大会, 浪速少年院, 2007.11.6 ●関西二期会 正、準会員オーディション, 相愛学園, 2007.5.13 ●関西二期会 研究生試演会審査, 協同学苑, 2007.7.30 ●本公演キャストオーディション, 相愛学園, 2007.9.10 ●関西二期会 正、準会員オーディション, 相愛学園, 2007.9.30 ●関西二期会オペラスタジオ予科修了審査, アゼリア大正ホール, 2008.2.10 ●関西二期会オペラスタジオ本科終了審査, ピッコロシアター, 2008.2.17 ●関西二期会オペラスタジオオーディション, 相愛学園, 2008.3.9
学外機関委員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2004～現在, 関西二期会常任理事 ●1994～現在, 宝塚演奏連盟委員 ●1995～現在, ベガコンクール運営委員 ●1995～現在, 関西二期会オペラ賛助会評議員 ●1995～現在, 和歌山新人演奏会選考委員 ●2002～現在, 和歌山県文化振興運営アドバイザー委員 ●1975～現在, イタリア声楽コンクール審査員 ●2000～現在, NHK全国音楽コンクール審査員 ●2002～現在, 和歌山県文化振興運営アドバイザー委員 ●2006～現在, 大阪国際コンクール審査員 ●2007.4～現在, 西宮市大学交流協議会 学生による地域活性予算委員会委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	作曲・音楽理論・ソルフェージュ
研究課題	

教育活動

担当授業科目(大学)	ソルフェージュ(I), 和声学(I), 和声学(III), 和声学(III), 和声学(IV), 作曲 MINOR(I), 楽式論, 楽式論
担当授業科目(大学院)	作曲実技II
教育内容・方法の工夫	●長い教育実践から得た最良と思われる方法をその年の学生の反応を見ながら微調整しつつ行っている。
授業評価への対応	●授業終了後数名の学生に理解度、授業速度が適切であったかを確認している。特に学期前半では頻繁に行っている。
作成した教科書・教材・参考書	●学部舞踊専攻ソルフェージュ聴音課題集、リズムソルフェージュ課題集(毎授業ごと): 楽式論アナリーゼ用楽譜(毎授業ごと) ●夏期講習会舞踊受講者用リズムソルフェージュ課題集 ●夏期講習会音楽受講者用聴音および新曲課題集
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
演奏会	
作曲、編曲	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
公開レッスンでの指導	
コンクール等の審査	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	舞踊
研究課題	振り付け, 演出

教育活動

担当授業科目(大学)	対話-音楽から広がる知の世界, バレエエクステンション(I), バレエエクステンション(II), アナライズクラス(I), アナライズクラス(II)
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
演奏会	
作曲、編曲	<ul style="list-style-type: none"> ●Here we are, 神戸女学院中後部演劇鑑賞会, 西宮市 アミティホール, 2007.6.14 ●RUN, 松岡バレエ団 公演, 愛知県勤労会館, 2007.7.15 ●RUN, DANCE FORUM TAIPEI, NOVEL HALL, 2007.12.12
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
公開レッスンでの指導	
コンクール等の審査	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	ピアノ
研究課題	

教育活動

担当授業科目(大学)	ピアノMAJOR(I), ピアノMAJOR(II), ピアノMAJOR(III), ピアノMAJOR(IV), 対話-音楽から広がる知の世界
担当授業科目(大学院)	器楽実技 I, 器楽実技 II
教育内容・方法の工夫	●ピアノMajor 課題曲について、前期:課題曲設定のある実技試験においては、楽譜、CDなどの資料を門下生で共有して使える様に配慮した。 ●ピアノMajor 通年:試験前には各学年ごとに試演会をし、充実をはかった。
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
演奏会	●リスト:ソナタ風幻想曲「ダンテを読んで」他, 田中修二プレミアムトークコンサート, 宝塚市 ベガホール, 2007.9.27 ●ラフマニノフ:交響的舞曲他, ザガツキン・田中ラフマニノフの夕べ, 神戸市 松方ホール, 2007.11.26 ●シューマン:子供の情景作品15 他, 田中修二ピアノリサイタル, 尼崎市 老人福祉センター, 2008.3.28
作曲、編曲	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	●プログラムノート(ザガツキン・田中ラフマニノフの夕べ), プログラム, pp.2-3, 2007.11.26
研究助成金の受領状況	●神戸女学院研究所 体育・芸術活動助成金, 単独, ザガツキン・田中ラフマニノフの夕べ, 45万円

社会活動

学会役員等	●～現在, 日本ピアノ教育連盟関西支部運営委員
公開講座、市民講座等での講演	●2007.5.23, 兵庫県学生ピアノコンクール課題曲講座, 新響楽器 ●2007.5.28, 兵庫県学生ピアノコンクール課題曲講座, 加古川オクダ楽器 ●2007.5.31, 兵庫県学生ピアノコンクール課題曲講座, 豊岡ビート楽器講座, 出石ひばこ小ホール ●2007.6.4, 兵庫県学生ピアノコンクール課題曲講座, ヤマハ神戸店 ●2007.6.6, 兵庫県学生ピアノコンクール課題曲講座, 豊岡岡楽器店 ●2007.10.31, 2007.12.5, ピアノ構造論講座(計2回), 新響楽器
公開レッスンでの指導	●2007.9.31, 才能教育研究会公開レッスン, 高槻市民会館

<p>コンクール等の審査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.5.20, 姫路パルナソスフレッシュコンサートオーディション審査, パルナソスホール ●2007.7.31,2007.8.1, 兵庫県学生ピアノコンクール審査, 和田山ジュピターホール ●2007.8.25～2007.10.8, 大阪国際コンクール審査(計3回), 茨木クリエイトセンター ●2007.9.10～2007.10.28, 全日本学生音楽コンクール審査(計5回), 大阪フェニックスホール ●2007.12.2, ヤマハヤングピアニストコンサート審査, Licはびきのホール ●2008.1.14, 才能教育研究会コンサートオーディション審査, 弁天町生涯学習センター ●2008.2.2～3, ヤマハヤングピアニストコンサート地区大会審査(計2回), 伊丹アイフォニックホール ●2008.3.4,2008.3.11, ABC新人コンサート審査(計2回), 大阪音楽大学オペラハウス
<p>学外機関委員等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.6～現在, 西宮大学交流協会市民対象講座委員会委員長
<p>受賞、栄誉</p>	
<p>その他社会活動上特記すべき事項</p>	

専門分野	音楽学
研究課題	モンテヴェルディの復興史, 初期神戸女学院の音楽教育, 社会における音楽のあり方

教育活動

担当授業科目(大学)	女性学(実践編), 初期神戸女学院, 音楽によるアウトリーチ(実習), 音楽によるアウトリーチ(講義)
担当授業科目(大学院)	副論文制作 I, 副論文制作 II, 楽書購読 I, 楽書購読 II
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●「楽書購読 I」(2007年度後期)の教材の工夫:イタリア古典歌曲の歌詞やモーツァルトの書簡を原文で読むなど多様な教材を活用した。 ●「音楽によるアウトリーチ(実習)」(2007年度後期)実習先のアレンジの工夫:学生が一つのプログラムを複数の場で繰り返すことによってステップアップできるよう、実習先の選択と調整を工夫した。 ●「初期神戸女学院」(2007年12月12日)でのスクエアピアノの活用:学生が女学院の歴史を生きた教材から学べるよう、スクエアピアノの実演を盛り込んだ(これは新聞記事にもなった)。
授業評価への対応	●今回は手違いでアンケートの提出が1日遅れとなってしまったため活用できなかった
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●「初期神戸女学院」用の資料(2007年12月):宣教師文書から音楽教育関連項目をまとめたもの ●「音楽によるアウトリーチ(実習)」まとめの映像(2008年3月):2007年度の活動記録のダイジェスト版
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	●学校サポートとアウトリーチ活動(2008年2月15日、西宮市立西宮浜小学校):学校教育の現場にサポーターとして入る場合の問題と留意点
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●Music Exists in the Place and the Way it should: Outreach in Music Reconsidered, XVII INTERNATIONAL CONGRESS OF AESTHETICS, Middle East Technical University, 2007.7.9~13 ●モンテヴェルディの〈アリアンナの嘆き〉, 日本音楽学会, 宮城女子学院, 2007.9.29~30
演奏会	<ul style="list-style-type: none"> ●「子どものためのスペシャル・コンサート」プロデュース, 神戸女学院講堂, 2007.10.20 ●「子どものためのクリスマス・コンサート」プロデュース, 神戸女学院講堂, 2007.12.8 ●「子どものためのスペシャル・コンサート」プロデュース, 神戸女学院講堂, 2008.3.8
作曲、編曲	
その他の研究発表、演奏	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.5.8, Monteverdi's Lamento d'Arianna: the curious origins of Parisotti's famous version for modern singers, Goldsmiths College, University of London, ●2007.5.9, Monteverdi's 'Lamento d'Arianna': its Latin contrafactum and Parisotti's version, Cambridge University, ●2007.10.10, モンテヴェルディの〈アリアンナの嘆き〉:パリゾッティ(イタリア古典歌曲集)版の不思議な来歴, 専門部会

その他の著作、訳書等	<ul style="list-style-type: none"> ●ギルドホール音楽院「コネクト」視察報告, アウトリーチ通信第7号, 神戸女学院大学音楽学部アウトリーチ・センター, pp.5-6, 2007.5.20 ●ロンドン・シンフォニー・オーケストラのディスカヴァリー・ファミリー・コンサート視察報告, アウトリーチ通信第8号, 神戸女学院大学音楽学部アウトリーチ・センター, pp.5-7, 2007.9.1 ●子どものためのコンサート・シリーズ第18回スペシャル・コンサート報告, アウトリーチ通信第9号, 神戸女学院大学音楽学部アウトリーチ・センター, pp.1-3, 2007.12.20 ●グレゴリー先生ワークショップと「音で遊ぼう!」, アウトリーチ通信第10号, 神戸女学院大学音楽学部アウトリーチ・センター, pp.1-5, 2008.3.20 ●東京音楽大学アクト・プロジェクト視察報告, アウトリーチ通信第10号, 神戸女学院大学音楽学部アウトリーチ・センター, p.10, 2008.3.20
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	●2007.2.19, 学校サポート活動とアウトリーチ, 西宮市立西宮浜小学校
公開レッスンでの指導	
コンクール等の審査	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

備考

留学(10/06~09/07)

専門分野	ピアノ
研究課題	シューマンとロマン主義の時代, ブラームスの室内楽

教育活動

担当授業科目(大学)	ピアノMAJOR(I), ピアノMAJOR(II), ピアノMAJOR(III), ピアノMAJOR(IV)
担当授業科目(大学院)	室内楽特別実習 I, 室内楽特別実習 II, 器楽実技 I, 器楽実技 II
教育内容・方法の工夫	●複数の版による楽譜、記譜の違いを見きわめさせ原典版、校訂版を理解させる。 ●一方的な指導ではなく、学生に考えさせ音楽の解釈を広げる工夫。
授業評価への対応	●学生アンケートの対応、要望を可能になるように、授業内容を工夫。
作成した教科書・教材・参考書	●他大学の論文等も参考に取り入れる
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●担当学生の学外コンサート推薦 ●コンクールでの複数回、上位入賞

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
演奏会	●シューマン「ピアノ協奏曲」イ短調 Op.54, モーツァルト室内管弦楽団第120回定期演奏会, 大阪 いずみホール, 2007.5.13 ●ドビュッシー「白と黒とで」, クライスコスモス第15回記念コンサート, 兵庫県立芸術文化センター小ホール, 2007.9.21 ●インディアミュレ Ob. 西田直孝 Fl 山上明美 Pf, トリオコンサート, 大阪 ムラマツホール, 2007.10.18 ●池辺晋一郎「クアトル ヴァランス」, ミュージッククリエイション開設記念コンサート, 兵庫県立芸術文化センター小ホール, 2007.12.19
作曲、編曲	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	●～現在, (財)日本ピアノ教育連盟特別協議員(東京) ●～現在, (財)日本ピアノ教育連盟関西運営委員
公開講座、市民講座等での講演	
公開レッスンでの指導	

<p>コンクール等の審査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●カワイコンクール審査, クレオ東大阪, 2007.4.7 ●日本演奏家コンクール一次予選, みつなかホール, 2007.4.14 ●日本演奏家コンクール二次予選, 伊丹マイフォニックホール, 2007.4.28 ●日本演奏家コンクール東京本選, みなとみらいホール, 2007.8.10 ●大阪国際コンクール地区本選, 兵庫県芸術文化センター, 2007.8.17 ●宝塚ベガ学生コンクール, 宝塚ベガホール, 2007.8.18～19 ●吹田コンクール予選, 吹田メイシアター, 2007.8.31 ●吹田コンクール予選, 吹田メイシアター, 2007.9.1～2 ●宝塚ベガ学生コンクール本選, 宝塚ベガホール, 2007.10.7 ●大阪国際コンクールファイナル, ユーアイホール, 2007.10.8 ●大阪国際コンクールグランドファイナル, クリエイトセンター, 2007.10.8 ●YPAコンクール, 坂出うたづハーモニーホール, 2007.10.28 ●ショパン国際コンクール インアジア, 武庫川大学音楽ホール, 2007.11.17～18 ●日本ピアノ教育連盟オーディション, みつなかホール, 2007.11.24～25 ●吹田コンクール本選, 吹田メイシアター, 2007.12.2 ●三善晃 Miyoshi net コンクール, クレオ東大阪, 2007.12.15
<p>学外機関委員等</p>	
<p>受賞、栄誉</p>	
<p>その他社会活動上特記すべき事項</p>	

専門分野	ピアノ
研究課題	音色とタッチの関わりについて、ピアノ演奏における腕の重さの活用と脱力について、モーツァルトとドビュッシーのピアノ作品

教育活動

担当授業科目(大学)	ピアノMAJOR(Ⅱ), ピアノMAJOR(Ⅲ), ピアノMAJOR(Ⅳ), ピアノMINOR(Ⅲ), ピアノMINOR(Ⅳ)
担当授業科目(大学院)	器楽実技Ⅰ, 器楽実技Ⅱ, 副専攻特別実習
教育内容・方法の工夫	<p>●ピアノ実技: 卒業試験の準備にあたって:今年度の4年生は優秀で積極的な学生が集まっていたため、わずかなヒントを提示するだけでいろいろな発見をし、独自の表現を造り上げていくのが感じられた。</p> <p>●ピアノ実技: 下級生に対して:和声に関する問いかけを頻繁に行った。学生によって答えられる者とほとんど答えられない者と開きが大きい。常に問い続ける事によって、学生の和声に対する感覚が鋭くなっていくように感じた。</p>
授業評価への対応	●ピアノ実技: 予習、復習があまり充分できていないという学生の回答が見られたが、授業時間に試行錯誤した事を、次週のレッスンまでにさらに整理して自分のもの出来るよう、練習課題や検討課題を明確に示すよう努めた。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	<p>●実技試験のための試演会: ホールを借りて、実技試験の7~10日前頃に複数の先生で試演会を行っている。それぞれの先生の違った角度からのアドバイスは非常に有益で、また学生達にとっては本番に向けて緊張の練習の場にもなっている。</p> <p>●Rosenknospen(発表会): 年に1度、神戸女学院卒業生、他大学卒業生、社会人、現役神戸女学院生~小学生の広い年代層での発表会を行っている。同窓会的な役割もあり、情報交換の場、刺激を得られる場として大変有意義な会だと思う。</p>

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
演奏会	<p>●モーツァルト:ソナタK.457,リスト:ハンガリー狂詩曲No.8, サンサーンス:動物の謝肉祭他, 佐々由佳里ピアノファンタジー, 西宮市 アミティホール, 2007.4.8</p> <p>●ハイドン:ピアノトリオHob. X VI-20、ミヨー:天地創造, トリオ・フォンターナ コンサート, 和歌山県 きびドーム, 2007.7.25</p> <p>●ハイドン:ピアノトリオHob. X VI-20、ミヨー:天地創造, トリオ・フォンターナ第9回 コンサート, 泉佐野市 泉の森ホール, 2007.7.26</p> <p>●ガーシュイン:ラプソディ・イン・ブルー(プロデュース), 自泉フレッシュコンサート, 岸和田市 自泉会館, 2007.10.14</p> <p>●リスト(シューマン):献呈、ショパン:ノクターン遺作、ドビュッシー:小組曲より, 文化祭式典コンサート, 岸和田市 マドカホール, 2007.11.3</p> <p>●ブラームス:ハンガリー舞曲より、ドヴォルザーク:スラブ舞曲より(共演:梅本俊和), 摂津音楽祭ロビーコンサート, 摂津市役所, 2007.11.6</p> <p>●ブラームス:ハンガリー舞曲より(共演:辻林由美), 講座「ピアノでたどる名曲の旅」, JTBカルチャーサロン梅田教室, 2007.12.11</p>
作曲、編曲	

その他の研究発表、演奏	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.5.17, モーツァルト:2台のピアノのためのソナタK.448 第1楽章 (共演:谿博子), チャペルアワー ●2007.10.20, シューベルト:ピアノ五重奏曲「ます」より、モーツァルト:トルコ行進曲、モンティ:チャルダッシュ 他, 子供のためのコンサート
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	
社会活動	
学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.4.24, クラシック音楽の小部屋<ベートーヴェン1>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2007.5.8, クラシック音楽の小部屋<ベートーヴェン2>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2007.6.12, クラシック音楽の小部屋<ベートーヴェン3>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2007.7.31, ピアノでたどる名曲の旅<シューマン1>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2007.8.24, ピアノでたどる名曲の旅<シューマン2>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2007.8.8, ピアノ教育連盟課題曲講座, ピアノ教育連盟課題曲講座, カワイ和歌山店 ●2007.9.25, ピアノでたどる名曲の旅<シューマン3>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2007.10.11, ピアノでたどる名曲の旅<ブラームス1>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2007.11.13, ピアノでたどる名曲の旅<ブラームス2>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2007.12.11, ピアノでたどる名曲の旅<ブラームス3>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2008.1.8, ピアノでたどる名曲の旅<ショパン1>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2008.2.12, ピアノでたどる名曲の旅<ショパン2>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室 ●2008.3.11, ピアノでたどる名曲の旅<ショパン3>, JTBカルチャーサロン, JTBカルチャーサロン梅田教室
公開レッスンでの指導	●2007.8.30, 夕陽丘高校公開レッスン, 大阪府立夕陽丘高校
コンクール等の審査	<ul style="list-style-type: none"> ●泉の森フレッシュコンサート オーディション, 泉の森ホール, 2007.6.2 ●摂津音楽祭 予選(3日間), 摂津市民会館, 2007.10.16~17, 21 ●ピアノ教育連盟オーディション(2日間), 神戸女学院大学, 2007.11.17~18 ●摂津音楽祭 本選, 摂津市民会館, 2007.11.24 ●泉の森フレッシュコンサート, 泉の森ホール, 2007.11.23 ●ヤマハジュニアコンクール, リック羽曳野, 2007.12.2 ●ヤマハジュニアコンクール, ゆやホール, 2007.3.11 ●ピアノ教育連盟本選出場者試演会アドヴァイザー, ヤマハ心齋橋店, 2007.3.16 ●マドカプレミアムフレッシュコンサート, マドカホール, 2007.3.28
学外機関委員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2002.4~現在, 財団法人岸和田文化振興財団 評議員 ●2005.4~現在, 岸和田文化事業協会 理事 ●2006.4~現在, 財団法人ピアノ教育連盟 運営委員 ●2006.4~2007.3, 関西音楽大学協会委員 ●2007.4~現在, 泉佐野音楽家クラブ 発起人
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	ヴァイオリン
研究課題	

教育活動

担当授業科目(大学)	器楽MINOR(ヴァイオリン)(Ⅰ),(Ⅱ),(Ⅲ),(Ⅳ), 室内楽(Ⅰ), 室内楽(Ⅱ), 弦楽合奏(Ⅰ), 弦楽合奏(Ⅱ), 弦楽合奏(Ⅲ), 弦楽合奏(Ⅳ), 弦楽器MAJOR(ヴァイオリン)(Ⅰ),(Ⅱ), (Ⅲ),(Ⅳ)
担当授業科目(大学院)	室内楽特別実習Ⅰ, 室内楽特別実習Ⅱ
教育内容・方法の工夫	●特にMajorに関しては、からだの使い方等を中心に授業を展開し、楽器によるからだのトラブルを未然に防ぐことを重視した。:2006.4～現在まで ●室内楽では、必ず学生と共に演奏に参加し、実際の演奏を通じて現場では何が起きているのか、何が重要であるのかを理解してもらおうようにした。:2006.4～現在まで
授業評価への対応	●学生の理解を一つずつ確認しながら授業を進めるようにしている。:2006.4～現在まで
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	●[共著] ◎辻井淳・藤井由美, CD「Sinding Suite」(ヴァイオリン小品集), ISODA-TECHNOLOGY, 2008.3.31 ●[共著] ◎辻井淳・藤井由美・沖田・釈・雨田, CD「大澤壽人 室内楽作品集」, ISODA-TECHNOLOGY, 2007.12.1
学術論文	
学会発表	
演奏会	●ベートーベン:弦楽四重奏曲「ラズモフスキー3番」他, マイハート弦楽四重奏団, 山口県教育会館、岡山さん太ホール、福山リーデンローズ, 2007.4.15,16,18,19, ●チャイコフスキー:交響曲第4番他, 桐朋オーケストラアカデミー定期演奏会, オーバードホール, 2007.4.27,5.25,11.23 ●バッハ:バイオリン協奏曲第2番他, 京都バッハゾリステン, 洛陽教会, 2007.4.30,12.22, ●サンサーンス:動物の謝肉祭他, アンサンブルベガ, 幸田町民会館、宝塚ベガホール, 2007.5.5～6, ●サンサーンス:序奏とロンドカプリチオーソ他, 北浜月曜礼拝, 関西VIP大阪, 2007.5.7 ●サンサーンス:動物の謝肉祭他, アンサンブルベガ, いずみホール、やしろ国際学習塾, 2007.6.5,16 ●ショーン:詩曲他, 辻井淳バイオリンリサイタル, 広島リーガロイヤル, 2007.6.6 ●映画音楽他, 大阪フィルハーモニー, 京都コンサートホール, 2007.6.24 ●ベートーベン:弦楽四重奏曲「ラズモフスキー3番」他, マイハート弦楽四重奏団, 広島厚生年金会館、庄原市民会館、ハイズカ湖畔の森, 2007.6.28,29,30, ●ブラームス:交響曲第1番他, ヴィルトゥオーゾオーケストラ, 名古屋芸術劇場、サントリーホール, 2007.7.14,9.30,10.1 ●芥川賞受賞作品他, 新日本フィルハーモニー, サントリーホール, 2007.9.2 ●サンサーンス:動物の謝肉祭他, アンサンブルベガ, 兵庫県芸術文化センター、調布グリーンホール、パレア若狭, 2007.8.8,9.9,15 ●バッハ:バイオリン協奏曲第2番他, マイハート室内オーケストラ, ベガホール、広島厚生年金、カザルスホール, 2007.9.11,12,13 ●バッハ:ヨハネ受難曲, 京都バッハゾリステン, 洛陽教会, 2007.10.8

演奏会	<ul style="list-style-type: none"> ●フランク:ソナタ他, 辻井淳バイオリンリサイタル, ゲインズホール, 2007.10.12 ●ブリテン:シンプルシンフォニー他, アンサンブルベガ, 長久手文化の家、浜松壬生ホール, 2007.10.20,12.2 ●ベートーベン:弦楽四重奏曲「ラズモフスキー3番」他, マイハート弦楽四重奏団, 三田郷の音ホール, 2007.10.26~27 ●ショーン:詩曲他, 辻井淳バイオリンリサイタル, 佐倉聖書バプテスト教会、千里ニュータウンバプテスト教会, 2007.11.3,12.23 ●ベートーベン:弦楽四重奏曲「ラズモフスキー3番」他, マイハート弦楽四重奏団, 安芸高田文化センター、三次市文化会館、福山リーデンローズ, 2007.11.7,8,28 ●バッハ:バイオリン協奏曲第2番他, 京都バッハブリステン滋賀銀KEIBUN室内楽, 滋賀銀KEIBUNホール, 2007.11.15 ●ベートーベン:交響曲第5他, 子供の楽園, 鳥取県民文化会館, 2007.11.25 ●ベートーベン:弦楽四重奏曲「ラズモフスキー3番」他, マイハート弦楽四重奏団, 呉市文化センター、廿日市すくらびあ、テアトルシェルネ、サタケメモリアルホール, 2007.12.5,12,13,17 ●ブリテン:シンプルシンフォニー他, アンサンブルベガ, 兵庫県芸術文化センター、りゅーとぴあ、酒田市民会館、蒲田アプリコ、武豊町民会館, 2008.1.3,5,6,7, 2.16 ●ショーン:詩曲他, 辻井淳バイオリンリサイタル, 三田郷の音ホール、幕張聖書バプテスト教会, 2008.2.23,3.2 ●サラサーテ:チゴイネルワイゼン他, アンサンブルベガ, ベガホール, 2008.2.24 ●ロッシーニ:ソナタ他, 室内楽コンサート, 横浜聖公会, 2008.3.1
その他の著作、訳書等	神戸女学院研究所体育芸術活動助成金, [代表者] CD「Sinding Suite」(ヴァイオリン小品集), 50万円
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
公開レッスンでの指導	
コンクール等の審査	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	コンテンポラリー・モダンダンス
研究課題	Somatic work applying to dance training, Mitzvah Technique

教育活動

担当授業科目(大学)	生涯スポーツコース(コンテンポラリーダンス), アナライズクラス(Ⅰ), テクニック・モダン・コンテンポラリー(Ⅰ), バレエエクステンション(Ⅱ), テクニック・モダン・コンテンポラリー(Ⅱ)
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、生徒間でのアドバイスのやり取りを積極的に授業内に取り込んでいる。学年が増えたので、後輩を導く先輩の様子で技法の理解度が見て取れる。適切な言葉を使い、実際に手で触れ合いながら、他人との距離を程よく調和させながら、より良いコネクションを身につけて欲しいと思う。 ●高度なテクニックでは個々の身体コンディションが大きく関係してくるので、それに合わせた訓練の仕方、アドバイスを考えている。グループクラスの中での効果的実践が課題。 ●生徒は90分皆熱心に付いて来てくれているので、その意欲を満たせることが出来るようにもう少し時間が欲しいと終業ベルの合図に毎回思ってしまう。
授業評価への対応	●学生の評価アンケートは好ましい結果であるし、相変わらず書き込みが少ない。評価というならば授業内外で生徒からの意見や要望を話しに来るので、私個人が対応できる問題に関しては前向きに取り組むようにしている。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
演奏会	<ul style="list-style-type: none"> ●Four Horsemen Project, Metro Theatre, Victoria Canada, 2008.1.10～13 ●Four Horsemen Project, PuSh international Festival, The Dance Centre, Vancouver Canada, 2008.1.17～19
作曲、編曲	●La Loba, 洋舞スプリングコンサート, 新神戸オリエンタル劇場, 2008.3.2
その他の研究発表、演奏	●2007.6.29, 音楽家の為の姿勢法, 科別集会
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
公開レッスンでの指導	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.5.20, 日本ミツヴァテクニック協会, 酒井裕子バレエスタジオ ●2007.9.16, 日本ミツヴァテクニック協会, 酒井裕子バレエスタジオ
コンクール等の審査	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	

その他社会活動上特記
すべき事項

--

専門分野	ピアノ
研究課題	

教育活動

担当授業科目(大学)	ピアノMAJOR(Ⅰ), ピアノMINOR(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)(Ⅳ)
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
演奏会	
作曲、編曲	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
公開レッスンでの指導	
コンクール等の審査	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

備考

2007年度着任

専門分野	計算機工学
研究課題	授業支援システム, マルチメディア教材開発

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 文系のための数学入門, 情報科学基礎演習, 情報科学演習, 情報科学応用演習Ⅱ, 情報科学入門, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	●情報科学教室・CALL教室システムの更新ならびに自学自習環境の整備(2007.8): Webmail (Active!mail) システムの更新、e-LearningシステムとしてBlackboardに換えて Moodleを導入、英語自習システム(ALC)の更新、統合認証システムの導入
授業評価への対応	●評価システム運用(2002年度～現在に至る):情報科学演習の授業で行っているプレゼンテーションやWebページの学生による相互評価ならびに自己評価委員会を中心に行っている学生による授業評価アンケートをWeb上で実施し自動集計して瞬時にフィードバックできるようにしている。
作成した教科書・教材・参考書	●メール設定チェックシステムの運用(2004年度～現在に至る):情報科学教室で使用しているメールシステム(Thunderbird)およびActive!mailの個人環境設定の自動チェック機能を提供することにより、学生の自立的なITスキルアップを支援している。 ●CSLDメイン利用申請のためのアセスメント(2007.9):学内IT環境に関する自己学習テストをMoodle上に実現した。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●[共著] 長尾 ひろみ・出口弘, 同時通訳学習システム(KC-ES)の構築-Kobe College Educational Software, 神戸女学院大学論集 第54巻第1号,pp.51-58, 2007.6
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所 総合研究助成, [分担者] プロの同時通訳者と通訳トレーニングを受ける前の大学生の第二言語処理時(通訳時)の脳活性の差異を研究する。 , 135万円

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	●株式会社東和エンジニアリングとの遠隔同時通訳システムに関する産学協同研究

専門分野	臨床心理学
研究課題	スクールカウンセリングの実践的研究, 文章完成法による心理査定, 被害者支援

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 心理学入門ゼミ, 臨床心理学, スクールカウンセリング論, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	臨床心理学特論, 臨床心理査定演習, 臨床心理基礎実習, 臨床心理実習
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	●スクールカウンセリング論、後期授業期間中、受講態度の指導:授業中の私語は、周囲の学生の受講を妨害することになることを説明し、いつまでも話している学生は名前を聞いて減点1を通告した。6名ほどの学生に適用した。
作成した教科書・教材・参考書	●文章完成法を応用したテストSCT-Bに関する研究, 2007.10.31
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●演習1 2007.10,情報検索実習:ゼミの時間に図書館に依頼してパソコンによる情報検索の方法を指導してもらう。

研究活動

著書・CD	●[単著] 文章完成法を応用したテストSCT-Bの研究, 風間書房, 2007.10.31
学術論文	●[単著] 大学内の有機的連携と課題, 独立行政法人日本学生支援機構編 「大学と学生」第41号(2007.5), 時評社, 2007.5.10
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所出版助成金, [単独] 文章完成法を応用したテストSCT-Bに関する研究, 108万2千円

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	●2007.12.1, 熟年の生き方いろいろ, 神戸女学院大学公開講座
学外機関委員等	●2007.9～現在, 京都市教育委員会・学校問題解決支援チーム委員 ●2003.5～2008.5, 京都府臨床心理士会学校臨床心理士部会専門委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

備考

2007年度着任

専門分野	臨床心理学, 家族臨床心理学, グループワーク, 音楽療法
研究課題	調整的音楽療法の効果についての研究, 打楽器による能動的音楽療法プログラムの開発, 女性にとっての子どもの意味についての考察

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 心理学入門ゼミ, 臨床心理学, 家族臨床心理学, 音楽療法とコミュニケーション, 臨床心理学心理学実習Ⅲ, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	人間科学合同演習Ⅰ・Ⅱ, 臨床心理査定演習, 臨床心理基礎実習, 臨床心理実習, 臨床心理学特別研究Ⅰ, 臨床心理学特別研究Ⅱ
教育内容・方法の工夫	<p>●家族臨床心理学 2007年後期(毎回) コメントカードの利用による双方向授業:「家族臨床心理学」の授業において、毎回授業終了時にコメントカードの記入を求め、翌週必ず、その中の重要と思われる質問や確認・補足すべき事項について教員からコメントを行なった。(Q&A方式を取ることで、学生からの質問や積極的コメント、授業への参加意欲が増大した。)</p> <p>●心理学入門ゼミ 2007年前期 3回ストレスチェック表利用による体験的授業:1年生前期の少人数授業という点から、ストレスという概念を、わかりやすく、より身近に実感をもって理解してもらうため、ストレスチェックシートを独自に作成し、それに学生が回答することで自らのストレスサインと自分のパターンに合った具体的なストレスマネジメントの方法に気づき、日常生活でも授業で学んだことを応用できるような工夫を行なった。</p> <p>●演習Ⅰ、演習Ⅱ、臨床心理専門演習Ⅰ、Ⅱ 2007年前期1回、後期1回 ゼミ生全員によるグループワークの実施:ゼミにおいて、國吉ゼミの院生と学部生が一堂に会して学年を超えて学ぶ場を設定した。グループワークを通して、先輩後輩間での交流の機会が持てたことで、今後学年を超えたゼミ学生同士での研究上の情報交換や協力をしあうピアサポート体制の基礎を築くことができた。</p> <p>●演習Ⅰ、演習Ⅱ 2007年5回 3年生を対象とした、4年生による研究経過発表と調査シミュレーション:前期6月頃に、具体化した4年生の卒業研究の経過を、3年生も交え発表してもらい、また、3,4年を対象に予備調査的に質問紙を実施し、今後の本調査に先立つ調査の予行演習(シミュレーション)を行なっている。これは、4年生にとっては、予備知識のない3年にわかりやすく自分の研究を説明する練習になり、そのことが自分の研究の理解を深めることになる。また、ある程度、研究の目的を合同発表までに立てるというスケジュール管理のうえでも有効となっている。さらに、本調査のシミュレーションを行なうことで、ミスを防ぎ、段取りを考える練習にもなっている。一方、3年生にとっては、1年後に自分が到達すべき状態や目標が具体的にイメージでき、問題意識がどのような研究テーマに結実するのかの実際を知ることができる。また、調査協力することで質問紙作成上、注意すべき点を具体的に学ぶことができる。</p> <p>●音楽療法とコミュニケーション 2007年後期6回 音楽を用いた対人感受性の開発:音楽には受動的関わり(音楽鑑賞)、能動的関わり(楽器演奏)があるが、後者の方法は音楽を特別に学んでいない学生にはその機会も少なく、利用しにくい。しかし、コミュニケーションは発信者受信者間のやりとりであり、芸術的演奏技術上の制約から自由になることで、音楽を通じた感受性訓練が十分可能となる。そこで、初心者でも演奏可能な民族楽器等の打楽器を用いた心理劇を導入したり、また、音楽を聴きながらなぐりがき(スクリブル)を実施するなどの工夫を通して、誰もが音楽を通して自己表現と相互コミュニケーションを図れるような工夫を行なった。</p> <p>●臨床心理査定演習 2007年前期3回 発見学習の手法を導入した風景構成法実習:風景構成法で用いる10アイテムの象徴的意味について、最初から既成の知識を一方向的に与えるのではなく、学生にブレーンストーミングの手法で各アイテムについての自由な連想や発言を求めたうえで、象徴的意味や解釈について解説した。さらに、その上で、実際の臨床場面でのクライアントによる描画をブラインド解釈し、最終的にクライアントの状態や教員の解釈を説明した。このように発見学習的要素を導入することで、学生自身が描画についての解釈仮説を自力で導く力、考える力を育成できるよう工夫した。</p>

教育内容・方法の工夫	●臨床心理専門演習Ⅰ、Ⅱ 2007年前期2回、後期2回 院生によるグループワークファシリテーター実践実習:國吉ゼミの院生による、学部ゼミ生へのグループワーク実施に先立ち、グループワーク実施のための準備、計画を立てる上で注意すべき点、適切な教示の仕方、グループマネジメントなどについてのスキルを具体的、実践的に学ぶ場を設定した。
授業評価への対応	●演習Ⅰ、演習Ⅱ 2007年1回 自由記述部分への回答:評価についての簡単なフィードバックを実施した。 ●家族臨床心理学 2007年後期1回 自由記述部分への回答:評価の自由コメントのうち、「教科書が重い」という意見について、なぜこの教科書を用いているのか、どのような利点によりこの教科書を選定しているのかの理由を伝えた。ただし、実際の評価において先の意見は1名のみであり、むしろ、「教科書がわかりやすい」「例が豊富でよい」というコメントの方が圧倒的に多かったので、そのことも合わせて授業で伝えた。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	●京都大学 2007年通年:講演ではないが、京都大学教育学部 全学部配当の教職科目「教育心理学」ならびに「授業心理学」において、授業実践や教育に重要な視点を提示し、体験的要素を盛り込みながら指導している。
その他教育活動上特記すべき事項	●自らの豊富なグループワーク、社会教育の経験や技法を生かし、本学のあらゆる授業において体験的要素をできる限り取り入れ、単なる知識の伝達ではなく、身近な問題を捉える見方、発想の方法、主体的に学ぶための生きたスキルが身につくよう、日々授業方法を工夫している。

研究活動

著書・CD	●[共著] 樋口和彦・岡田康伸編, マンダラとしてのファンタジーグループ『イメージによるグループワークの実際(現代のエスプリ別冊)』, 至文堂, pp.250-253, 2007.7.15 ●[共著] 藤原勝紀・皆藤章・田中康裕編, インナーチャイルド・イメージを用いた子育て支援『心理臨床における臨床イメージ体験』 京大心理臨床シリーズ6, 創元社, pp.557-558, 2008.3.20
学術論文	●[単著] クライアントを守るセラピストの態度について～アカウンタビリティの視点から～(コメント論文), 京都光華女子大学大学院カウンセリングセンター研究紀要第3号, 京都光華女子大学大学院人間関係学研究所, 2007.10.1 ●[単著] 相手を理解する難しさ～クライアントの「わからなさ」に向き合うこと～(コメント論文), 天理大学カウンセリングルーム紀要 第4号, 天理大学大学院臨床人間学研究所, 2008.2.14
学会発表	●日本心理臨床学会 自主シンポジウム 指定討論者「精神療法と音楽療法」, 第26回日本心理臨床学会, 東京国際フォーラム, 森平直子・馬場存・十河治幸, 2007.9.7
その他の研究発表、演奏	●[書評]「自己と関係性の発達臨床心理学」, 神戸女学院大学学報, 神戸女学院, pp.19, 2008.3.18 ●2007年度第1回心理相談室ウィーク 講演会とワークショップ報告「子どもと向き合っていますか?～ほめること、叱ること～」, 心理相談研究, 神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室, pp.173-175, 2008.3.31
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	●2007.5.14, 宮水学園マスターコース第1回 「私の5つの窓」, 西宮市教育委員会, 西宮市総合教育センター ●2007.5.21, いじめ・不登校のカウンセリング, カウンセリングセミナー, 京都府保育協会 ●2007.5.28, 宮水学園マスターコース第2回 「私の価値観」, 西宮市教育委員会, 西宮市総合教育センター ●2007.6.9, 家族内コミュニケーション, 神戸女学院家庭会総会, 神戸女学院大学

<p>公開講座、市民講座等での講演</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.6.11, 宮水学園マスターコース第3回 「ワクワクの思い出」, 西宮市教育委員会, 西宮市総合教育センター ●2007.6.25, 宮水学園マスターコース第4回 「私の中の他者」, 西宮市教育委員会, 西宮市総合教育センター ●2007.7.9, 宮水学園マスターコース第5回 「私を支えてくれているもの」, 西宮市教育委員会, 西宮市総合教育センター ●2007.8.1, 子どもと向き合っていますか～ほめること・叱ること～, 神戸女学院大学大学院心理相談室ウィーク公開講演会, 神戸女学院大学 ●2007.10.27, 共感について, CIFカウンセリンググループ, 梅田東生涯学習ルーム ●2007.12.1～2, ファンタジーグループ研修会, ファンタジーグループ研究会, 関西セミナーハウス ●2007.12.22, ウォッチワードテストについて, CIFカウンセリンググループ, 梅田東生涯学習ルーム ●2008.1.26, 粘土による自己表現, CIFカウンセリンググループ, 梅田東生涯学習ルーム ●2008.3.22, 自然の中に自己を投影する, CIFカウンセリンググループ, 梅田東生涯学習ルーム ●2008.2.6, 共感～響きあうことの重要性～, 亀岡市社会教育課 子育てサポーター養成講座, ガレリアかめおか
<p>学外機関委員等</p>	
<p>受賞、栄誉</p>	
<p>その他社会活動上特記すべき事項</p>	

専門分野	精神医学
研究課題	青年期精神医学, 精神療法

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 精神医学総論, 精神保健福祉援助実習, 精神医学総論, 精神医学総論, 精神保健福祉援助基礎実習, 臨床心理学実習Ⅲ, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	人間科学合同演習Ⅰ・Ⅱ, 臨床心理基礎実習, 精神医学特論
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●『精神医学への招待』志水彰・頼藤和寛・水田一郎・岩瀬真生著, 南山堂, 2005年 ●ビデオ『心のトラブル』シリーズ(全13巻), 日本語訳監修 (1『アルツハイマー病』, 2『反社会性人格障害』, 3『注意欠陥多動性障害(ADHD)』, 4『双極性障害(躁うつ病)』, 5『せん妄』, 6『気分障害(うつ病)』, 7『摂食障害』, 8『強迫性障害』, 9『パニック障害』, 10『産褥期(産後)うつ病』, 11『身体表現性障害(心身症)』, 12『統合失調症(精神分裂病)』, 13『外傷後ストレス障害(PTSD)』) 東京, 医学映像教育センター, 2004.11~2005.01("Trouble in mind" Toronto, Sleeping Giant Productions, 1999~2000)
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●解離性障害の精神療法と精神病理, 臨床精神病理 28(2), pp.151-158, 2007.9 ●分離不安障害, 厚生労働科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業)子どもの心の診療医の養成に関する一般精神科医向けの研修テキスト, 厚生労働省雇用均等・児童家庭局, pp.81-83, 2008.3.31 ●[共著] Dennis TA・Talih M・Cole PM・Zahn-Waxler C, The socialization of autonomy and relatedness: Sequential verbal exchanges in Japanese and U.S. mother-preschooler dyads., Journal of Cross-Cultural Psychology 38(6), pp.729-749, 2007.11 ●[共著] 植月マミ・鈴木朋子・渡辺洋一郎, "対人関係"に焦点を当てた摂食障害の集団療法の試み, 臨床精神医学 37(2), pp.205-214, 2008.2.28 ●[共著] 京嶋徹・井上洋一, 父親と「話し合いの戦争になる」と訴えた男子症例よりの考察:父親の育て方の一方的な押しつけに潜んでいた児童虐待性, 大阪大学保健センター『学生相談室年報2007』1, pp.11-17, 2008.3 ●[共著] 小林哲郎・石谷真一・安住伸子・草野智洋, 大学生に見出されるひきこもりの精神医学的な実態把握と援助に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 心の健康科学研究事業, 思春期・青年期の「ひきこもり」に関する精神医学的研究 平成19年度総括・分担研究報告書, pp.65-81, 2008.3
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●摂食障害のネットワーク形成-「摂食障害フェスティバル」におけるアンケート調査から-, 第20回神戸心身医学会, 神戸(兵庫県中央労働センター), 2007.4.21, 野村佳絵子・町田英世・三井知代・生野照子 ●"座長" 心理機制1, 第3回摂食障害学会, 京都(京都府立医科大学), 2007.10.20 ●"座長" 不登校・ひきこもり・乳幼児・入院治療, 第48回日本児童青年精神医学会総会, 盛岡(岩手県民会館), 2007.10.30~11.1 ●"座長" 一般演題①, 第25回日本青年期精神療法学会総会, 熊本(熊本市市民会館), 2007.11.23~24
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	

研究助成金の受領状況	●厚生労働科学研究補助金(こころの健康事業), [分担者] 思春期のひきこもりをもたらす精神科疾患の実態把握と精神医学的治療・援助システムの構築に関する研究, 80万円
------------	--

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2000.4～現在, 児童青年精神医学会・評議員 ●2001.4～現在, 児童青年精神医学会・認定医審査委員 ●2000.4～現在, 青年期精神療法学会・理事 ●2000.4～現在, 近畿児童青年精神保健懇話会・世話人 ●2005.4～現在, 神戸心身医学会・世話人
公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.8.25, 身体表現性障害と心身症のあいだ, 心身医学会近畿地方会特別講演, AP大阪 ●2007.9.12, 摂食障害, 辻学園栄養専門学校ヘルス&ヒューマンサイエンス専攻科, 辻学園栄養専門学校 ●2007.12.8, 人生の秋とうつ, 神戸女学院秋季公開講座, 神戸女学院
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	生涯発達心理学, ジェンダー心理学
研究課題	日本におけるジェンダー問題:心理学の立場から, フェミニスト理論と科学

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, キャリアを考える, 心理学入門ゼミ, ジェンダーの心理学(生涯発達), 心理行動科学実験実習, 教育心理学, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●「教育心理学」「心理学入門ゼミ」:映像が使える場合には使用した。特に、子どもの発達に関する内容の際には、視覚教材を利用している。 ●「ジェンダーの心理学」:教材として使用する新聞記事、行政の行った調査結果等は常に最新の情報を入手するようにした。また、ジェンダーの問題に関連する視覚教材も利用した。 ●「演習Ⅰ」前期:講読する心理学論文を最新の学術雑誌から選択した。
授業評価への対応	●「教育心理学」「ジェンダーの心理学」:人数が多い講義科目であるため、例年、「私語」を問題とする学生がいるので、2007年度も頻繁に注意を行った。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽経験者の大学進学-音楽大学進学考慮者と非考慮者の比較-, 日本教育心理学会第49回総会, 文京大学, ◎武知優子・森永康子, 2007.9.17 ●二十歳の女性の幸福と不幸と現実, 日本社会心理学会第48回大会, 早稲田大学, ◎森永康子・飯田祐子, 2007.9.23 ●親密な関係における葛藤解決方略の使用に及ぼす両面価値的性差別主義の影響-日本と台湾の大学生の比較-, 台湾中央研究院・早稲田大学台湾研究所共催シンポジウム, 早稲田大学, ◎青野篤子・周玉慧・森永康子・葛西真記子, 2008.3.18 ●音楽大学進学・非進学の決定過程, 日本発達心理学会第19回大会, 大阪国際会議場, ◎武知優子・森永康子, 2008.3.21
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	●[書評]「李尚波著『女子大学生の就職意識と行動』」, 大原社会問題研究所雑誌7月号No584, 法政大学出版局, p69-72, 2007.7.25
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所総合研究助成, [代表者:米田真澄], 市民性に寄与する人権認識形成に貢献する学校教育についての理論的および試験的社会調査, 135万円

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	認知心理学
研究課題	推論課題を用いた思考の文化差についての研究, Cross-cultural studies on the human resolution of contradiction, 推論機構の言語的実現とその解釈メカニズムに関する研究

教育活動

担当授業科目(大学)	心理行動科学実験実習, 心理行動科学文献講読, 演習 I, 演習 II, 自然と人間, 心理学入門ゼミ, 認知心理学, 行動科学統計 II, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	心理統計法特論, 認知心理学特論, 人間行動学演習 II, 人間行動学特別研究 II, 健康科学演習 II, 健康化学特別研究 II
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●自然と人間 2007年度 進化から文化に至るよいテキストがないため、教材を作成して、参考文献をつけた資料を全員に配布した。 ●認知心理b 2007年度後期 最新の研究成果を伝えられるような教材を作成し、全員に配布した。 ●2007年度 演習 II 他大学の教員と情報交換しながら、最新の研究成果を学生に示し、学会発表ができるように指導した:人間科学研究科で行なわれた修士論文発表会は全員の発表を聞き、コメントした。博士論文の発表会には、領域が異なるといえども、極力出席して他分野としてのコメントを述べた。
授業評価への対応	●とくに問題があると思われる点はなかったため、対応していない。
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●自然と人間: 2007年度 進化から文化に至る過程を説明した教材を作成 ●認知心理b: 2007年度後期 最新の研究成果を伝えられるような教材
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●西岡美和・堀下智子・川崎弥生・谷口淳一, A Dual Process Model for Cultural Differences in Thought, Mind & Society, 2007.11
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●後知恵バイアスについての比較文化的研究, 第5回, 日本認知心理学会, 京都大学, 川崎弥生・足立邦子, 2007.5.29 ●Hindsight bias and holistic thinking: A cross-cultural study, International Conference on Learning Competency, SungKyunKwan University, Ken I. Manktelow・Hugo Mercier・Jean-Baptiste Van der Henst・Kyung Soo Do・川崎弥生・足立邦子, 2008.1.18 ●Hindsight bias and conditional reasoning: A cross-cultural study, Conditionals Workshop on Linguistics and Inference, 東京大学, Ken I. Manktelow・Hugo Mercier・Jean-Baptiste Van der Henst・Kyung Soo Do・川崎弥生・足立邦子, 2008.10 ●認知の総合理論としての二重過程理論, 第71回日本心理学会, 東洋大学, 太田信夫・多鹿秀継(企画) ワークショップ「認知領域の知覚・記憶・思考研究間のつながりを考える」における話題提供, 2008.9 ●フランス人におけるコントロール感と曖昧性の効果が確率判断に与える影響, 第5回日本認知心理学会, 京都大学, 足立邦子・唐澤穰・川崎弥生, 2007.5.29 ●意思決定における後悔の世代差とその後の反映-29歳代、40歳代、60歳代の女性について, 第71回日本心理学会, 東洋大学, 向井智子・川崎弥生・足立邦子, 2008.9 ●食物共有行動に影響する要因の検討 II -血縁者と非血縁者との比較, 第71回日本心理学会, 東洋大学, 小松さくら, 2007.9

学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●Hindsight bias as automatic memory reconstruction: A cross-cultural study, 7th Tsukuba International Conference on Memory, つくば国際会議場, Ken I. Manktelow・Hugo Mercier・Jean-Baptiste Van der Henst・Kyung Soo Do・川崎弥生・足立邦子, 2008.3 ●コントロール感と曖昧性の効果が確率判断に与える影響についての日仏文化比較的研究, 第71回日本心理学会, 東洋大学, 足立邦子・唐澤穰・川崎弥生, 2007.9 ●Implicit attitude toward high fat foods, 7th Tsukuba International Conference on Memory, つくば国際会議場, 山中祥子, 2008.3
その他の研究発表、演奏	●Mental health as solving adaptive problems in a culture: Self-enhancement and self-critic, 3rd THEIST Meeting, 2008.11
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	<ul style="list-style-type: none"> ●日本学術振興会研究費補助金基盤研究(A), [研究分担者] 推論機構の言語学的実現とその解釈メカニズムに関する研究, 1550万円 ●日本学術振興会二国間交流日仏共同研究CHORUS, [代表者] Cross-cultural studies on the human resolution of contradiction, 465万円 ●神戸女学院大学研究所総合研究助成, [代表者] 健康的存在についての学際的研究 (The healthy being interdisciplinary studies), 135万円

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2003.11～2007.10, 日本心理学会機関紙等編集委員 ●2007.11～現在, 関西心理学会常任委員
公開講座、市民講座等での講演	●日本学術振興会外国人招聘プログラム David Over氏のホストサイエンティスト
学外機関委員等	●2006.1～2007.12, 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	臨床心理学
研究課題	山姥に見られる日本の女性元型, 心理療法における象徴的表現について

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 臨床心理学, 深層心理学, 臨床心理学心理学実習Ⅲ, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	臨床心理査定演習, 臨床心理基礎実習, 臨床心理実習, 臨床心理学特別研究Ⅱ
教育内容・方法の工夫	●臨床心理学:オムニバス授業なので、担当教員全員で毎年授業内容等について検討修正している。
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	●事例発表司会, 第21回箱庭療法学会, ハウステンボス, 2007.9.21
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院人間科学部教育研究助成金, [分担者] 臨床心理士候補生の臨床感覚を涵養する指導・教育システムの開発のための調査, 40万円

社会活動

学会役員等	●2001.7～2008.3, 日本ユング心理学会・理事
公開講座、市民講座等での講演	●グループスーパーヴィジョン1, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2007.4.8 ●グループスーパーヴィジョン2, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2007.5.25 ●グループスーパーヴィジョン3, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2007.6.24 ●グループスーパーヴィジョン4, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2007.7.22 ●グループスーパーヴィジョン5, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2007.8.5 ●グループスーパーヴィジョン6, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2007.9.9 ●グループスーパーヴィジョン7, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2007.9.9 ●グループスーパーヴィジョン8, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2007.11.11 ●グループスーパーヴィジョン9, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2007.12.9 ●グループスーパーヴィジョン10, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2008.1.13 ●グループスーパーヴィジョン11, 日本ユング研究所セミナー, 日本ユング研究所, 2008.2.10

学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

備考

専門分野	臨床心理学
研究課題	間主観性の観点から見た乳幼児期の自己形成、乳幼児期の発達の知見の心理臨床場面への応用による面接過程の研究、発達臨床の視座から見た、環境への想像的認知と関わり

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 臨床心理学, 発達臨床心理学, 臨床心理学と人間, 臨床心理学と人間(入門人間科学), 卒業研究
担当授業科目(大学院)	臨床心理学特論, 臨床心理査定演習, 臨床心理基礎実習, 臨床心理実習, 臨床心理学特別研究Ⅰ, 臨床心理学特別研究Ⅱ
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●演習Ⅰおよび演習Ⅱ、大学院特別研究ⅠおよびⅡ。前期および後期の複数回の授業において合同の演習を実施:大学院生に大学院での研究・教育を具体的に学部生に紹介させる、また4年生に就職活動や進路選択の実際を3年生に聞かせるといった先輩後輩の関係を強化し、将来展望を持たせる ●大学院臨床心理基礎実習および臨床心理実習、受講生である大学院生に、心理相談室夏季体験無料相談会を主体的に準備・運勢させた。2007.6~8:心理相談室のアウトリーチ活動に主体的に参加させることで、アウトリーチ活動の企画・実施のノウハウを学ばせることができた。 ●臨床心理学特論における発達支援の実際を学ばせるため、地域子育て専門家との連絡会に参加させた(2008.2.23):臨床心理士がいかにかして地域の臨床ニーズを掘り起こし、地域の実践家と連携を作り上げ、臨床活動を作り出していくかについて、連絡会に参加させることで、教員自らが手本を示した。
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	●「自己と関係性の発達臨床心理学」(2007.11.28) <発達臨床心理学のテキスト>:心理・行動科学科の専門科目「発達臨床心理学」で使用
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	●「大学院生による模擬面接体験の分析」(神戸女学院大学人間科学研究科心理相談室紀要第9号(2008年3月31日発行):大学院生が学部生有志を対象に行った模擬心理面接の映像の分析と院生自身との振り返りセッションを通じて明らかになった大学院生の心理面接に向けての課題とそれを教育する方法について考察した。
その他教育活動上特記すべき事項	●大学院GP人系「地域実践活動を創造できる臨床心理士の養成」採択(2007年9月):大学院教育改革プログラムの採択を受け、地域との連携を深めるための、西宮市の子育て支援機関の訪問と協体制の確立に尽力した。これら機関のいくつかで次年度院生が実習を行う予定である

研究活動

著書・CD	<ul style="list-style-type: none"> ●[単著] 自己と関係性の発達臨床心理学, 培風館, pp.204, 2007.11.28 ●[共著] 藤原勝紀・皆藤章・田中康裕編著, イメージとしての言葉、その発達の基礎, 創元社, pp.146-157, 2008.3.20
学術論文	●大学院生による模擬面接体験の分析, 神戸女学院大学大学院人間科学研究科心理相談室紀要, 神戸女学院大学大学院心理相談室, pp.3-18, 2008.3.31
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院人間科学部教育研究助成金, [単独] 臨床心理士候補生の臨床感覚を涵養する指導・教育システム開発のための基礎調査, 40万円

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	●2007.7.23~9.10, 宮水学園マスターコース前期A(心理学)(計5回), 西宮市生涯学習大学宮水学園, 西宮市立総合教育センター

学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	認知科学
研究課題	感情のモデル化とその応用, 人間らしさ認知の構造に関する研究, 感性の情報化に関する研究

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 情報科学基礎演習, 情報科学応用演習Ⅰ, 人工知能論, 認知科学概論, 情報科学演習, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	人間科学合同演習Ⅰ・Ⅱ, 人間情報処理特論
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●Sc181(1)情報科学基礎演習・Sc182(2)情報科学演習・Sc283(1)情報科学応用演習Ⅰ・Sc289(2)認知情報処理2007.4.1～2008.1.31 e-learning システムの活用:各科目においてe-learning システム(前期はBlackboard後期はMoodle)を使用し、教材の提示・学生とのコミュニケーション・課題の電子的な提出に活用した。 ●Sc283(1) 情報科学応用演習Ⅰ・Sc289(2)認知情報処理 2007.4.1～2008.1.31プログラムサンプルの例示:各科目において、プログラムサンプルを追加・改訂し、またそれらの例を直ちに実行したり、一部を容易に修正して再実行するための環境(2006年度までに作成済)を適宜改訂し、活用した。 ●Sc283(1)情報科学応用演習Ⅰ・Sc289(2) 認知情報処理2007.4.1～2008.1.31 プログラミング支援ツールの作成・提供:各科目において、作成プログラムを直ちに実行したり、関数の呼び出しをトレースする等のプログラミング支援ツール(2006年度までに一部作成済)を適宜作成・改訂し、活用した。
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●Sc181(1) 情報科学基礎演習 資料 (www上の資料ページ)2007.4.1～2007.7.31:Sc181(1) 情報科学基礎演習において、授業の進行に沿って適宜改訂・加筆を行った。 ●Sc283(1) 情報科学応用演習Ⅰ 資料 (www上の資料ページ)2007.4.1～2007.7.31:Sc283(1) 情報科学応用演習Ⅰにおいて、授業の進行に沿って適宜改訂・加筆を行った。 ●Sc283(1) 情報科学応用演習Ⅰ プログラムサンプル (主にwww上で提供)2007.4.1～2007.7.31:Sc283(1) 情報科学応用演習Ⅰにおいて、授業の進行に沿って適宜追加・改訂を行った。 ●Sc182(2) 情報科学演習 資料 (www上の資料ページ)2007.9.1～2008.1.31:Sc182(2) 情報科学基礎演習において、情報科学教室の計算機環境の更新に合わせて、また授業の進行に沿って適宜改訂・加筆を行った。 ●Sc289(2) 認知情報処理 資料 (www上の資料ページ)2007.9.1～2008.1.31:Sc289(2) 認知情報処理 資料において、情報科学教室の計算機環境の更新に合わせて、また授業の進行に沿って適宜改訂・加筆を行った。 ●Sc289(2) 認知情報処理 プログラムサンプル (主にwww上で提供)2007.4.1～2007.7.31:Sc289(2) 認知情報処理において、情報科学教室の計算機環境の更新に合わせて、また授業の進行に沿って適宜追加・改訂を行った。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	●[書評]「落合雄彦・金田知子編著『アフリカの医療・障害・ジェンダー』」, 女性学評論第22号, pp.93-97, 2008.3.31

研究助成金の受領状況	
------------	--

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	音楽文化
研究課題	「指歩きピアノ奏法」の開発, マズローの欲求階層説と音楽活動パターンの対比

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 音楽文化論, 音楽による自己表現, 音楽概論, 音楽療法とコミュニケーション, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽概論:2007.6 映像教材作成:弦楽器の紹介に、実力世界一のコントラバス奏者ゲリー・カーの放送録画を編集し、コントラバス演奏を新たに教材として加えた。 ●音楽概論: 2007.7 ピアノ演奏会の実施: 新任の岡田将先生に、見事な生演奏を音楽部ホールで聴かせていただき、超一流のプロの演奏にふれて感動する音楽体験をさせた。 ●音楽概論: 通年で毎回授業後の感想を提出し、次回その中からよいものを読み上げ、コメントをつける: 音楽から受講生が感じ取ったものを、他の受講者が知ることにより、音楽の聴き方を学ばせる。 ●音楽療法とコミュニケーション: 2007.10 聴取した環境音を絵に表現しそれをピアノで表現する。受講者に聴取した環境音を絵に表現させ、それをピアノで独奏・連弾し表現させた。これにより音・音楽に対する鋭敏な聴覚の育成をはかった。 ●音楽文化論: 提出レポートから抜粋してプリントを作成。それを読み上げて公表する。: 受講者たちの多様な考え方の相違を交流させ、約160人もの大人数の講義の中で、相互にコミュニケーションをはかる。また、それにコメントをつけて読み上げることにより、さらなる考察の進展を促す。
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●DVD「田島孝一の指歩きピアノ奏法のすすめ」, 2007.10, これまで開発研究してきた「指歩きピアノ奏法」を普及させるために作成したもの。「音楽による自己表現」で学習する内容を収録した。 ●教材編曲「千の風になって」, 2007.11, 「音楽による自己表現」後期に学ぶ教材の一つとして編曲した。 ●教材編曲「フィンランディア」, 2007.6, 「音楽による自己表現」前期に学ぶ教材の一つとして編曲した。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	●[単著] DVD「田島孝一の指歩きピアノの奏法のすすめ・基礎編」, アップル・ミュージック, 2007.10.1
学術論文	●[単著] Finger-walking Method の基本理念とその学習法(Ⅲ)～物理学・力学的視点に基づいたピアノ奏法～, 神戸女学院大学論集第54巻第2号, 神戸女学院大学研究所, 2008.11.20
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●Finger-walking Method (指歩きピアノ奏法) の指導法概説, 日本音楽表現学会第5回大会, 熊本大学, 2007.6.16～17 ●”Finger-walking Method” (指歩きピアノ奏法) の提言～初心者から上級者までを対象に～, 日本音楽教育学会第38回全国大会, 岐阜大学, 2007.11.10～11
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	
-------	--

公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	動物生態学
研究課題	海岸砂丘動物群集の保全生態的研究, 管住性ハチ類による景観生態学研究, 熱帯雨林におけるアリをモデルとするアリ形グモ群集の進化生態学的研究

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 動物生態学, 生態学実習Ⅰ(講義を含む), 生態学実習Ⅱ(講義を含む), 生物の適応と進化, 環境保護論, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	人間科学合同演習Ⅰ・Ⅱ, 環境科学演習Ⅱ, 環境科学特別研究Ⅱ
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●生態学実習Ⅱ 2007.10~11 学生の主体的な計画立案と実施: 学生に生態学の簡単な野外研究のテーマを提供し、グループごとにテーマにそって計画を立案させ、計画の妥当性についてチェックした後で、それを実行に移し、結果をまとめ、最後に学会形式で発表を行った。多くの学生が自分たちの研究計画に大変熱心にとり組み、興味深い結果を示すグループもあった。 ●生物の適応と進化 2007.11 大規模クラスでの学生参加による体験授業の試み: 学生各自につくらせておいた滑空するアルトミスラ種子の紙模型を用い、学生に教室の前からそれを飛ばしてもらった。この結果から、生物のかたち(デザイン)と機能の結びつきを理解させ、自然選択のしくみを体験的に理解してもらうことを企図した。しかし、進んで前に出てくる学生が少なく、授業進行がスムーズにいかないのが難点。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●動物生態学 2007.4~7 コメントシートによる授業評価: 全学的に実施される学生による授業評価アンケートとは別に、毎回学生に提出を求めるコメントシートに授業への要望を書いてもらった。記名ではあったが、率直に要望を書く学生も多数おり、次回以降の授業で改善可能な点は改善した。 ●動物生態学 2007.4~7 授業評価アンケート結果のフィードバック: 集計結果のチャート等のデータをパワーポイントで説明、自由記述による授業評価のいくつかを紹介した。
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●生態学実習Ⅱ 2007.8 野外実習の教材テキストの作成: 生態学実習Ⅱのなかで実施している野外実習(8月7日~9日)において使用している教材テキストの判サイズ変更に伴って内容も大幅に改訂し、より充実したものとした。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	<ul style="list-style-type: none"> ●環境と健康のために行動する女性科学者養成 2008.2.10 平成19年度大学教育改革プログラム合同フォーラム、パシフィコ横浜にてポスター発表: 大学院における教育改革支援プログラムの取組について、その目的、教育実践などの報告を行った。
その他教育活動上特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ●大学院における新しい教育プログラムの実施: 文科省の大学院教育改革支援プログラム「環境と健康のために行動する女性科学者養成」採択にともない、大学院の正課外教育プログラムとして、1)大学院セミナー、2)サイエンス・アウトリーチ活動、3)サイエンスのための語学研修などを立ち上げた。

研究活動

著書・CD	
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●[共著] 遠藤知二・西本裕・橋本佳明・中西明德, 兵庫県北部の砂浜海岸におけるニッポンハナダカバチの分布, 人と自然, No. 18, p.13-20, 2007.12 ●[共著] Inoue, M and Endo, T., Below-ground host location by <i>Campsomeriella annulata</i> (Hymenoptera: Scolidae), a parasitoid of scarabaeid grubs, <i>Journal of Ethology</i>, 28, pp.43-50, 2008.1 ●[共著] 楠瀬雄三・村上健太郎・伊藤憲正・遠藤知二, 海浜周辺の緑地減少によるハマヒルガオ訪花昆虫の喪失, <i>日本緑化工学会誌</i>, 33, pp.243-246, 2007.8

学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●Behavior, mind, and evolution: From biological perspectives, International Symposium on Evolution and the Mind, Kobe College, Inoue, M. and Endo, T., 2007.4 ●西宮市におけるキシノウエトタゲモの生息状況と生息地の環境条件, 日本蜘蛛学会第39回大会, 九州東海大, 大家理恵・遠藤知二, 2007.8 ●チョウの多様性と景観構造の対応関係を探るための適切な空間スケール, 昆虫学会第67回大会, 神戸大学, 林江里子・遠藤知二, 2007.9 ●ヒメハラナガツチバチの宿主運搬過程: 地中で見つけた宿主をどのように運ぶのか?, 昆虫学会第67回大会, 神戸大学, 井上牧子・遠藤知二, 2007.9 ●兵庫県におけるベッコウバチ科・ヒゲベッコウ (Dipogon) 属の分布と生態-第1報-, 昆虫学会第67回大会, 神戸大学, 西本裕・森島玲奈・遠藤知二, 2007.9 ●地中におけるツチバチの宿主探索行動: 宿主発見の成否に影響する要因, 日本動物行動学会第26回大会, 京都大学, 井上牧子・遠藤知二, 2007.11
その他の研究発表、演奏	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.7.5, おまえの敵はおまえだ: 単独性カリバチの個体と社会, 2007年度前期人間科学部専門部会
その他の著作、訳書等	<ul style="list-style-type: none"> ●オニグモとベッコウバチとヤドリニクバエ三者の複雑な関係をめぐって, 『昆虫記』刊行100年記念日仏共同企画「ファーブルにまなぶ」, 日仏共同企画「ファーブルにまなぶ」展実行委員会, p. 22-25, 2007.6 ●環境と健康を守るようには行動できない私たち人間のために-大学院GPの視座, ヒューマンサイエンス No.11, 神戸女学院大学大学院人間科学研究科, pp. 1-2, 2008.3
研究助成金の受領状況	<ul style="list-style-type: none"> ●日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C) (一般), [分担者] アリ類種多様性はアリ擬態グモの多様性創出の鋳型となっているか, 140万円

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.6.9, 河川敷の狩蜂, リバグレス猪名川, 猪名川町中央公民館 ●2007.6.22, 6.29, 昆虫のバイオロジー (計2回), NPOシニア自然大学, 梅田生涯学習ルーム ●2007.6.25, 自然観察会, NPOシニア自然大学, 神戸女学院
学外機関委員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2000～現在, 兵庫県環境影響評価審査会委員 ●2005～現在, 兵庫県生態系保全対策検討委員会委員 ●2005～現在, 西宮市環境審議会委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	生態毒性学
研究課題	有機リン化合物の水中濃度分布と水中細菌による分解, 礫表面の生物膜によるエストロゲンの分解, ニジマスの免疫系および薬物代謝系におよぼすTBTの影響, 仔稚魚の消化系の発達に関する研究

教育活動

担当授業科目(大学)	演習 I, 女性学(実践編), 自然と人間, 人間と化学物質, 環境科学基礎実習(講義を含む), 環境科学特論 II
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	●化学物質と人間: 最新のトピックを講義に取り入れた。
授業評価への対応	●環境科学基礎実習: 基礎学力が不足していて、実習内容をよく理解していない学生には実習時間中に極力平易に説明するように心がけた。
作成した教科書・教材・参考書	●明日の環境と人間: 第3版を2004年に出版し、その後毎年増刷しているが、その都度マイナーな修正や書きくわえを行なっている。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	<ul style="list-style-type: none"> ●[共著] ◎山田久・川合真一郎他, 有機スズと環境科学-進展する研究の成果, 2007.3.30 ●[共著] ◎杉田治男・川合真一郎・黒川優子・松岡須美子他, 微生物の利用と制御, 恒星社厚生閣, 2007.10.30 ●[共著] ◎事例に学ぶ自治体環境行政の最前線, ぎょうせい, 2008.3.30
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●[共著] ◎H. Harino・S. Kawai et al., Concentration of antifouling biocides in sediment and mussel samples collected from Otsuchi Bay, Japan, Arch. Environ. Contam. Toxicol, 52,(1), 2007.3 ●[共著]◎J. Koyama・S. Kawai et al., Pollution by estrogens in river and estuarine water around Kuala Lumpur, Malaysia, and their effects on the estuarine Java-medaka(<i>Orizias Javanicus</i>), Jpn. J. Environ. Toxicol., 9, 2007.10 ●[共著]◎A. Nakayama・Y. Kurokawa・S. Kawai et al, Effects of tributyltin on the immune system of Japanese flounder(<i>Paralichthys olivceus</i>), Aquatic Toxicol., 83, 2007.1 ●[共著]◎A. Fujii・Y. Kurokawa・S. Kawai et al., Diurnal variation of tryptic activity in larval stage and development of proteolytic enzyme activities of Malabar grouper(<i>Epinephelus malabaricus</i>), Aquaculture, 276, 2007.6
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●礫表面の生物膜によるエストロゲンの分解, 2007年度日本水産学会春季大会, 東京海洋大学, ◎松岡須美子・黒川優子・川合真一郎ら, 2007.3.28 ●礫間接触法によるエストロゲン様物質の除去, 2007年度日本水産学会近畿支部例会, 神戸女学院大学, ◎松岡須美子・川合真一郎, 2007.7.7 ●ユスリカ防除を目的とした殺虫剤の散布と河川水中の濃度変化、水中細菌による分解および効力試験, 2007年度日本水産学会秋季大会, 北海道大学(函館), ◎黒川優子・松岡須美子・川合真一郎ら, 2007.9.27 ●岩手県大槌湾における表層泥中のエストロゲンの分布, 2007年度日本水産学会秋季大会, 北海道大学(函館), ◎松岡須美子・黒川優子・川合真一郎ら, 2007.9.27 ●Understanding for the immunotoxic mechanism of benzo[a]pyrene in fish, 第14回日本免疫毒性学会, 神戸, ◎中山彩子・川合真一郎ら, 2007.9.14 ●カキ殻を用いた浄化法によるエストロゲンの分解, 2008年度日本水産学会春季大会, 東海大学(清水), ◎松岡須美子・黒川優子・川合真一郎, 2008.3.28 ●クロマグロのふ化後の成長に伴う消化酵素活性の変化および消化酵素活性の日内変動, 2008年度日本水産学会春季大会, 東海大学(清水), ◎黒川優子・川合真一郎ら, 2008.3.28

その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	<ul style="list-style-type: none"> ●農林水産省, 農林水産生態系における有害化学物質の総合管理技術の開発委託事業, [代表者] 魚類の薬物代謝機構、内分泌系および生体防御系に及ぼす有機スズ化合物の影響評価手法の開発, 210万円 ●マルハ株式会社, クロマグロの健苗育成を目的とした種苗生産技術開発, [代表者] 稚仔魚の消化機能の発達, 110万円 ●神戸女学院大学人間科学部教育研究助成金, [代表者] ユスリカ防除のためのIGR剤やBT剤の散布後における水中での濃度変化や水中での挙動 ●神戸女学院大学研究所研究助成金, [代表者] 礫表面の生物膜によるエストロゲンの分解・除去

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2002.4～2008.4, 日本水環境学会関西支部理事 ●2002.4～2008.3, 日本水産学会近畿支部評議員 ●2007.4～2008.3.8, 日本免疫毒性学会評議員 ●2002.4～2008.3, 日本内分泌攪乱物質学会評議員 ●2002.4～2008.3, 環境技術研究協会「環境技術」編集委員
公開講座、市民講座等での講演	
学外機関委員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2002.4～2008.3, 通商産業省化学品審議会専門委員 ●2002.4～2008.3, 海洋環境国際共同研究事業推進委員 ●2002.4～2008.3, 船底塗料用防汚物質の海水中挙動の解明関わる研究委員会委員 ●2005.4～2008.3, 西宮市環境計画推進パートナーシップ会議議長
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	健康医学
研究課題	細胞のストレス応答, 動脈硬化

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 入門ゼミ, バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 人体の構造と機能, 生命の科学実習(講義を含む), 健康医学, 女性学(実践編), 病気の細胞生物学, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	健康医学特論
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●人体の構造と機能 2007年度 Black Board, Moodle, コメントシートの活用: 毎回の講義で、ネット上で小テストを公開し、復習を図る。毎回の講義で、コメントシートにより意見交換を図る。 ●健康医学 2007年度前期 Black Board, コメントシートの活用: 毎回の講義で、ネット上で小テストを公開し、復習を図る。毎回の講義で、コメントシートにより意見交換を図る。 ●病気の細胞生物学 2007年度後期 Moodle, コメントシートの活用: 毎回の講義で、ネット上で小テストを公開し、復習を図る。毎回の講義で、コメントシートにより意見交換を図る。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●人体の構造と機能 2007年度前後期 結果を公表し、コメント: 静粛さ、板書、予習・復習、進度などのコメントについて、話す。 ●健康医学 2007年度前期 結果を公表し、コメント: 静粛さ、板書、予習・復習、進度などのコメントについて、話す。 ●病気の細胞生物学 2007年度後期 結果を公表し、コメント: 静粛さ、板書、予習・復習、進度などのコメントについて、話す。
作成した教科書・教材・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ●バイオサイエンス基礎実習: 細胞生物学の基礎的な実験手法、実験計画を解説。バイオサイエンス基礎実習 ●生命の科学実習: 生命科学の基礎的な実験手法、実験計画を解説。生命の科学実習
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●[共著] ◎濱田洋子・西田昌司, プラーク内血管新生に及ぼすカテキンの影響, 神戸女学院大学論集 第54巻第1号, pp.95-109, 2007.7.20
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●肺胞マクロファージの炎症反応に及ぼすニコチンの影響, 第6回最先端バイオテクノロジー研究会, 神戸女学院大学, ◎平林玲子・西田昌司, 2008.2.18 ●17βエストラジオールとコルチゾールが血管内皮細胞のNO産生能に及ぼす影響, 第14回Inter Heart研究会, 東京, ◎西田昌司, 2008.2.16 ●膵β細胞を用いた糖尿病モデルにおけるクルクミンの効果, 第6回糖尿病と循環器疾患研究会, 大阪, ◎西田昌司・木村真理・衣川縁, 2008.3.22
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	●2004.4～2008.3, 日本栄養・食糧学会編集委員
コンクール等の審査	

学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	植物生態学
研究課題	東播磨における禿げ山の植生学的研究, 西宮市の植物相の研究

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 自然観察入門, 地球生物圏の科学, 生態学実習Ⅰ(講義を含む), 生態学実習Ⅱ(講義を含む), 植物生態学, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	●Sc379 生態学実習Ⅱ-野外実習テキスト-, 2007.8:Sc379生態学実習Ⅱ
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	●[単著] ナラ林の自然史と二次的自然の保護, 関西自然保護機構会誌, 29, 関西自然保護機構, pp.127-142, 2007.12
学会発表	●シンポジウム講演「ナラ林の自然史と二次的自然の保護」, 関西自然保護機構, 大阪自然史博物館, 2007.6.24, ●シンポジウム講演「ナラ林の自然史と二次的自然の保護」, コーディネーター, 関西自然保護機構, 大阪自然史博物館, 佐久間大輔, 2007.6.24 ●関西自然保護機構フィールドセミナー「里山生態系とナラ類の種生態」, コーディネーター, 関西自然保護機構, 大津市守山公民館, 佐久間大輔, 2007.10.21
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	●2007.4~2008.3, 植生学会・運営委員, 編集委員, 編集幹事 ●2007.4~2008.3, 関西自然保護機構・理事
公開講座、市民講座等での講演	●2007.10.27, 甲山湿原を知ろう, 甲山森林・湿原サポーター養成講座, 第5回, 西宮市立甲山自然の家 ●2008.2.12, 甲山の森林植生と植物相, 西宮市植物生産研究センター特別講習会, 西宮市植物生産研究センター
学外機関委員等	●2007.4~2008.3, 西宮市甲山周辺環境保全連絡協議会委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	応用生命科学
研究課題	微生物を利用した環境修復, 動物細胞を用いたメタボリックシンドローム, 酵母を用いた有用物質の生産

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 入門ゼミ, 物理学入門, 微生物学実習(講義を含む), 食品環境学, バイオテクノロジー概論, 応用微生物学, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	環境科学演習Ⅰ, 環境科学特別研究Ⅰ
教育内容・方法の工夫	●入門ゼミ 2007年前期 能力を伸ばすプログラム:グループ議論と発表を繰り返す形式に変更。企画力とプレゼンテーション能力を鍛えることを目指すプログラムを作成した。 ●演習Ⅰ 2007年前期 能力を伸ばすプログラム:休みを利用して英語の課題を与えて、英語力の強化を図った。
授業評価への対応	●バイオサイエンス基礎実習 微生物学実習 2007年:後ろの学生が聞き取りにくいとの意見から、携帯用のマイクを購入して使用した。これにより、マイクを持ったまま実験が行えるようになった。
作成した教科書・教材・参考書	●物理学入門 2007年前期 理解力強化:物理学の演習のためのテキストを作成
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	●2007年12月から中級・上級バイオ認定試験の全般の補助:試験のガイダンス、勉強のための資料の作成、願書の手続きなど

研究活動

著書・CD	
学術論文	
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●Characteristic of triglyceride accumulation and production of adipocytokines in mouse adipocyte, 7th Asia Pacific Biochemical Engineering Conference, Taipei (台湾), Minori Mimura・Risako Nabeshima, 2007.11.4~7 ●Bioremediation of polluted soil by use of self-immobilized microorganisms, International Workshop on Energy and Environmental Research for global sustainability, 神戸ポートピアホテル, 2007.12.6 ●マウス脂肪細胞のアディポサイトカインの測定と生産特性の解析, 化学工学会第39回秋季大会, 北海道大学, 三村みのり・鍋島理咲子, 2007.9.13~15 ●マウス脂肪細胞の油脂蓄積及びアディポサイトカイン産生特性, 第59回日本生物工学会大会, 広島大学, 三村みのり・鍋島理咲子, 2007.9.24~27 ●マウス肝細胞による油脂蓄積とグルコース代謝特性, 第59回日本生物工学会大会, 広島大学, 鍋島理咲子・三村みのり2007.9.24~27 ●<i>Yarrowia lipolitica</i>を用いたグルタチオンの生産, 第59回 日本生物工学会大会, 広島大学, 原田絵美・石塚好・鍋島理咲子, 2007.9.24~27 ●<i>Yarrowia lipolitica</i>を用いたグルタチオンの生産, 第10回化学工学会学生発表会(大阪大会), 関西大学, 石塚好・原田絵美・角間彩美・栗山翠・野村亜矢・鍋島理咲子, 2008.3.1 ●<i>Yarrowia lipolitica</i>を用いた油脂からのグルタチオンの生産, 第6回最先端バイオテクノロジー公開セミナー, 神戸女学院大学, 原田絵美・石塚好・角間彩美・栗山翠・野村亜矢・鍋島理咲子, 2008.2.18 ●マウス脂肪細胞における油脂蓄積とアディポサイトカインの生産特性, 第6回最先端バイオテクノロジー公開セミナー, 神戸女学院大学, 鍋島理咲子・三村みのり, 2008.2.18
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	

研究助成金の受領状況	<ul style="list-style-type: none"> ●神戸女学院大学人間科学部教育研究助成金, [代表者(単独)] 脂肪の蓄積に伴う細胞群の挙動に関する研究, 80万円 ●大学研究所研究助成金, [代表者(単独)] 脂肪細胞を用いたメタボリックシンドロームの研究-TNFαの高感度測定法の開発と分泌特性の解析-, 30万円
------------	--

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	●2007.7.6, バイオメディエーション法とその開発, 出張講義, 久留米高専
学外機関委員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.5～2007.10, 日本技術士会・第1次試験委員 ●2007.4～現在, 化学工学会 関西支部・常任幹事
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	食品分子機能科学
研究課題	食品成分の抗酸化性新評価法の開発, 電極反応を利用した抗酸化性測定法の開発, 水産加工品中のACE阻害物質の探索

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, English Workshop, 栄養生化学, 食品機能解析実習(講義を含む), 文系のための化学入門, バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 地域活性化論, 食品分子機能科学, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	人間科学合同演習Ⅰ・Ⅱ
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ●演習Ⅰ 2008.2.1, 発酵学懇話会への出席:演習Ⅰの受講生と日本生物工学会関西支部主催の発酵学懇話会に参加し、食品トレーサビリティに関する講演を聞くとともに黄桜酒造の清酒製造工程を見学した。 ●演習Ⅰ 2008.2.20~21, くじら博物館、熊野古道の見学:和歌山県のくじら博物館にて、先祖がえりによってはらびれを持つイルカを見学し熊野古道の一部を歩いて視察した。

研究活動

著書・CD	
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●[共著] 松村知穂・村井俊子・外山篤美・椎葉昌美, 茶飲料が示す抗酸化性のレーダーチャートを用いた総合的評価, 日本食品工学会誌, 8巻, 287-294, 2007.12.15
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●お茶飲料の示す抗酸化性の総合評価, 日本食品工学会第8回年会, 関西大学, 外山篤美・松村知穂・村井俊子・椎葉昌美, 2007.8.2~3 ●「次世代生産プロセスのためのバイオセパレーション」のシンポジウムオーガナイザー, 化学工学会第39回秋季大会, 北海道大学, 2007.9.13~15 ●Characterization of Antioxidant activity of tea by radar chart, YABEC2007, Korea University, Seoul, Toshiko Murai, Chiho Matsumura, Atsumi Toyama, and Masami Shiiba, 2007.10.19~21 ●Antioxidant Activities of Various Teas Characterized by Radar Charts, APBioChEC2007, International Convension Center, Taipei, Toshiko Murai, Chiho Matsumura, Atsumi Toyama, and Masami Shiiba, 2007.11.4~7 ●Efficient Screening of Affinity Peptides from Random Peptide-Displayed Phage Library by Use of Protein-Coupled Liposomes, 6th Asia-Europe Biorecognition Engineering Society Meeting, National Central University, Jonglu-Li city, Taiwan, 2007.11.8 ●A new method for evaluating anti-oxidant properties of foods, 食品ポリフェノールに関する国際ワークショップ, 京都大学, 2007.11.24 ●口頭発表の座長, 化学工学会 関西支部最先端バイオテクノロジーセミナー, 神戸女学院大学, 2008.2.18 ●Socio-cultural Factors Affecting Attitude of Female Students toward Genetically Modified Foods, Interenational Conference on Learning Competency, 成均館大学, Seoul, S.Yamanaka, M. Shiiba, and H. Yama, 2008.1.18
その他の研究発表、演奏	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.7.31, Genetically Modified crops - How do we decide our policy on this issue?, THEIST
その他の著作、訳書等	<ul style="list-style-type: none"> ●「タンパク質の構造変化を利用した抗酸化性評価法の確立」, New Food Industry 49巻7号, pp.6-12, 2007

研究助成金の受領状況	<ul style="list-style-type: none"> ●日本学術振興会研究費補助金基盤研究(C)(2), [代表者] ラジカルによるタンパク質構造変化を利用した新規抗酸化性評価法, 169万円 ●ニッセイ研究ファンド, [代表者] 海産物エキスからのACE阻害物質分離法の研究, 50万円 ●平成19年度 全国蒲鉾水産加工業共同組合連合会 奨学寄附金, [代表者] かまぼこ製品が消化されて生じる抗酸化性ペプチドのレーダーチャートを用いた総合評価, 120万円 ●神戸女学院人間科学部教育研究助成金, [代表者] 海産物エキス中のACE阻害物質の探索, 60万円 ●神戸女学院大学研究所助成金, [代表者] 食品成分の示す抗酸化性の総合評価, 30万円
------------	---

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2003.4～2008.3, 化学工学会バイオ部会・役員 ●2003.4～2008.3, 日本生物工学会関西支部・支部委員
公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.8.1, ブロッコリーからDNAをとろう, サイエンス体験, 理学館 ●2007.3.25, 大学における取組事例(現代GP), 西宮市環境まちづくりフォーラム, 西宮市東館大ホール
学外機関委員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2006.8～現在, ひょうご科学技術協会・研究助成審査会委員
受賞、栄誉	<ul style="list-style-type: none"> ●Outstanding Paper Award (化学工学会英文誌)
その他社会活動上特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ●台湾の元智大学にてセミナーを実施(2007.8.27)

専門分野	環境科学
研究課題	水圏の環境汚染の現状把握, 魚類のビテロゲニンを指標とした水圏のエストロゲン様作用の評価, 沿岸海域の重金属汚染調査

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 入門ゼミ, 環境科学概論, 環境科学基礎実習(講義を含む), 環境科学入門, 環境科学, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●入門ゼミ:学生が話題提供、司会進行、指定討論者を務め、学生の主体参加を促進している。ある程度の成果を感じる。 ●環境科学入門:環境問題に関するテレビ番組をビデオで見せて解説することを取り入れている。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●環境科学概論、環境科学入門:授業中に評価の概要を示し、私の考えも述べる ●環境科学概論:LA1-21のマイクの調子が悪い。スクリーンが見にくいなどの解決しがたいクレームが多い。
作成した教科書・教材・参考書	●環境科学基礎実習テキスト:毎年内容を更新している
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●[共著] 江口さやか・菅原志穂美・中川加奈子・三谷直子・大沼良子・松岡須美子・平井慈恵, メダカビテロジェニンアッセイによる下水高度処理のエストロゲン様物質低減効果の評価, 日本水産学会誌, 第73巻4号, pp.726-733, 2007.7.15 ●[単著] 津門川塾～地域住民と専門家が共に学ぶ場, 環境技術, 37巻, 第1号, p.p.68-71, 2008.1.20
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●メダカのビテロゲニンを利用した下水中エストロゲン様物質処理の評価, 平成19年度日本水産学会近畿支部前期例会シンポジウム, 神戸女学院大学, 江口さやか, 2007.7.7 ●シンポジウム「近畿の水環境の現状とその制御に向けて」(企画者), 平成19年度日本水産学会近畿支部前期例会, 神戸女学院大学, 左子芳彦・川合真一郎, 2007.7.7 ●神戸女学院大学での野生メダカの保護育成に関する基礎研究, 第45回魚類自然史研究会, 龍谷大学・瀬田キャンパス, 北井秀美・大枝かをる・中村奈緒・江口さやか・阪本義樹, 2007.10.20 ●礫間接触法による下水中エストロゲン様物質の処理, 平成19年度日本水産学会秋季大会, 北海道大学水産学部・函館, 江口さやか・今西庸子・神前星子, 2007.9.26 ●京都府舞鶴湾における環境実態調査～鉛汚染の現状把握～, 平成20年度日本水産学会春季大会, 東京海洋大学, 江口さやか・稲葉法子・白石有希・上野正博・益田玲爾・山下洋, 2008.3.28
その他の研究発表、演奏	●神戸女学院大学での野生メダカの保護活動, バーモント州教育視察団KC訪問, 2007.7.5
その他の著作、訳書等	●[報告] 神戸女学院大学における野生メダカの保護と育成, 神戸女学院, 学報No.150, p.30, 2007.7.9
研究助成金の受領状況	<ul style="list-style-type: none"> ●神戸女学院大学研究所研究助成金, [代表者(単独)] メダカのビテロゲニン誘導を指標とした下水処理場でのエストロゲン作用低減効果の評価, 30万円 ●神戸女学院大学人間科学部教育研究助成金, [代表者(単独)] 舞鶴湾における重金属汚染の現状把握, 60万円

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2003～現在, 日本水産学会評議委員 ●日本水産学会近畿支部評議委員 ●2004.4～現在, 日本水産学会シンポジウム企画委員
公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.4.15, 津門川の環境を守り育てる, 第11回ロータリークラブ友好の集い, 西宮プレラホール ●2007.6.6, 野生メダカが繁殖し、生活できる環境を求めて, 題9回津門川塾, 西宮公会堂 ●2007.7.8, 津門川の水辺環境, ワークショップ「水辺の街道-門戸かいわい活性化」, 神戸女学院大学 ●2008.3.5, 都市河川の環境を守り育てる-西宮市の津門川を例として-, シニア自然大学, 大阪市環境学習ルーム ●2007.12.12, 海の重金属汚染、都市河川の環境を守る, 大学で学ぶこと, 京都府立西舞鶴高校
学外機関委員等	<ul style="list-style-type: none"> ●2003.4～2008.3, 農林水産省「農林水産生態系における有害化学物質の総合管理技術の開発」研究評価委員 ●2007.10～現在, 兵庫県立農林水産技術総合センター外部評価専門委員 ●2007～現在, 西宮市水道事業経営審議会委員
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ●西宮市より私の研究室の研究テーマの一つ「西宮産の野生メダカの保護と育成」が「環境学習都市にしのみや・パートナーシッププログラム」の認定を受けた,2007.11.26

専門分野	環境社会学、ポリティカル・エコロジー論、アジアの地域研究
研究課題	熱帯雨林の林産物交易をめぐる社会関係と持続的利用モデルについての調査研究、生物多様性消失のポリティカル・エコロジー、沈香木の人間・文化生態学的研究

教育活動

担当授業科目(大学)	女性学(実践編), 入門ゼミ, 自然と人間, 環境社会学 外国書講読, 演習 I, 演習 II, 国際社会環境論, 卒業研究
担当授業科目(大学院)	環境社会学特論
教育内容・方法の工夫	● 多人数の講義では、学生とのコミュニケーションを図るため、コメントシートを配布し、次回それに応える形をとっている。
授業評価への対応	● 授業評価の結果(集計データ)を教材提示装置を使って受講生に示している。その際、改善すべき点などについて確認している。
作成した教科書・教材・参考書	● 総合地球環境学研究所発行、『大学講義のためのプレゼン教材、生物多様性の未来に向けて』, 2008年3月(昭和堂発売)。 ● 「どうすれば生物多様性が保全できるか」というテーマの第7章と第8章を担当した。7章で順応的管理・生物多様性保全の方法と実例を紹介し、8章において生物多様性をまもるための制度やこれまでの制度の問題、修正の動きを説明している。スライド枚数合わせて96枚、共著者:藤田渡他3名。
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	● 一部の講義やゼミの受講生は多すぎるほどであるが、授業内容は一定の評価を得ていると思う。その他、ゼミ教育として、棚田で農作業をしながら地域の方々と交流したり、毎年あるテーマに基づいてフィールドワークを行い報告集にまとめたりするなど活発に活動している。

研究活動

著書・CD	● ◎藤田渡・金沢謙太郎 他2名, [共著] CD『大学講義のためのプレゼン教材、生物多様性の未来に向けて』, 昭和堂, スライド枚数計96枚, 2008.3
学術論文	
学会発表	● サラワクのプラン人集落における沈香木の分布と沈香採取, 日本熱帯生態学会第17回年次大会, 高知大学, 2007.6.1
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	● 文部科学省研究費補助金若手研究(B), [代表者] 熱帯雨林の林産物交易をめぐる社会関係と持続的利用モデルについての調査研究, 平成18年度(2006年度)より, 360万円, 2006年度~2008年度

社会活動

学会役員等	● 2005.6~2007.6, 環境社会学会・運営委員/国際交流委員 ● 2005.6~2008.3, 環境社会学会・国際交流委員
公開講座、市民講座等での講演	● 2007.9.26, 熱帯雨林と先住民たち -マレーシア、サラワク州の事例から, NPO法人シニア自然大学講座(大阪梅田), 梅田東教室
学外機関委員等	● 2002.4~現在, 総合地球環境学研究所・共同研究員 ● 2005.10~2008.3, 国立民族学博物館・共同研究委員

受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	食品科学
研究課題	食物アレルギーについて、アミノ酸に対する応答性について、精進料理の科学的解析

教育活動

担当授業科目(大学)	演習Ⅰ, 演習Ⅱ, 入門ゼミ, 食品学, バイオサイエンス基礎実習(講義を含む), 細胞生物学概論, 文系のための化学入門, 食品学基礎実習(講義を含む), 卒業研究
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●文系のための化学入門:単元ごとに小テストを行い、自分で採点して、その場で自分の到達度を確認させた。 ●演習Ⅰ:グループに分けて実験を行い、相談しながら実験を進めることで、基本的な実験操作を会得しゼミ生内でのコミュニケーションをとれるようになった。
授業評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●食品学:黒板の記述が見にくい→なるべく大きな文字で、わかりやすいように心がけた。 ●文系のための化学入門:進行が早すぎる→理解のレベルが低い人に標準を合わせた。
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	
学術論文	<ul style="list-style-type: none"> ●[共著] Motoko Takaoka・Dan Norback, Buckwheat and other food allergy/intolerance, asthma, and dietary habits among female university students in Kobe and Kamakura, Japan, Adv. Buckwheat Res.10, Pp503-509, 2007.8 ●[共著] Motoko Takaoka, Dan Norback, Diet among Japanese female university students and asthmatic symptoms, infections, pollen and furry pet allergy., Respiratory Medicine, 2008.3
学会発表	<ul style="list-style-type: none"> ●女子学生の食品アレルギー、特に水産食品アレルギー罹患状況について、食生活比較研究シンポジウム, 文教大学, 2007.11 ●女子大生におけるアミノ酸摂取に対する短期における生理学的応答性について, 第51回栄養食糧学会, 京都国際会議場, 鈴木正人・小笠原和子・大谷勝, 2007.5 ●数種類の昆布だし汁中における遊離アミノ酸含量の比較, 第40回日本調理科学学会, 御茶ノ水大学, 竹久朋・青木麻衣子・笠松千夏, 2007.8.30 ●ターメリック含有食事摂取の呼気水素濃度への影響, 第10回日本呼吸病態生化学研究会, 東邦大学, 下内章人・星野愛寿紗・萱野彩美・野瀬和利・林比路子・乾紀子・近藤孝春, 2008.1 ●Breath hydrogen is increased by ingestion of turmeric, as a possible role of antioxidant, Biomarkers of Oxidative stress in health and diseases, Osaka, Akito Shimouchi・Kazutoshi Nose・Takaharu Kondo・Hiroko Hayashi・Noriko Inui・Azusa Hoshino・Ayami Kayano, 2008.2
その他の研究発表、演奏	●2007.6.22, 食物アレルギー研究について, 研究所講演会
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院人間科学部教育研究助成金, [代表者] 昆布の調理特性に関する研究, 80万円

社会活動

学会役員等	
公開講座、市民講座等での講演	●2007.11.21, 女性のための食品学, 女性学インスティテュート学外講演, 西宮交流センター

学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	体育学
研究課題	トランポロボックスの運動効果及び普及活動

教育活動

担当授業科目(大学)	女性学(理論編), 健康スポーツ科学, 生涯スポーツコース(トランポビクス)
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	
その他教育活動上特記すべき事項	

研究活動

著書・CD	●[単著] 協力・兵庫県トランポ・ロビックス協会, DVD制作「TRAMPOROBICS BASIC EXERCISE」, エニーズ・インターナショナル, 2008.3
学術論文	
学会発表	
演奏会	
作曲、編曲	●全国菓子博覧会ダンス(トランポバージョン)振り付け, 菓子博覧会, 姫路駅前・三宮駅前, 多数 ●その他、トランポバージョンの振り付け・・・。 ●TUBEコンサート「湘南盆踊り」トランポバージョン振り付け, TUBEコンサート, 横浜スタジアム, 2007.8.25 ●TUBE コンサート「六甲おろし」トランポバージョン振り付け, TUBEコンサート, 甲子園球場, 2007.9.11
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	●神戸女学院大学研究所体育芸術活動助成金, [単独] TRAMPO-ROBICS Basic Exercise, 50万円

社会活動

学会役員等	●日本ウエルネス学会・理事
公開講座、市民講座等での講演	●2007.11.17, 今日も元気 毎日元気, 南あわじ市 高齢者シンポジウム, 三原公民館 ●2007.10.21, レクリエーションスポーツ大会 トランポ・ロビックス指導, トリピーフェスタ, 東山運動公園内米子市民体育館 ●2007.10.20, 鳥取県船上山 トランポ・ロビックス指導, 夏祭り前夜祭, 船上山少年自然の家
公開レッスンでの指導	●2007.9.23, トランポ・ロビックス表演, 日本ウエルネス学会, サンルートホテル小松
コンクール等の審査	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

専門分野	体育学
研究課題	神戸女学院の体育の歴史, 伝統武術・太極拳の資料収集, 身ぶり表現の実践

教育活動

担当授業科目(大学)	健康スポーツ科学, 生涯スポーツコース(太極拳), 生涯スポーツコース(社交ダンス), 身体による表現, 生涯スポーツコース(健やかさ再考[講義])
担当授業科目(大学院)	
教育内容・方法の工夫	●身体による表現: キャリアデザインコースのボディサイエンスの授業として後期スタートした。10名と少人数のこともあり、どうなるかと心配したが、劇遊びをすることでまとまりがよく良い結果を得ることができた。
授業評価への対応	
作成した教科書・教材・参考書	
教育方法・教育実践に関する発表、講演等	●身体による表現の授業で劇づくりをし、体育館で舞台を作り発表する。:「ぺんぎんのペン坊や」の絵本を使って劇遊びをした。最後に発表会をした。皆まとまりよく練習を重ね岡田山ロッジでの合宿をするなどの張り切りようで、予想もしない成果をあげることができた。
その他教育活動上特記すべき事項	●健康スポーツ科学の授業で、担当者が入れ替わり得意とする種目を体験させるという試みをした。(うまく組み合わせが合う時間のみ): 自分のクラスをもう一つの非常勤の先生にお願いし薙刀を体験させ、その代わりに太極拳を体験してもらおうといった具合に、クラスを交換してお得意な種目を2時間であるが実施した。学生には好評であった。

研究活動

著書・CD	●[共著] ◎谷祝子・前林清和・内田樹・安田忠典・伴義孝・小田慶喜・菅原福子・中川昌幸・三浦敏弘・三宅眞理, 自己を語る身体表現, 冬弓舎, 2007.4.20
学術論文	
学会発表	
演奏会	
作曲、編曲	
その他の研究発表、演奏	
その他の著作、訳書等	
研究助成金の受領状況	

社会活動

学会役員等	<ul style="list-style-type: none"> ●1999～現在, 日本養生学会常任理事 ●2000～現在, 身体運動文化学会常任理事 ●2000～現在, 身体運動文化学会関西支部会会長 ●2000～現在, (財)大阪府レクリエーション協会評議員 ●2003～現在, NGO活動教育研究センター(NERC)理事 ●2002～現在, 日本学生武術太極拳連盟理事
公開講座、市民講座等での講演	<ul style="list-style-type: none"> ●2007.6.2, 太極拳の交流を通じて, 2007年度「ひょうご講座」独自科目, 兵庫県立神戸学習プラザ ●2007.8.8, 平成19年度カリラックスメイト研修会「スワイショウ」, 加古川市健康課成人保健係, 加古川市立陵南公民館 ●2007.8.5～6, 身ぶり表現「みなみのくにのどうしてガニ」, ぎんのすず幼児教育夏季セミナー, 箕谷グリーンスポーツホテル ●2008.2.7, 太極拳を体験しよう, 神戸婦人大学, あすてっぷKOBÉ ●2008.3.11, 講演「健康で楽しく暮らすために!!」, 豊岡市日高地区老人学園, 日高農改センター

公開レッスンでの指導	
コンクール等の審査	
学外機関委員等	
受賞、栄誉	
その他社会活動上特記すべき事項	

2007年度
神戸女学院大学 専任教員 教育・研究業績報告集

2009年2月発行

編集・発行 神戸女学院大学 FDセンター
〒662-8505 西宮市岡田山4番1号
TEL (0798) 51-8582

印刷所 有限会社 三 明 社